

長崎歴史文化博物館

年報

平成17・18年度



長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

長崎歴史文化博物館 年報

平成17・18年度

目 次

ごあいさつ	3
1. 沿革	4
2. 基本理念	6
3. 展示事業	
(1) 企画展	7
(2) 常設展	27
4. 教育普及事業・地域連携事業	
(1) 講演会・講座	28
(2) こども向けプログラム	31
(3) 学校との連携	32
(4) イベント	40
(5) ボランティア	44
5. 資料管理	
(1) 収蔵資料・資料貸出	48
(2) 資料修復	50
6. 調査研究事業	
(1) 調査研究	53
(2) 出版事業	55
(3) 館外活動	56
7. 研修等	
(1) 博物館実習	58
(2) 研修の実施	59
8. 広報マーケティング	
(1) 新聞掲載実績	60
(2) 広報印刷物	69
9. 来館者情報	
(1) 来館者統計	71
(2) 主な来訪者	72
10. 収支	75
11. 組織	77
12. 建築概要	79
13. 関連法規	82

ごあいさつ



平成17年11月3日、文化の日に長崎歴史文化博物館が開館しました。開館に至るまでの長崎県と長崎市はじめ、ご尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝の意を表したいと存じます。

御案内のように、当博物館は長崎県・長崎市によって共同で設置されました。このこと自体、全国初のケースであることに加えて、その運営形態も2003年の地方自治法一部改正で始まった新しい指定管理者制度で、全国の関係者から注目のなかでのスタートになりました。1年半が瞬く間に過ぎたように思います。

さて、我が国有数の海外交流史関連資料、約48000点を所蔵する当館の展示は、「近世長崎の海外交流史」をテーマに、大航海時代、朝鮮、中国、オランダとの交流、長崎貿易等に関する長崎の歴史と文化を様々な角度から紹介し、往時を彷彿させる実物資料とともに、デジタル映像や情報検索装置などにより、来館者が長崎の歴史や文化を実感していただけるように工夫したつもりです。また、江戸時代、長崎は幕府の直轄地であり、長崎の行政、司法、外交、貿易等は長崎奉行所立山役所がその役割を果たしましたが、その一部を、歴史資料や考証にもとづいてできるだけ忠実に復元し、ここで「犯科帳」や「踏絵」など実物資料を展示するとともに、御白洲で犯科帳を基にした「寸劇」を演じ、奉行所の歴史的な役割を分かりやすく伝えるように努めております。

さらに長崎学を中心とした調査研究、各種教育プログラムも高いレベルのものを目指して参りました。

平成17年度は11月の開館式に駐日オランダ大使がご出席、花を添えていただきました。そして記念の特別展「長崎大万華鏡－近世日蘭交流の華 長崎－」及び記念シンポジウム、さらに年明けの1月から「北京故宫博物院展」を開催し、多くの方々にご来館いただきました。

平成18年度は、「ロマノフ王朝と近代日本」展につづいて、地域連携として初めて「開かれた港市・平戸の至宝キリシタン文化」展を開催したほか、盛況だった「脳！内なる不思議の世界へ」など、長崎学の講座などとあわせて博物館活動の本格的な第一歩を踏み出すことができた年のように思われます。入館者も、開館効果で開館5ヶ月目には30万人に達するなど、予想以上のスピードで推移しました。

いずれにしましても、運営の基本理念「交流・連携・発見」のもと、来館者とともに成長し、常に進化を続ける博物館づくりを進めるため、スタートの17年度、そして2年目の18年度を「白紙に絵を描く」ように、試行錯誤、一步一步歩んで参りました。しかし、早くも課題が明確になり、3年目を迎えるこれからが本番だと思えます。県民・市民の皆様、多くの関係機関等のご理解、ご支援を賜りながら、開館以来1年半、職員が精一杯取り組んできた足跡を記録などとあわせてご覧いただければ幸いに存じます。今後とも、ご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

平成19年7月

館長 大堀 哲

沿革

1998年（平成10年）11月18日	政策創造会議「諏訪の森部会」設置
1999年（平成11年）12月15日	「諏訪の森部会」最終提言 ・県内の特色ある歴史と文化を一覧できる歴史文化博物館を整備する。 ・長崎奉行立山役所の往時の姿をできるだけ復元するスペースと歴史資料の展示スペースに区分しての整備が望ましい。 ・県立図書館敷地に文書館を設置することが望ましい。など
2000年（平成12年）11月30日	諏訪の森の再整備について（基本方針）公表 ・諏訪の森地区を将来にわたって文化の香り高い魅力ある空間として価値を高め、また、新たな観光拠点のひとつとなるよう、県と長崎市が緊密に連携し、文化施設の再整備や環境整備を行うものとする。 ・歴史文化博物館（仮称）を県と長崎市が一体となって整備する。
2001年（平成13年）1月15日	歴史文化博物館（仮称）基本構想専門家会議設置
2001年（平成13年）4月1日	政策調整局都市再整備推進課設置 ・美術館、歴史文化博物館の建設準備体制を整備
2001年（平成13年）11月14日	県・市間で建設・管理運営等に関する覚書締結 ・負担割合 建設費 県：市＝2：1 運営費 県：市＝1：1
2001年（平成13年）11月16日	歴史文化博物館（仮称）基本構想（案）公表
2001年（平成13年）12月27日	歴史文化博物館（仮称）基本構想公表
2001年（平成13年）12月27日	展示設計指名型プロポーザル（3者指名）の実施
2001年（平成13年）12月27日	建設工事設計候補者選定公募型プロポーザル公告
2002年（平成14年）2月22日	乃村工藝社と展示設計業務委託契約締結
2002年（平成14年）2月28日	黒川紀章建築都市設計事務所と建設工事設計業務委託契約締結
2003年（平成15年）7月19日	起工式
2004年（平成16年）10月15日	長崎歴史文化博物館条例公布 指定管理者の募集（1回目10.15～11.18、2回目11.26～1.21） 応募者6社
2005年（平成17年）4月1日	（株）乃村工藝社を指定管理者として指定 ・指定期間：H17.4.1～H22.3.31（5年間）
2005年（平成17年）5月	博物館仮事務所開設
2005年（平成17年）6月	ボランティア募集開始

2005年（平成17年）7月2日	ボランティア説明会
2005年（平成17年）7月9日	第1回ボランティア研修
2005年（平成17年）7月30日	第2回ボランティア研修
2005年（平成17年）7月5日	長崎歴史文化博物館事業発表会
2005年（平成17年）8月	寸劇ボランティア募集開始
2005年（平成17年）8月3日～4日	市立博物館図書資料搬入
2005年（平成17年）8月6日	第3回ボランティア研修
2005年（平成17年）8月20日	第4回ボランティア研修
2005年（平成17年）8月30日～31日	建設工事、展示工事竣工
2005年（平成17年）8月30日～9月2日	旧県立美術博物館資料搬入
2005年（平成17年）9月1日	博物館事務所開設式
2005年（平成17年）9月3日	第5回ボランティア研修
2005年（平成17年）9月7日～8日	県立長崎図書館資料搬入
2005年（平成17年）9月10日	第6回ボランティア研修
2005年（平成17年）9月17日	第7回ボランティア研修
2005年（平成17年）9月20日	市立博物館資料搬入
2005年（平成17年）9月22日～23日	収蔵庫燻蒸
2005年（平成17年）9月24日	寸劇ボランティア オリエンテーション
2005年（平成17年）10月14日	東京地区事業発表会（東京国際フォーラム）
2005年（平成17年）10月15日	第8回ボランティア研修
2005年（平成17年）10月27日～29日	開館記念特別展「長崎大万華鏡」展示作業
2005年（平成17年）10月29日	第9回ボランティア研修
2005年（平成17年）10月31日	プレス内覧会
2005年（平成17年）11月1日	長崎県内マスコミ各社向けプレス内覧会
2005年（平成17年）11月3日	長崎歴史文化博物館開館記念式典

2

基本理念

<長崎歴史文化博物館の基本方針>

(1) 海外交流史の博物館

海外との貿易を通して繁栄し、多彩な文化を誇った、近世長崎に関する海外交流史を中心とする博物館とする。

(2) 長崎学研究の拠点となる博物館

県内外はもとより、世界に散在する長崎学に関する資料や情報の収集、保存、研究、活用に努め、長崎学の研究を支援し、長崎学の情報を発信する博物館とする。

(3) 連携する博物館

長崎県や長崎市との連携のほか、長崎県内の中核博物館として、県内外の博物館・資料館をはじめ、学校や研究機関、歴史団体との連携を推進する。

(4) 体験と発見の博物館

生涯学習の場として、利用者の要望にあわせて知識・教養を深めることができる、常に新たな発見のある博物館とする。また、体験を通して楽しく長崎の歴史発見ができる博物館とする。

(5) 地域づくりに貢献する博物館

地域の個性や特色を生かした、新しい地域づくりに貢献できる博物館とする。また、県民・市民や観光客などが県内の史跡等の情報を一覧できて、長崎の歴史と文化を知る出発点となり、観光的魅力を併せもつとともに、長崎の歴史に育まれた伝統工芸の紹介と振興にも寄与する博物館とする。

(6) 開かれた博物館

多くの県民・市民やボランティアなどが運営に参加できる開かれた組織運営を行い、利用者本位の管理運営を実践する博物館とする。

1 企画展

開館記念特別展「長崎大万華鏡」近世日蘭交流の華 長崎

長崎歴史文化博物館のオープンを記念し、長崎から生まれた国際色豊かな美術工芸品や絵画、小物類と、オランダ人によって収集され、海外へ伝えられた日本を、長崎歴史文化博物館収蔵資料とライデン国立民族学博物館の収蔵資料、約400点により紹介しました。

期 間：2005年11月3日（木）～2006年1月9日（月）

観覧料：一般600円、高校生400円、小・中学生300円

主 催：長崎県・長崎市・長崎歴史文化博物館

協 賛：(株)乃村工藝社・(株)ジェイティービー・長崎ビルディング(株)

協 力：日本航空

後 援：朝日新聞社・長崎新聞社・読売新聞西部本社・KTNテレビ長崎・NIB長崎国際テレビ・NCC長崎文化放送・NBC長崎放送・NHK長崎放送局・(株)エフエム長崎

総入場者数：36,384名（1日平均543名）

〈関連事業〉

○「ライデン国立民族学博物館の日本コレクション」

日 時：11月3日（木）

場 所：ホール

講 師：ケン・フォス氏

（ライデン国立民族学博物館学芸員）

参加者数：75名

講演会・パネルディスカッション「日蘭交流の諸相」

日 時：12月11日（日）

場 所：県立長崎図書館

講演

「長崎の美術最前線－慶賀・びいどろ・青貝細工」

講 師：岡泰正氏（神戸市立博物館学芸係長）

パネルディスカッション

「出島復元とライデン国立民族学博物館収蔵資料」

講 師：高田美由紀氏（出島復元整備室学芸員）

「唐館蘭館図屏風の成立及び唐館蘭館絵巻との関係について」



講師：海江田義広（長崎県学芸員）

「阿蘭陀通詞石橋家と石橋助左衛門御絵像」

講師：本馬貞夫（長崎県立長崎図書館副館長）

「ライデン国立民族学博物館蔵 川原慶賀筆出島図の制作年代」

講師：原田博二（長崎歴史文化博物館研究所長）

参加者数：135名

○「長崎大万華鏡 講演会」

日時：12月26日（月）

「川原慶賀とその作品について」

原田博二（長崎歴史文化博物館研究所長）

「ライデン国立民族学博物館の日本コレクションについて」

海江田義広（長崎県学芸員）

参加者数：70名

「クリスマス ギャラリーコンサート」

日時：12月22日（木）開場19:00 開演20:00

場所：企画展示室ロビー

入場料：1,500円（1ドリンク付）

出演：鹿島恵子（アルト）

宮坂純子（ヴァージナル）

大坪由香（リコーダー）

加納暁子（バロック・ヴァイオリン）

井上周子（リュート）

参加者数：78名

特別協賛：アサヒビール（株）



北京故宮博物院所蔵 長崎歴史文化博物館開館記念特別展 「北京故宮博物院展」 清朝末期の宮廷芸術と文化

明・清両朝の皇帝の居城として知られる紫禁城を舞台に、清朝末期絶大な権力を持って政治の舞台に君臨した女帝・西太后と、最後の皇帝であり戦時中の日本と密接な関係にあった溥儀に焦点をあて、北京故宮博物院が所蔵する文物・関連資料約140件を公開しました。

期 間：2006年1月21日（土）～3月5日（日）
観 覧 料：一般1,000円、高校生700円、小・中学生500円
主 催：長崎歴史文化博物館・長崎新聞社
共 催：NBC長崎放送
特別協力：北京故宮博物院
監 修：石橋崇雄（国士舘大学文学部教授）
特別協賛：国士舘大学・株式会社 優美苑
協 力：日本航空・山九・長崎新聞販売センター
援 助：(社)日中友好協会・日本中国文化交流協会・(社)日中協会・日本国際貿易促進会・長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・NHK長崎放送局・FM長崎・長崎ケーブルメディア・長崎県タクシー協会・長崎県書店商業組合

総入場者数：37,299名（1日平均867名）

〈関連事業〉

「北京故宮博物院展」開催記念特別講演会
「西太后と溥儀にみる清朝末期」

日 時：2006年1月21日（土）14:00～15:00
場 所：ホール
講 師：石橋崇雄氏（国士舘大学文学部教）
参 加 者：140名

「趙国良コンサート—諏訪の森に響く胡弓の調べ—」

日 時：2006年2月11日（土）
 昼の部14:00 夕の部18:00
場 所：ホール
出 演：趙国良（胡弓）周曉船（楊琴）
 宮崎漢生（シンセサイザー）

入 場 料：3,500円
参 加 者：272名

「明清楽演奏会」

日 時：2006年2月19日（日）14:00～16:00
場 所：ホール
出 演：長崎明清楽保存会
入場無料
参 加 者：147名



長崎発・江戸時代のニューアート「九州南画の世界展」

伊孚九や江稼圃といった来舶清人と、鉄翁祖門、木下逸雲から三浦梧門、立花鉄岳・素岳、帯屋青霞まで、長崎の南画の系譜がわかる作品あわせて約30余点と、その伝統を受け継ぎ、現在活躍されている長崎を中心とした九州の南画家の方々の作品を、一堂に展示しました。

期 間：2006年3月18日（土）～4月16日（日）

観 覧 料：一般400円・高校生300円・小中学生100円

主 催：長崎歴史文化博物館・三菱造船南画部・長崎青房会・九州南画院

協力団体：NBC学園南画教室・花朝会・西舟会・双和会・中央南画会・梯友会・桃香会・ながさき社会保険センター・長崎市役所南画部・長崎南画研修会

後 援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・長崎国際文化協会・長崎県美術協会・長崎市美術振興会・朝日新聞社・長崎新聞社・西日本新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部本社・KTNテレビ長崎・NIB長崎国際テレビ・NCC長崎文化放送・NBC長崎放送・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・(株)エフエム長崎

総入場者数：5,774名（1日平均192名）

〈関連事業〉

「南画基礎講座 見る～気韻生動是也～」

日 時：第1回 3月19日（日）
第2回 4月16日（日）

場 所：3階企画展示室

講 師：箕田菲白氏（九州南画院会長）

参加者数：第1回 75名
第2回 106名

「南画講演会 聴く～南画をより深く～」

日 時：第1回 3月25日（土）
第2回 4月8日（土）

場 所：ホール

講 師：原田博二、植松有希

参加者数：第1回 123名
第2回 35名

「親子南画教室」

日 時：第1回 3月26日（日）
第2回 4月9日（日）

場 所：講座室

講 師：松尾学氏（三菱造船南画部）
田中正博氏（長崎青房会会長）

参加者数：第1回 31名
第2回 24名



日露修好150周年記念「ロマノフ王朝と近代日本」展 ～版画と写真でたどる日露交流～ロシア国立図書館所蔵品より～

世界五大図書館の一つに数えられているロシア国立図書館所蔵の版画、地図、書籍、辞典、写真など、歴史的、文化的、芸術的に価値の高い作品を通して、ロシアと日本の長い交流の歴史を紹介しました。

- 期 間：2006年4月27日（木）～6月4日（日）
 観 覧 料：一般800円・高校生600円・小中学生400円
 主 催：長崎歴史文化博物館・読売新聞西部本社・NIB長崎国際テレビ・美術連絡協議会
 後 援：ロシア連邦大使館・ロシア国際文化科学協力センター・長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会
 協 賛：花王株式会社・安達株式会社
 協 力：Lufthansa・Lofthansa Cargo
 企画協力：アートインプレッション

総入場者数：7,254名（1日平均191名）



〈関連事業〉

「ロマノフ王朝と近代日本」展開催記念講演会
 「ロシアと日本—文化交流の歴史」
 日 時：4月27日（木）
 場 所：ホール
 講 師：ウラジーミル・ザイツェフ（ロシア国立図書館長）
 参加者数：50名

「ロマノフ王朝と近代日本」展関連講演会1
 「ロシアに残る長崎関係資料」
 日 時：5月6日（土）
 場 所：ホール
 講 師：海江田義広（長崎県文化振興課主任学芸員）
 参加者数：30名

「ロマノフ王朝と近代日本」展関連講演会2
 「ロシアと長崎」
 日 時：5月14日（日）
 場 所：ホール
 講 師：原田博二（当館研究所長）
 参加者数：85名

「ロマノフ王朝と近代日本」展関連講演会3
 「志賀文庫にみるロシア船来航と地域社会」
 日 時：5月20日（土）
 場 所：ホール
 講 師：岩崎義則（九州大学大学院人文科学研究院助教授）
 参加者数：40名



「ロマノフ王朝と近代日本」展関連講演会4

「レザノフの来航」

日 時：5月21日（日）
場 所：ホール
講 師：松尾晋一（当館研究員）
参加者数：31名

「ロマノフ王朝と近代日本」展関連講演会5

「ニコライ2世の時代と日露関係の史劇（1891-1917年）」

日 時：5月27日（土）
場 所：ホール
講 師：パールイシェフ・エドワルド
（九州大学大学院比較社会文化学府博士課程）
参加者数：30名

「ロマノフ王朝と近代日本」展関連講演会6

「長崎奉行とロシア」

日 時：5月28日（日）
場 所：ホール
講 師：安高啓明（当館研究員）
参加者数：40名

「ロマノフ王朝と近代日本」展関連講演会7

「プチャーチンと川路聖謨の条約交渉」

日 時：6月3日（土）
場 所：ホール
講 師：本馬貞夫（長崎県文化振興課参事）
参加者数：50名

岡田敦子トーク・ピアノコンサート

日 時：5月20日（土） 19:00～
場 所：エントランスホール
演 奏：岡田敦子
〈プログラム〉
五月「白夜」（四季より）（チャイコフスキー）
前奏曲嬰ハ単調Op.3 No.2（ラフマニノフ）
ピアノ・ソナタ ハ長調（ボルトニャンスキー）
ソナタ第二番（山田耕筰）
ポエム・ノクチュヌルOp.3 （スクリャービン）ほか
料 金：1,500円（チケットのみ）
2,500円（チケット+レストラン銀嶺ディナー券）
参加者数：54名

長崎大学クラシックコンサート

19世紀末のロシア音楽とその周辺

日 時：5月28日（日）15:00～
場 所：エントランスホール
出 演：加納暁子（ヴァイオリン）、堀内息伊吹（ピアノ）
佐藤春奈（ソプラノ）、下釜佳奈子（フルート）
丸山弓恵（ホルン）、

永田美音、田中彩、田代菜美子、世良舞子（ピアノ連弾）

参加者数：81名

ロシア民謡アフタヌーンコンサート

日 時：6月2日（金）14:30～15:30

場 所：エントランスホール

出 演：グルッポWA

入場無料

参加者数：67名

開かれた港市 平戸の至宝とキリシタン文化展

本展では、平戸オランダ商館跡の発掘遺物から構造復元まで、海外交易の拠点となった平戸の全貌と平戸藩主、松浦家に伝わる名品の数々、そして禁教下に生きつづけた生月のかくれキリシタンについて紹介しました。

期 間：2006年6月10日（土）～7月9日（日）

観 覧 料：一般500円・高校生300円・小中学生100円

主 催：長崎歴史文化博物館

共 催：平戸市・松浦史料博物館・長崎県

協 力：日本通運（株）

後 援：平戸商工会議所・長崎市・平戸市教育委員会・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・長崎新聞社・朝日新聞社・西日本新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部本社・KTNテレビ長崎・NIB長崎国際テレビ・NCC長崎文化放送・NBC長崎放送・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎

総入場者数：5,001名（1日平均172名）

〈関連事業〉

平戸の至宝とキリシタン文化展記念講演会

日 時：6月10日（土）

場 所：ホール

講 師：前田秀人氏（平戸市教育委員会文化振興課）

岡山芳治氏（松浦史料博物館学芸員）

参加者数：57名

公開フォーラム「平戸・長崎・アユタヤのオランダ商館復元とオランダ文化の影響」

日 時：7月1日（土）

場 所：ホール

主 催：平戸市教育委員会 長崎歴史文化博物館

報 告 者：Anek Sihamat氏（タイ芸術局大三地区長）

下川達彌氏（長崎活水大学教授）

荻原博文氏（平戸市教育委員会文化振興課課長）

コーディネーター：西谷正氏（九州大学名誉教授）

パネリスト：林一馬氏（長崎総合科学大学学長）

参加者数：150名



かくれキリシタンの信仰とオラシヨ紹介

日 時：6月18日（日）

場 所：企画展示室

講 師：中園成生氏（平戸市生月町博物館島の館学芸員）

参加者数：90名

平戸最教寺神事 子泣き相撲

日 時：6月25日（日）

場 所：エントランスホール

参加料：500円

参加者数：510名

平戸物産展

日 時：6月16日（金）、17日（土）、18日（日）
7月7日（金）、8日（土）、9日（日）

場 所：エントランスホール



特別企画展「脳！内なる不思議の世界へ」展

ヒトの体のなかで最も謎に満ちた臓器、「脳」。本展は、さまざまな体験型装置や標本、映像などを通じて「脳」の不思議を実感し、その機能の解明に挑む科学の営みや歴史について紹介しました。

- 期 間：**2006年7月15日（土）～9月3日（日）
観 覧 料：一般1,000円・高校生700円・小中学生500円
主 催：長崎歴史文化博物館・NPO法人脳の世紀推進会議・文部科学省特定領域研究「統合脳」5領域・読売新聞社・長崎国際テレビ
特別協賛：長崎大学心の教育総合支援センター
特別協力：長崎大学・長崎大学医学部・長崎大学医学部150周年記念事業
協 賛：公文教育研究会・シーメンス旭メディテック・島津製作所・ダイワボウ情報システム
協 力：日本大学・東京大学医学部・横浜市立大学医学部・東北大学大学院生命科学研究所・東京医科大学・大阪大学医学部・林原自然科学博物館・国立遺伝学研究所 生命情報・DDBJ研究センター・ATR脳情報研究書・オリンパス・フェリシモ・NHKエンタープライズ・JT生命誌研究館・ヤンセンファーマ・NTTコミュニケーション科学基礎研究所・カンゼン
企画協力：日本科学未来館
後 援：日本生理学会・日本神経科学学会・日本神経回路学会・日本解剖学会・日本神経化学会・理化学研究所脳科学総合研究センター・長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎

総入場者数：30,580名（1日平均624名）

「脳！－内なる不思議の世界へ」オープニング記念講演会

脳の老化といかに向き合うか

日 時：7月15日（土）
場 所：ホール
講 師：泰羅雅登氏（日本大学医学部教授）
参加者数：135名

「脳！－内なる不思議の世界へ」開催記念シンポジウム

「脳と心と歴史と文化」

日 時：7月16日（日）
場 所：長崎市公会堂
主 催：長崎歴史文化博物館 長崎大学
テーマ1「脳からみる歴史と文化」
講 師：養老孟司氏（東京大学名誉教授）
テーマ2「脳科学研究の歴史と脳のなりたち」



講 師：森望氏（長崎大学医学部教授）
テーマ3「心と精神の発育とゆらぎ」
講 師：小澤寛樹氏（長崎大学医学部教授）
テーマ4「近代医学史と神経科学」
講 師：相川忠臣氏（長崎大学医学部教授）
パネル討論「脳と心と歴史と文化」
参加者数：1,100名

「脳！ー内なる不思議の世界へ」シリーズ講演会

主 催：長崎大学医学部 長崎大学医学部150周年記念事業
長崎歴史文化博物館

講演会1「脳を見る、脳を知る、脳を考える」

日 時：7月30日（日）
場 所：ホール
講 師：森望氏（長崎大学医学部教授）
参加者数：58名

講演会2「お母さんと赤ちゃんの脳科学」

日 時：8月6日（日）
場 所：ホール
講 師：篠原一之氏（長崎大学医学部教授）
参加者数：54名

講演会3「心の発達と精神の病」

日 時：8月13日（日）
場 所：ホール
講 師：小澤寛樹氏（長崎大学医学部教授）
参加者数：68名

講演会4「脳機能を探る」

日 時：8月20日（日）
場 所：ホール
講 師：馬場啓至氏（国立長崎医療センター部長）
参加者数：91名

講演会5「出嶋の医学」

日 時：8月27日（日）
場 所：ホール
講 師：相川忠臣氏（長崎大学医学部教授）
参加者数：



「こころ発掘！プロジェクト」

第1回 ジェスチャーゲームでこころ発掘！

第2回 コラージュでこころ発掘！

第3回 スクイグルでこころ発掘！

第4回 特別講演会「こころの健康」

日 時：7月29日（土）（第1回）
8月5日（土）（第2回）
8月12日（土）（第3回）

8月19日（土）（第4回）

場 所：講座室

主 催：長崎大学心の教育総合支援センター

「お金と脳の不思議を探検隊！」

主 催：日本銀行長崎支店、長崎歴史文化博物館

日 時：7月27日（木） 8月10日（木）

8月24日（木）

場 所：日本銀行長崎支店 3F企画展示室

参加者数：48名

「脳トレ計算大会!!」予選

日 時：7月29日（土）11:00～／14:00～／16:00～

7月30日（日）11:00～／15:30～／16:30～

場 所：エレベーター前ホール

参加者数：156名

「脳トレ計算大会!!」決勝

日 時：8月5日（土）

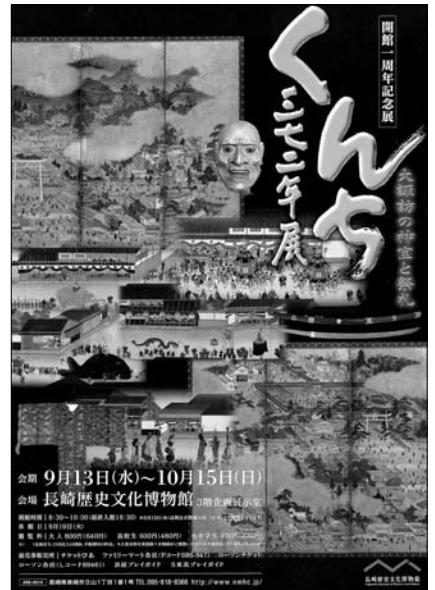
場 所：エントランスホール

参加者数：29名

開館1周年記念展「くんち372年展～大諏訪の神宝と祭礼～」

「宝剣」や能装束などの諏訪神社に伝わる神宝や大阪府立中之島図書館所蔵の「崎陽諏訪明神祭祀」、神輿など、江戸時代の貴重なくんち関係資料を一堂に集め、江戸時代のくんちの実像を紹介しました。

- 期 間：2006年9月13日（水）～10月15日（日）
- 観 覧 料：一般800円・高校生600円・小中学生400円
- 主 催：鎮西大社諏訪神社・長崎歴史文化博物館
- 共 催：長崎伝統芸能振興会・長崎新聞社・NBC長崎放送
- 特別協力：長崎くんち塾
- 協 賛：日本通運株式会社・株式会社カステラ本家福砂屋・株式会社文明堂本店・株式会社松翁軒・安達株式会社・矢太樓矢太樓南館
- 後 援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・朝日新聞社・西日本新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部本社・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア



総入場者数：13,944名（1日平均436名）

〈関連事業〉

「くんち372年展」開催記念シンポジウム

- 日 時：9月16日（土）
- 場 所：ホール
- 基調講演「絵画から見た長崎くんち」
- 講 師：久留島浩（国立歴史民俗博物館教授）
- パネリスト：大神照彦（諏訪神社宮司）
- 久留島浩（国立歴史民俗博物館教授）
- 河野 謙（長崎くんち塾会員）
- 原田博二（当館研究所長）

参加者数：150名



「くんち372年展」記念講演会1

- 日 時：9月23日（土）
- 場 所：ホール
- テ ー マ：「長崎くんち塾について」
- 講 師：楊爾嗣（長崎くんち塾会長）
- テ ー マ：「楠の木からみたくんち」
- 講 師：伊藤ミツ子（くんち解説者）
- テ ー マ：「長崎奉行とくんち」
- 講 師：安高啓明（当館研究員）

参加者数：51名

「くんち372年展」記念講演会2

日 時：10月1日（日）

場 所：ホール

テ ー マ：「くんちに学ぶ生活の知恵」

講 師：山下寛一（長崎伝統芸能振興会幹事）

テ ー マ：「くんち出演者と裏方体験記」

講 師：土肥原弘久（シーボルト記念館長）

テ ー マ：「続 祭祀図から読み取れること」

講 師：原田博二（当館研究所長）

参加者数：118名

くんち奉納踊公開練習 万屋町くんち奉納踊

日 時：9月3日（日）

場 所：イベント広場

参加者数：180名



銀屋町 鯨太鼓（据太鼓）披露

日 時：9月16日（土）

場 所：ホール

参加者数：370名

くんち奉納踊公開練習

本石灰町奉納踊 船大工町奉納踊

日 時：9月17日（日）

場 所：イベント広場

参加者数：120名

傘鉾もちあげ体験

日 時：9月18日（月）

場 所：エントランスホール

参加者数：60名

くんち奉納踊公開練習 栄町奉納踊

日 時：9月30日（土）

場 所：エントランスホール

参加者数：340名

こども龍踊

日 時：10月14日（土）

出 演：諏訪小学校

場 所：ホール

参加者数：133名

開館1周年記念特別展 ローマを夢見た美少年 天正遣欧使節と天草四郎展

開館1周年を記念し、天正遣欧使節や島原・天草の乱など、長崎を舞台にしたキリスト教の歴史を重要文化財を含む約200点の歴史・美術・工芸資料を通して紹介しました。

期 間：2006年10月21日（土）～12月13日（水）
観 覧 料：一般900円・高校生以下500円
主 催：長崎歴史文化博物館
共 催：長崎県・長崎市・大村市・南島原市
特別協力：カトリック長崎大司教区
協 力：日本通運（株）・（株）昭和堂
協 賛：有限会社 長崎出島食品
後 援：長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・長崎新聞社・朝日新聞社・西日本新聞社・毎日新聞社・読売新聞西部本社・KTNテレビ長崎・NIB長崎国際テレビ・NCC長崎文化放送・NBC長崎放送・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎・サカタインクス株式会社

総入場者数：10,185名（1日平均192名）

〈関連事業〉

講演会1

「初期洋風画について」

講 師：植松有希（当館研究員）

「ローマ・ボンコンパーニ公爵家所蔵の資料報告」

講 師：海江田義広（長崎県文化振興課主任学芸員）

日 時：10月21日（土）

場 所：ホール

参加者数：27名

シンポジウム

基調講演「17世紀の東アジアと日本」

講 師：レオナルド・ブリュッセイ（ライデン大学教授）

コーディネーター：服部英雄（九州大学教授）

パネラー：荒野泰典（立教大学教授）

：河宇鳳（韓国全北大学校教授）

：大石一久（長崎県文化振興課係長）

：レオナルド・ブリュッセイ

日 時：10月29日（日）

場 所：ホール

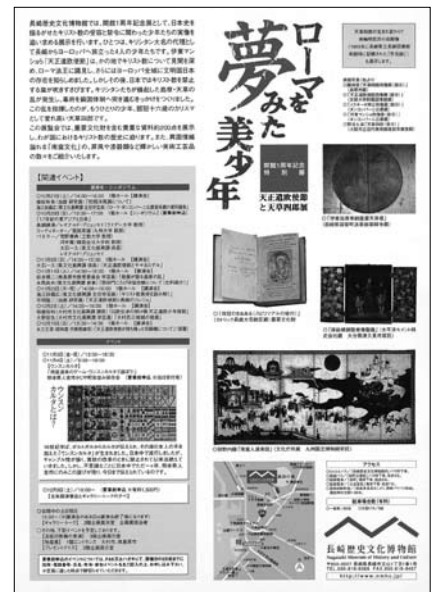
参加者数：55名

講演会2

「天正遣欧使節と千々石ミゲル」

講 師：大石一久（長崎県文化振興課係長）

日 時：11月5日（日）



場 所：ホール

参加者数：73名

講演会3

「発掘が語る島原の乱」

講 師：松本慎二（南島原市教育委員会学芸員）

「邪宗門ころび宗旨改帳について」

講 師：本馬貞夫（長崎県文化振興課参事）

日 時：11月11日（日）

場 所：ホール

参加者数：62名

講演会4

「キリスト教美術を読み解く」

講 師：海江田義広（長崎県文化振興課主任学芸員）

「天正遣欧使節と長崎のコレジョ」

講 師：平岡隆二（当館研究員）

日 時：11月23日（木）

場 所：ホール

参加者数：35名



講演会5

「日欧交渉の架け橋 天正遣欧少年使節」

講 師：稲富裕和（大村市文化振興課課長）

「大村氏三城城の発掘」

講 師：大野安生（大村市文化振興課学芸員）

日 時：12月2日（土）

場 所：ホール

参加者数：96名



講演会6

「天正遣欧使節が持ち帰った活字印刷機について」

講 師：永江正澄（昭和堂代表取締役）

日 時：12月10日（土）

場 所：ホール

参加者数：64名



古楽器演奏とギャラリートークの夕べ

日 時：12月9日（土） 開場18:30 開演19:00

場 所：3階企画展示室ロビー

出 演：鹿島恵子（アルト）、宮坂純子（ヴァージナル）、
井上周子（リュート）、古井由紀子（リコーダー）、
加納暁子（バロックヴァイオリン）

入 場 料：1,500円（企画展観覧料を含む）

参加者数：84名

「南蛮渡来のゲーム・ウンスンカルタで遊ぼう！」

日 時：11月3日（金）、4日（土）

場 所：3階企画展示室ロビー

講 師：人吉市かじや町街並み保存会

参加者数：62名

南島原物産展

期 間：11月23日（木祝）～11月26日（日）

場 所：エントランスホール

大村物産展

期 間：12月1日（金）～12月3日（日）

場 所：エントランスホール

早稲田大学創立125周年記念 「吉村作治の早大エジプト発掘40年展」

吉村作治教授率いる早稲田大学古代エジプト調査隊の活動40年を記念し、早稲田隊がダハシール北遺跡で発見した青いミイラマスクと彩色箱型木棺など、これまで同隊が発掘した数多くの遺物の中から、特に価値のあるもの250点あまりを展示しました。

- 期 間：**2006年12月22日（金）～2007年2月14日（水）
- 観 覧 料：**一般・大学生1,200円・高校生1,000円・小中学生500円
- 監 修：**吉村作治
- 主 催：**長崎新聞社・NBC長崎放送・早稲田大学エジプト学研究所
- 後 援：**早稲田大学・外務省・長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・早稲田大学校友会長崎県支部・長崎県社会福祉協議会・長崎市社会福祉協議会・長崎県PTA連合会・長崎県保育協会・長崎県私立幼稚園連合会・国際長崎クラブ・長崎ケーブルメディア・ソフトバンク・日本サイバー教育研究所・熊谷組
- 特別協賛：**大石建設株式会社
- 協 賛：**長崎国際観光コンベンション協会・浜屋百貨店・スズキ自販長崎・NDKCOM・九州急行バス・炭火焼肉 清香園・日本紙工印刷
- 特別協力：**日本通運・長崎歴史博物館
- 協 力：**ひろたか・スカイネットアジア航空・長崎新聞販売センター・アド長崎新聞
- 企画協力：**アケト
- 企画プロデュース：**西鉄エージェンシー
- 総入場者数：**64,402名（1日平均1,193名）



中国文化的精華 BEIJING OPERA 京劇展

中国版オペラとも言われる豪華絢爛な京劇。中国の人間国宝である「王金璐」氏や「梅葆玖」氏の衣装、小道具、楽器、人気演目の衣装などを含む貴重な資料約100点を展示し、わかりやすく京劇の魅力を紹介しました。

期 間：2007年2月24日（土）～3月25日（日）

観 覧 料：一般600円・高校生400円・小中学生300円

主 催：長崎歴史文化博物館

共 催：NCC長崎文化放送

特別協賛：蘇州林

協 賛：中国東方航空・阪急交通社・雲仙湯けむりリゾート・九州ホテル・富貴屋・雲仙スカイホテル・雲仙福田屋・長崎全日空ホテルグラバーヒル・心泉堂長崎カステラ・アサヒビール・カステラの和泉屋グループ

協 力：北京京劇院・北京戯曲芸術職業学院・中国文化芸術センター・フォーカスピクチャーズ

後 援：長崎県・長崎市・中華人民共和国駐日本国大使館文化部・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・長崎新聞社・西日本新聞社・読売新聞西部本社・朝日新聞社・毎日新聞社・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎・813長崎シティFM

監 修：程波（北京戯曲芸術職業学院客員教授、北京梅蘭芳基金会副会長、中国文化芸術センター（株）代表取締役）

企画協力：KJ企画

制 作：中国文化芸術センター株式会社

総入場者数：8,067名（1日平均278名）

〈関連事業〉

自分だけの京劇ポスターをつくろう

実 施：3月3日（土）～4日（日）

作品展示期間：3月5日（月）～3月25日（日）

場 所：企画展示室ロビー

参 加 費：無料

参加者数：63名

チャイニーズムービーフェスティバル

会期中1日4回上映

料 金：500円

場 所：企画展示室

参加者数：488名



月琴教室

日 時：3月3日（土）、4日（日）13：30～15：30

場 所：イベントの間

指 導：長崎明清楽保存会

参 加 料：無料

参加者数：20名

2 常設展（美術展示室）

平成17年度

テーマ	期 間	概 要
長崎派の絵画	2005年11月3日～12月9日	開館記念展示として、長崎派の絵画を多ジャンルに渡って展示。重要文化財『泰西王侯図屏風』も公開。
季節展示	2005年12月21日～2月20日	正月展示として、鶴図や正月図を展示
季節展示	2006年2月22日～4月17日	桃の節句展示として、梅・桃・雛祭の図を展示
長崎奉行所関係資料重文指定記念特別展	2006年3月23日～4月17日	犯科帳をはじめとする長崎奉行所関係資料が国の重要文化財に指定されたことを記念し、奉行所文書を展示公開。

平成18年度

テーマ	期 間	概 要
季節展示	2006年4月19日～6月19日	端午の節句展示として、鯉・関羽・武者の図を展示
季節展示	2006年6月21日～8月21日	夏の季節展示として、夏景山水図や七夕図。併せて、芥川龍之介『河童図屏風』と関連資料を公開
季節展示	2006年8月23日～11月21日	秋の季節展示として、秋景山水図・菊・実りの秋・琴棋書画人物図屏風を展示
季節展示	2006年11月23日～2007年1月15日	正月展示として、鶴図や正月図、長崎版画を展示
桃	2007年1月17日～3月4日	桃の節句展示として、桃図・雛祭・ガラス絵・桐鳳凰図・唐子遊屏風等を展示
川原慶賀	2007年3月6日～3月19日	川原慶賀データベース・シンポジウム記念として、館蔵品の川原慶賀作品と関連資料全37点を展示
端午の節句	2007年3月21日～5月14日	端午の節句展示として、鯉・関羽・武者の図を展示
孫文	2007年3月21日～4月16日	新たに発見された中国革命の父孫文の書などを展示

4

教育普及事業・地域連携事業

1 講演会・講座

平成17年度

■長崎学講座

テーマ	講師	開催日	参加者数
「長崎奉行と犯科帳」 「長崎奉行松平図書頭康平の生涯」	安高啓明（当館研究員） 原田博二（当館研究所長）	12月10日（土）	211名
「長崎奉行とキリシタン -とくに郡崩れと聖徳寺問題に見る弾圧の実態について-」 「長崎奉行所文書」	大石一久（学芸文化課） 本馬貞夫（長崎県立長崎図書館）	3月4日（土）	213名

史跡めぐり

長崎歴史文化博物館見学と長崎公園	原田博二（当館研究所長）	11月12日（土）	155名
伊勢宮～光源寺～大音寺	原田博二（当館研究所長）	2月4日（土）	123名

■長崎歴史文化講座

テーマ	講師	開催日	参加者数
「石崎融思筆唐蘭館図絵巻について」	原田博二（当館研究所長）	1月14日（土）	110名
「キリシタンの宇宙論」	平岡隆二（当館研究員）	2月18日（土）	72名
「長崎警備図の世界」	松尾晋一（当館研究員）	3月18日（土）	70名

■市川森一奉行所トーク

テーマ	ゲスト	開催日	参加者数
長崎奉行	藤田覚氏（東京大学教授）	11月4日（金）	130名
犯科帳の手引き	本馬貞夫（長崎県立長崎図書館）	1月28日（土）	130名

■古文書解読講座

テーマ	講師	開催日	参加者数
正徳の朝鮮通信使の接待に関する対馬藩と幕府のやりとり	本馬貞夫（長崎県立長崎図書館）	2月25日（土）	78名

■その他の講演会・講座

テーマ	講師	開催日	参加者数
特別講演「長崎とオランダ 西洋の科学・技術・文化の受容」	有馬朗人氏	11月4日	130名
シンポジウム「新しい時代の博物館像を読む」	竹内誠氏 （江戸東京博物館長） 片岡千鶴子氏 （長崎純心大学学長） 脇田安大氏 （財ながさき地域政策研究所理事長） 水嶋英治氏 （常磐大学大学院教授）	11月4日	120名
ビジネスマンのための長崎れきぶん経済セミナー「長崎と中国経済」	深野浩平氏（日本銀行長崎支店長）	3月1日	98名

平成18年度

■長崎学講座

テーマ	講師	開催日	参加者数
「本河内方面の史跡」	安高啓明（当館研究員）		
「スライドで歩く長崎歴史散歩1」	原田博二（当館研究所長）	4月29日(土)	130名
「日見の歴史と長崎街道」	原田博二（当館研究所長）		
「スライドで歩く長崎歴史散歩2」		6月10日(土)	149名
「中世の海道・日本海ルート -日引石塔(福井県)の分布から見た対島・五島・平戸-」	大石一久（長崎県文化振興課）	6月11日(日)	105名
「朝鮮通信使絵巻についての基礎的考察」	本馬貞夫（長崎県文化振興課）	7月29日(日)	92名
「長崎駅周辺の歴史」	越中勇（当館主任研究員）		
「スライドで歩く長崎歴史散歩3」	原田博二（当館研究所長）	8月12日(土)	148名
「ジャポニスムと三川内焼」	松下久子（長崎県文化振興課）	9月30日(日)	50名
「遊学者の見た唐人屋敷」	平岡隆二（当館研究員）		
「スライドで歩く長崎歴史散歩4」	原田博二（当館研究所長）	10月28日(土)	137名
「江戸時代の情報伝達」	松尾晋一（当館研究員）		
「スライドで歩く長崎歴史散歩5」	原田博二（当館研究所長）	12月9日(土)	113名
「彼岸の歴史」	徳永宏（長崎県文化振興課）	1月27日(土)	115名
「長崎画人の道を行く」	植松有希（当館研究員）		
「川原慶賀が描いた寺院図について」	原田博二（当館研究所長）	2月17日(土)	121名
「原の辻遺跡について」	石尾和貴（長崎県文化振興課）	3月24日(土)	62名

史跡めぐり

蛍茶屋～本河内～日見トンネル	原田博二（当館研究所長）	5月13日(土)	90名
日見トンネル日見峠～日見	原田博二（当館研究所長）	7月8日(土)	81名
長崎駅前高架広場～旭大橋～悟真寺	原田博二（当館研究所長）	9月9日(土)	130名
湊公園～唐人屋敷跡～大徳寺跡	原田博二（当館研究所長）	11月11日(土)	80名
湊公園～唐人屋敷跡～大徳寺跡	原田博二（当館研究所長）	11月25日(土)	20名
桜馬場天満神社～烽火山	原田博二（当館研究所長）	1月13日(土)	138名
桜馬場天満神社～風頭公園	原田博二（当館研究所長）	3月10日(土)	70名

■長崎歴史文化講座

テーマ	講師	開催日	参加者数
「諏訪祭礼図屏風について」	原田博二（当館研究所長）	4月15日(土)	54名
「長崎版画について」	越中勇（当館主任研究員）	6月24日(土)	45名
「丸山遊女と身売り証文」	本馬貞夫（長崎県文化振興課）	7月15日(土)	70名
「長崎の刑罰」	安高啓明（当館研究員）	8月19日(土)	60名
「千々石ミゲルと鳥原の乱 -棄教の背景を探る-」	大石一久（長崎県文化振興課）	9月17日(日)	40名
「古文書の修理が教えてくれたもの」	富川敦子（当館研究員）	11月26日(日)	20名
「本木良永関連翻訳書について」	平岡隆二（当館研究員）	12月16日(土)	55名
「長崎の台場」	松尾晋一（当館研究員）	1月20日(土)	118名
「幕末の長崎とシーボルト」	徳永宏（長崎県文化振興課）	2月10日(土)	125名
「川原慶賀が描いた風景・風俗図 その真偽についての一試論」	原田博二（当館研究所長）	3月3日(土)	135名

■市川森一奉行所トーク

テーマ	ゲスト・聞き手	開催日	参加者数
「踏絵と奉行所」	原田博二（当館研究所長）	5月28日(日)	93名
「フェートン号事件」	本馬貞夫（長崎県文化振興課参事）	7月30日(土)	67名
「遊女のお白洲」	越中哲也（長崎歴史文化協会）	9月24日(日)	110名
「シーボルト事件」	本馬貞夫（長崎県文化振興課参事）	11月26日(日)	41名
「長崎の中華文化と唐人屋敷」	陳優継氏（四海楼代表取締役社長）	2月25日(日)	85名

■古文書解読講座

テーマ	講師	開催日	参加者数
古文書解読講習会（入門編） 古文書の基本を学ぶ	本馬貞夫（長崎県文化振興課） 石尾和貴（長崎県文化振興課）	6月8日（木）	14名
		15日（木）	14名
		22日（木）	15名
		29日（木）	15名
古文書解読講習会（初級・中級編） 犯科帳、郷村記等を読む	初級 松尾晋一（当館研究員） 中級 原田博二（当館研究所長）	8月29日（火） （※佐世保市立図書館）	31名
		8月30日（水）	67名

■その他の講演会・講座（企画展関連講座を除く）

テーマ	講師	開催日	参加者数
黒川紀章先生講演会	黒川紀章	11月9日	161名
志筑忠雄シンポジウム		11月18日、19日	142名
平成18年度文化庁芸術拠点形成事業 シンポジウム「シーボルトの絵師 川原慶賀」	マティ・フォラー氏 （ライデン国立民族学博物館学芸部長） 山口隆男氏 （元熊本大学教授） 小林淳一氏 （江戸東京博物館事業企画課長）	3月11日	180名
	宮坂正英氏 （長崎純心大学教授） 原田博二 （当館研究所長） 海江田義広 （長崎県文化振興課主任学芸員）		

常設展示みどころ解説

時間：11:15～12:00 場所：常設展示室

歴史文化展示ゾーン	くんち	越中 勇	主任研究員	1月7日（土）
奉行所ゾーン	キリシタンの世界	越中 勇	主任研究員	1月14日（土）
歴史文化展示ゾーン	長崎の美術・工芸1	松下久子	長崎県文化振興課学芸員	1月21日（土）
歴史文化展示ゾーン	大航海時代	徳永 宏	長崎市学芸員	1月28日（土）
歴史文化展示ゾーン	中国との交流	原田博二	当館研究所長	2月4日（土）
歴史文化展示ゾーン	オランダとの交流	本馬貞夫	長崎県文化振興課	2月11日（土）
歴史文化展示ゾーン	朝鮮との交流・貿易都市長崎	石尾和貴	長崎県文化振興課	2月18日（土）
歴史文化展示ゾーン	長崎遊学・日本の近代化	海江田義広	長崎県文化振興課学芸員	2月25日（土）
歴史文化展示ゾーン	長崎の美術・工芸2	松下久子	長崎県文化振興課学芸員	3月4日（土）
歴史文化展示ゾーン	シーボルトと出島	徳永 宏	長崎市学芸員	3月11日（土）
歴史文化展示ゾーン	長崎貿易	本馬貞夫	長崎県文化振興課	3月18日（土）
奉行所ゾーン	長崎奉行所立山役所	大石一久	長崎県文化振興課	3月25日（土）

2 こども向けプログラム

平成18年度

テーマ	日時	場所	講師・指導	参加料	参加者数
ハタづくり、ハタあげ教室	4月23日(日)	講座室	長崎節木塾		20名
むかしあそび	5月5日(金)	イベントの間	当館研究員	無料	131名
夏休み自由研究相談	7月27日(木) ～29日(土) 8月16日(水)	資料閲覧室	当館研究員	無料	5名
和紙でつくろう	8月17日(木)	講座室	富川敦子(当館研究員)	無料	23名
博物館でスケッチ大会	8月19日(土) 20日(日)		当館研究員	無料	16名
寸劇体験	8月23日(水)	奉行所御白洲	長崎奉行所芝居組	無料	26名
博物館探検ツアー	7月28日(金) 8月16日(水)		当館研究員	無料	22名
博物館でスケッチ大会	11月19日(日)		当館研究員	無料	22名
中国の古楽器体験	12月10日(日)	講座室	長崎明清楽保存会	無料	9名
お正月かざりと一銭バタ	12月24日(日)	講座室	長崎節木塾	500円	14名
書初め	1月2日(火)	奉行所ゾーン	白濱紀子氏	無料	32名
糸より・刺しゅう体験	1月5日(金)	イベントの間	長崎刺繍再発見塾	無料	5名
寸劇体験	1月5日(金)	奉行所御白洲	長崎奉行所芝居組	無料	3名
木で作ろう	1月6日(土)	講座室	長崎節木塾	500円	12名
べっこう細工	1月6日(土)	伝統工芸体験工房	川政べっ甲製作所 川口皓式	無料	13名
ウンスンカルタで遊ぼう	1月7日(日)	イベントの間	当館研究員	無料	25名
お正月のむかしあそび	1月7日(日)	イベントの間	当館研究員	無料	65名
はくぶつかんのおはなし会と豆まきあそび	2月3日(土)	講座室	当館研究員 当館ボランティア	無料	138名
べっ甲細工	2月5日(月)	伝統工芸体験工房	川政べっ甲製作所 川口皓式	無料	
ステンドグラス	2月6日(火) ～8日(木)	伝統工芸体験工房	長崎やけんステンドグラス塾	無料	
はくぶつかんのおはなし会と折雛あそび	3月3日(土)	イベントの間	当館研究員 当館ボランティア	無料	8名
月琴体験	3月3日(土) 4日(日)	イベントの間	長崎明清楽保存会	無料	20名
中国遊び体験	3月10日(土)	イベントの間	当館研究員	無料	32名



月琴体験



刺しゅう体験



お話し会



正月飾り

3 学校との連携

1. 平成18年度博物館利用説明会

学校行事や授業の一貫として博物館の利用を促進するため、県内の小中高校の教員を対象にした博物館利用説明会を実施した。

日 時：2006年8月3日(木)、4日(金) 各日9:30～12:00／13:30～16:00

参加者数：221名

2. 遠隔授業

離島など遠隔地にある学校を対象に通信回線を用いた遠隔授業を行った。

<平成17年度>

日 時：2006年2月13日(月)

対 象：長崎県立壱岐高校2年生(120名)

解 説：大石一久、徳永宏、本馬貞夫、松下久子(長崎県文化振興課)
越中勇、安高啓明、松尾晋一、平岡隆二、進行 矢野香織(当館研究員)

内 容：「長崎貿易とオランダとの交流」
「長崎貿易—中国とオランダ貿易」

<平成18年度>

日 時：2006年8月25日(金)

対 象：長崎県立壱岐高校2年生(110名)

解 説：安高啓明(当館研究員) 大石一久(長崎県文化振興課)
進行 矢野香織、下田幹子(当館研究員)

内 容：「長崎奉行について」
「長崎奉行所とキリシタン禁制」

日 時：2007年2月8日(木)

対 象：長崎県立壱岐高校2年生(110名)

解 説：安高啓明(当館研究員) 大石一久(長崎県文化振興課)
進行 矢野香織、下田幹子(当館研究員)

内 容：「ヨーロッパとの出会いから鎖国へ」
「長崎貿易—中国貿易とオランダ貿易」

3. 博物館利用検討委員会

県内の学校との連携を深め、学校による博物館利用を促進するとともに、博物館を使った効果的な授業を検討することを目的に、平成18年度より当館研究員と小中学校の教員からなる「博物館利用検討委員会」を発足させ、全5回の検討委員会を実施した。

○検討委員

福田浩久(桜町小学校教諭)

掛水雅寛(諏訪小学校教諭)

小川希巳絵(上長崎小学校教諭)

宗友博(丸尾中学校教諭)
 和田裕子(緑が丘中学校教諭)
 瀬川慈久(桜馬場中学校教諭)
 竹内有理(当館教育・研究グループリーダー)
 矢野香織(教育グループ研究員)
 下田幹子(教育グループ研究員)

○主な検討内容

- ・教育普及事業の現状報告
- ・貸し出し教材について
- ・ワークシートについて
- ・遠隔授業について
- ・来年度の教育事業について

○実施日

- 第1回 2006年10月11日(水)
- 第2回 11月22日(火)
- 第3回 12月20日(水)
- 第4回 2007年1月26日(金)
- 第5回 2007年2月19日(月)

4. 学校団体来館状況

		平成17年度 (05/11/3~06/3/31)		平成18年度	
		件数	人数	件数	人数
県内	小学校	57	6,063	156	6,218
	中学校	24	1,243	49	2,468
	高等学校	10	1,116	22	1,400
	大学	5	113	11	283
	その他	13	264	23	583
県外	小学校	12	754	106	7,291
	中学校	3	193	45	3,277
	高等学校	9	571	29	2,417
	大学	3	156	16	554
	その他	3	40	10	339
合計		139	10,513	467	24,830

平成17年度

<県内>

	来館日	学校名	来館人数
1	2005年11月4日	長崎南高等学校	340
2	2005年11月8日	緑丘小学校	115
3	2005年11月8日	亀岳小学校	30
4	2005年11月8日	沼津中学校	34
5	2005年11月9日	飯盛東小学校	61
6	2005年11月10日	佐世保北中学校	125
7	2005年11月10日	鶏鳴小学校	58
8	2005年11月11日	西諫早小学校	116
9	2005年11月11日	仁田小学校	77
10	2005年11月11日	北諫早小学校	141
11	2005年11月11日	根獅子小学校	14
12	2005年11月14日	坂本小学校	41
13	2005年11月15日	長崎中学校	98
14	2005年11月17日	西浦上中学校	2
15	2005年11月18日	伊王島小学校	12
16	2005年11月18日	野母小学校	13
17	2005年11月21日	瓊浦高等学校	80
18	2005年11月22日	東小学校	41
19	2005年11月22日	本野小学校	21
20	2005年11月22日	上長崎小学校	6
21	2005年11月24日	高浜小学校	47
22	2005年11月25日	尾戸小学校	16
23	2005年11月25日	橘小学校	171
24	2005年11月25日	竹松小学校	111
25	2005年11月28日	諫早小学校	85
26	2005年11月29日	有川中学校	73
27	2005年11月29日	みはる台小学校	49
28	2005年11月30日	鷹島小学校	27
29	2005年11月30日	小島小学校	72
30	2005年12月1日	形上小学校	44
31	2005年12月1日	日見小学校	88
32	2005年12月2日	大島東小学校	22
33	2005年12月2日	鶴南養護学校	14
34	2005年12月2日	女の都小学校	53
35	2005年12月2日	稲佐小学校	60
36	2005年12月9日	鶴南養護学校	7
37	2005年12月9日	魚目中学校	31
38	2005年12月9日	長崎県立長崎明誠高校	4
39	2005年12月9日	長崎東中学校	127
40	2005年12月14日	長崎中学校	84
41	2005年12月16日	西城山小学校	80
42	2005年12月16日	壱岐高等学校	14
43	2005年12月21日	桜町小学校	74
44	2006年1月18日	大島中学校	48
45	2006年1月19日	島原工業高等学校	80
46	2006年1月20日	長与北小学校	95
47	2006年1月20日	女の都小学校	51
48	2006年1月21日	銭座小学校	32

49	2006年1月24日	横尾小学校	90
50	2006年1月24日	戸町小学校	112
51	2006年1月26日	村松小学校	100
52	2006年2月1日	那賀中学校	23
53	2006年2月2日	桜馬場中学校	8
54	2006年2月3日	南小学校	23
55	2006年2月4日	南長崎小学校	60
56	2006年2月7日	高島小学校	31
57	2006年2月8日	島原商業高等学校	42
58	2006年2月8日	茂木小学校	40
59	2006年2月8日	長崎県立鳴滝高校	5
60	2006年2月8日	池島小学校	20
61	2006年2月10日	南中学校	26
62	2006年2月10日	長崎県立盲学校	8
63	2006年2月14日	洗切小学校	57
64	2006年2月15日	梅香崎中学校	12
65	2006年2月16日	桜町小学校	74
66	2006年2月17日	虹が丘小学校	45
67	2006年2月17日	伊良林小学校	63
68	2006年2月18日	上山小学校	29
69	2006年2月19日	堂崎小学校	38
70	2006年2月23日	東長崎中学校	229
71	2006年2月24日	福田中学校	15
72	2006年2月27日	小浜中学校	2
73	2006年2月28日	西町小学校	88
74	2006年2月28日	伊良林小学校	130
75	2006年3月3日	鶴南養護学校	9
76	2006年3月6日	滑石中学校	5
77	2006年3月6日	桜町小学校	13
78	2006年3月9日	富江中学校	59
79	2006年3月10日	有喜中学校	55
80	2006年3月14日	希望が丘高等養護学校	18
81	2006年3月15日	長崎総合科学大附属高等学校	177
82	2006年3月16日	長崎県立鳴滝高校	130
83	2006年3月17日	西坂小学校	45
84	2006年3月18日	長崎南山中学校	32
85	2006年3月26日	長崎日本大学中学校	96

<県外>

1	2005年11月8日	福岡県久留米市立鳥飼小学校	55
2	2005年11月10日	福岡県瀬高町立上庄小学校	33
3	2005年11月11日	福岡県熊本市立帯山西小学校	127
4	2005年11月11日	熊本県久留米市立犬塚小学校	24
5	2005年11月13日	福岡県北海道白老東高等学校	19
6	2005年11月16日	北海道椋山女学院高等学校	13
7	2005年11月17日	愛知県椋山女学院高等学校	13
8	2005年11月17日	愛知県山江村立山田小学校	42
9	2005年11月17日	熊本県川上小学校	100
10	2005年11月18日	熊本県熊本市立花園小学校	103
11	2005年11月21日	熊本県山川町立南部小学校	17
12	2005年11月24日	福岡県福岡市立美野島小学校	38
13	2005年11月24日	長野県伊那北高等学校	86

14	2005年11月30日	静岡県静岡県立静岡北養護学校	10
15	2005年12月5日	千葉県千葉県立幕張総合高校	44
16	2006年1月24日	沖縄県那覇市立城北中学校	179
17	2006年2月23日	山口県下関市立夢が丘中学校	7
18	2006年2月24日	山口県下関市立夢が丘中学校	7
19	2006年3月18日	群馬県新島学園高等学校	198

平成18年度

<県内>

	来館日	学校名	来館人数
1	2006年4月17日	池島中学校	11
2	2006年4月21日	佐世保中央高等学校通信制	245
3	2006年4月22日	長崎大学経済学部	22
4	2006年4月28日	長崎東中学校	126
5	2006年5月13日	銭座小学校	37
6	2006年5月14日	御船蔵下子供会	13
7	2006年5月17日	浅子小学校	18
8	2006年5月18日	八幡小学校	0
9	2006年5月18日	盈科小学校	18
10	2006年5月19日	長崎玉成短期大学	25
11	2006年5月20日	長崎大学教育学部	24
12	2006年5月23日	久原小学校	10
13	2006年5月23日	那賀小学校	18
14	2006年5月24日	鯨伏小学校	15
15	2006年5月24日	太田小学校	7
16	2006年5月26日	鹿町小学校	25
17	2006年5月28日	高来西小学校	52
18	2006年5月30日	久田小学校	29
19	2006年5月31日	神浦小学校	3
20	2006年5月31日	芦辺小学校	4
21	2006年6月1日	歌浦小学校	27
22	2006年6月1日	度島中学校	52
23	2006年6月4日	西陵高等学校	47
24	2006年6月6日	巖原北小学校	22
25	2006年6月7日	豊玉小学校	13
26	2006年6月7日	飯盛西小学校	24
27	2006年6月7日	筒城小学校	25
28	2006年6月8日	北陽小学校	41
29	2006年6月12日	江平中学校	90
30	2006年6月15日	口之津小学校	55
31	2006年6月16日	坂本小学校	49
32	2006年6月16日	美津島北部小学校	19
33	2006年6月16日	久賀中学校	9
34	2006年6月16日	西町小学校	96
35	2006年6月16日	青島小学校	10
36	2006年6月17日	国見高等学校	23
37	2006年6月21日	鶴南養護学校	17
38	2006年6月21日	桜馬場中学校	11
39	2006年6月23日	愛野小学校	64
40	2006年6月24日	長崎国際大学	14
41	2006年6月28日	西海南中学校	12

42	2006年6月29日	西小学校	25
43	2006年6月30日	上長崎小学校	4
44	2006年7月1日	清峰高等学校	23
45	2006年7月3日	長崎大学教育学部	33
46	2006年7月4日	小ヶ倉中学校	17
47	2006年7月4日	堂崎小学校	36
48	2006年7月5日	滑石中学校	32
49	2006年7月6日	島原商業高等学校	35
50	2006年7月7日	崎戸中学校	47
51	2006年7月8日	長崎総合科学大学	27
52	2006年7月8日	長崎外国語大学	21
53	2006年7月11日	諫早商業高等学校	36
54	2006年7月12日	霞翠小学校	20
55	2006年7月12日	虹の原養護学校	10
56	2006年7月12日	島原工業高等学校	19
57	2006年7月13日	島原工業高等学校	84
58	2006年7月14日	雪浦小学校	13
59	2006年7月24日	神浦中学校	28
60	2006年7月30日	椛島中学校	7
61	2006年8月4日	口加高等学校	30
62	2006年8月5日	鎮西学院高等学校	49
63	2006年8月7日	矢上小学校	4
64	2006年8月9日	朝日小学校	11
65	2006年8月10日	西諫早中学校	9
66	2006年8月21日	西諫早中学校	40
67	2006年8月23日	盲学校	3
68	2006年8月26日	為石小学校	54
69	2006年9月4日	野子小学校	18
70	2006年9月6日	長崎大学	71
71	2006年9月13日	大調小学校	12
72	2006年9月14日	田平北小学校	48
73	2006年9月14日	中野小学校	23
74	2006年9月14日	長崎中学校	2
75	2006年9月14日	生月小学校	53
76	2006年9月15日	長与第二中学校	197
77	2006年9月15日	大浦中学校	167
78	2006年9月15日	女の都小学校	52
79	2006年9月15日	星鹿小学校	27
80	2006年9月15日	紐差小学校	34
81	2006年9月15日	中津良小学校	11
82	2006年9月15日	長崎市立南大浦小学校	53
83	2006年9月15日	大浦中学校	89
84	2006年9月20日	緑丘小学校	114
85	2006年9月20日	魚目小学校	19
86	2006年9月20日	朝日小学校	30
87	2006年9月21日	諫早特別支援学校	4
88	2006年9月21日	上志佐小学校	5
89	2006年9月21日	勝本小学校	5
90	2006年9月21日	吉井南小学校	62
91	2006年9月21日	志々伎小学校	20
92	2006年9月22日	長崎精道中学校	86
93	2006年9月22日	諏訪幼稚園	106

94	2006年9月24日	宮小学校	48
95	2006年9月24日	川原保育園	15
96	2006年9月27日	飽浦小学校	27
97	2006年9月27日	上長崎小学校	140
98	2006年9月27日	愛宕小学校	91
99	2006年9月27日	宇久小学校	30
100	2006年9月28日	ろう学校	3
101	2006年9月28日	南有馬中学校	22
102	2006年9月29日	大島小学校	14
103	2006年9月30日	桜が丘小学校	50
104	2006年9月30日	西城山小学校	38
105	2006年9月30日	矢の平1丁目子供会	30
106	2006年10月1日	湯江小学校	27
107	2006年10月1日	諫早東高等学校	20
108	2006年10月3日	形上小学校	39
109	2006年10月4日	小値賀小学校	40
110	2006年10月4日	有喜中学校	61
111	2006年10月4日	瀬戸小学校	43
112	2006年10月5日	神浦小学校	24
113	2006年10月5日	奈良尾小学校	5
114	2006年10月5日	鶴南養護学校五島海陽高等学校分教室	15
115	2006年10月5日	希望が丘高等特別支援学校	23
116	2006年10月6日	上長崎小学校	80
117	2006年10月6日	小ヶ倉中学校	13
118	2006年10月6日	奈良尾小学校	36
119	2006年10月6日	聖マリア学院小学校	26
120	2006年10月6日	楠栖小学校	40
121	2006年10月6日	上長崎小学校	80
122	2006年10月6日	崎山中学校	20
123	2006年10月10日	西町小学校	73
124	2006年10月10日	小柵小学校	33
125	2006年10月11日	石田小学校	49
126	2006年10月12日	活水中学校	107
127	2006年10月12日	三島小学校	39
128	2006年10月12日	稲佐小学校	121
129	2006年10月13日	樺島小学校	10
130	2006年10月13日	若松東小学校	9
131	2006年10月13日	音琴小学校	7
132	2006年10月13日	片淵中学校	38
133	2006年10月13日	大船越小学校	25
134	2006年10月13日	若松中央小学校	0
135	2006年10月13日	若松東小学校	0
136	2006年10月13日	横尾小学校	6
137	2006年10月14日	土井首小学校	35
138	2006年10月16日	沼津中学校	15
139	2006年10月16日	大島中学校	17
140	2006年10月18日	日見中学校	82
141	2006年10月19日	奈留小学校	20
142	2006年10月19日	口石小学校	102
143	2006年10月19日	岐宿小学校	19
144	2006年10月19日	本山小学校	31
145	2006年10月20日	今福小学校	16

146	2006年10月20日	田助小学校	20
147	2006年10月21日	仁田小学校	39
148	2006年10月23日	西有家小学校	63
149	2006年10月24日	有川中学校	76
150	2006年10月24日	山田小学校	37
151	2006年10月24日	小佐々小学校	47
152	2006年10月24日	長崎東中学校	1
153	2006年10月25日	玖島中学校	82
154	2006年10月25日	田河小学校	20
155	2006年10月25日	南陽小学校	8
156	2006年10月26日	北諫早小学校	36
157	2006年10月26日	度島小学校	16
158	2006年10月26日	御厨小学校	56
159	2006年10月26日	大船越小学校	25
160	2006年10月26日	長崎東中学校	13
161	2006年10月26日	初山中学校	39
162	2006年10月27日	古賀小学校	20
163	2006年10月27日	山内小学校	29
164	2006年10月27日	西城山小学校	8
165	2006年10月27日	平成小学校	11
166	2006年10月27日	奈留中学校	35
167	2006年10月27日	津波見小学校	3
168	2006年10月28日	銭座小学校	14
169	2006年10月31日	真城小学校	57
170	2006年11月1日	調川小学校	36
171	2006年11月1日	桜馬場中学校	50
172	2006年11月1日	調川小学校	36
173	2006年11月1日	渡良小学校	12
174	2006年11月7日	喜々津東小学校	10
175	2006年11月7日	高田小学校	22
176	2006年11月7日	長崎大学	11
177	2006年11月8日	北諫早小学校	147
178	2006年11月8日	佐世保北中学校	124
179	2006年11月8日	平戸小学校	101
180	2006年11月8日	皆瀬小学校	57
181	2006年11月9日	若松中央小学校	18
182	2006年11月9日	鶏鳴小学校	45
183	2006年11月9日	養源小学校	12
184	2006年11月10日	岩屋中学校	16
185	2006年11月10日	有馬商業高等学校	19
186	2006年11月13日	山里中学校	30
187	2006年11月15日	野子小学校	13
188	2006年11月15日	福石小学校	55
189	2006年11月15日	上諫早小学校	16
190	2006年11月16日	小佐々中学校	84
191	2006年11月16日	大村養護学校	39
192	2006年11月16日	鳴鼓小学校	68
193	2006年11月16日	時津小学校	95
194	2006年11月16日	沼津小学校	21
195	2006年11月16日	千々石第二小学校	11
196	2006年11月16日	相浦西小学校	140
197	2006年11月16日	平戸小学校	101

198	2006年11月17日	根獅子小学校	15
199	2006年11月17日	西町小学校	82
200	2006年11月17日	矢上小学校	196
201	2006年11月17日	大浜小学校	15
202	2006年11月17日	船越小学校	41
203	2006年11月17日	長崎大学附属特別支援学校	7
204	2006年11月17日	白似田小学校	39
205	2006年11月19日	吾妻中学校	14
206	2006年11月20日	三城小学校	84
207	2006年11月20日	野母小学校	15
208	2006年11月22日	諫早東養護学校	16
209	2006年11月22日	小島中学校	100
210	2006年11月24日	大島東小学校	16
211	2006年11月24日	長崎精道小学校	52
212	2006年11月24日	長崎大学附属特別支援学校	8
213	2006年11月24日	西諫早小学校	99
214	2006年11月24日	橘小学校	150
215	2006年11月24日	庵浦小学校	8
216	2006年11月27日	虹が丘小学校	54
217	2006年11月29日	みはる台小学校	61
218	2006年12月1日	長崎大学附属特別支援学校	6
219	2006年12月1日	鶴南養護学校	10
220	2006年12月5日	長崎総合科学大学	20
221	2006年12月7日	北陽小学校	18
222	2006年12月7日	有家中学校	16
223	2006年12月11日	伊木力小学校	30
224	2006年12月13日	島原工業高等学校	37
225	2006年12月15日	伊王島中学校	11
226	2006年12月16日	西城山小学校	80
227	2006年12月16日	西海南小学校	43
228	2006年12月18日	長崎県立長崎北高等学校	7
229	2006年12月21日	桜町小学校	74
230	2007年1月20日	長崎ウェスレヤン大学	15
231	2007年1月20日	長崎県立野崎養護学校	55
232	2007年1月23日	大船越中学校	21
233	2007年1月24日	長崎県立鳴滝高等学校	77
234	2007年1月24日	佐世保養護学校	11
235	2007年1月26日	長崎大学附属特別支援学校	10
236	2007年1月30日	長崎東中学校	126
237	2007年2月2日	横尾小学校	68
238	2007年2月2日	鈴田小学校	38
239	2007年2月2日	三川内小学校	30
240	2007年2月3日	長崎県立長崎明誠高等学校	32
241	2007年2月6日	矢上小学校	201
242	2007年2月6日	長崎南高等学校	298
243	2007年2月7日	西町小学校	93
244	2007年2月9日	南中学校	2
245	2007年2月11日	柚木小学校	23
246	2007年2月13日	椿原中学校	20
247	2007年2月13日	聖母の騎士小学校	36
248	2007年2月14日	長崎県立長崎明誠高等学校	14
249	2007年2月15日	上長崎小学校	12

250	2007年2月15日	桜町小学校	41
251	2007年2月16日	有喜小学校	42
252	2007年2月22日	桜馬場中学校	173
253	2007年2月23日	盲学校	3
254	2007年3月3日	西陵高等学校	14
255	2007年3月6日	大草小学校	30
256	2007年3月9日	鎮西学院高等学校	53
257	2007年3月9日	青雲高等学校	223
258	2007年3月19日	長崎南山中学校	28

<県外>

	来館日	学校名	来館人数
1	2006年4月9日	東京外国語大学	50
2	2006年4月22日	姫路市立大の中学校	17
3	2006年4月24日	姫路市立朝日山小学校	200
4	2006年4月25日	城南中学校	
5	2006年4月26日	久留米市立大橋小学校	32
6	2006年4月27日	北九州市立寿山小学校	39
7	2006年4月27日	東近江市立永源寺中学校	60
8	2006年4月28日	米原市立米原中学校	64
9	2006年4月28日	佐賀市立成章中学校	25
10	2006年4月28日	伊万里市立波多津東小学校	50
11	2006年4月28日	横浜市立鶴ヶ峯中学校	71
12	2006年4月29日	筑紫女学園大学	50
13	2006年4月29日	愛知県立豊田高等養護学校	50
14	2006年5月9日	愛知県立大府高等学校	5
15	2006年5月10日	岡山市立上南中学校	59
16	2006年5月11日	北九州市立桜ヶ丘小学校	69
17	2006年5月11日	豊能町立東能勢中学校	69
18	2006年5月12日	熊本市立五福小学校	46
19	2006年5月12日	佐賀市立東与賀中学校	92
20	2006年5月12日	尼崎市立園田東中学校	82
21	2006年5月13日	加古川市立中部中学校	12
22	2006年5月18日	新宮町立立花小学校	10
23	2006年5月18日	柏原市立堅下南中学校	131
24	2006年5月18日	長門市立浅田小学校・明倫小学校	54
25	2006年5月18日	下関市立豊浦小学校	163
26	2006年5月19日	三田市立上野台中学校	117
27	2006年5月19日	久留米市立金島小学校	28
28	2006年5月23日	愛知教育大学附属名古屋中学校	60
29	2006年5月24日	宮崎市立櫛中学校	114
30	2006年5月24日	福岡市立青葉小学校	166
31	2006年5月25日	豊後高田市立草地小学校	15
32	2006年5月25日	荅北町立富岡中学校	17
33	2006年5月25日	貝塚市立第五中学校	34
34	2006年5月26日	美祢市立伊佐小学校	37
35	2006年5月26日	明石市立二見中学校	
36	2006年5月26日	鹿児島市立錫山中学校	
37	2006年5月26日	愛知県立東浦高等学校	169
38	2006年5月27日	灘中学校	25
39	2006年5月28日	伊賀市立府中中学校	57

40	2006年5月30日	久留米市立鳥飼小学校	
41	2006年5月30日	柳川高等学校	89
42	2006年6月1日	福岡市立西新小学校	171
43	2006年6月1日	日田市天瀬地区連合修学旅行	70
44	2006年6月1日	久留米市立宮ノ陣小学校	
45	2006年6月1日	伊万里市立伊万里小学校	
46	2006年6月1日	立教大学	81
47	2006年6月1日	大牟田市立吉野小学校	88
48	2006年6月1日	熊本市立出水小学校	89
49	2006年6月2日	九州産業大学	80
50	2006年6月2日	多久市立緑ヶ丘小学校	119
51	2006年6月2日	田野町立田野中学校	16
52	2006年6月6日	大牟田市立笹原小学校	47
53	2006年6月6日	川西市立川西南中学校	40
54	2006年6月6日	熊本市立花園小学校	104
55	2006年6月8日	宮地小学校	62
56	2006年6月9日	貝塚市立第二中学校	20
57	2006年6月21日	慶応義塾幼稚舎	21
58	2006年7月1日	宗像市立湖東小学校	27
59	2006年7月12日	福岡女学院大学	50
60	2006年7月15日	京都教育大学	7
61	2006年8月3日	栄光学園	29
62	2006年8月4日	日本大学	29
63	2006年8月4日	神奈川大学	33
64	2006年8月30日	筑紫野市立吉木小学校	32
65	2006年9月1日	九州大学	6
66	2006年9月6日	鹿児島市立天保山中学校	70
67	2006年9月8日	嬉野市立嬉野小学校	90
68	2006年9月9日	北九州市立皿倉小学校	107
69	2006年9月12日	春日市立春日南小学校	175
70	2006年9月14日	志免町立志免南小学校	30
71	2006年9月15日	筑紫野市立天拝小学校	60
72	2006年9月15日	学習院大学	17
73	2006年9月21日	福岡市立大原小学校	93
74	2006年9月21日	福岡市立上津小学校	175
75	2006年9月22日	佐賀市立若楠小学校	91
76	2006年9月22日	大分リハビリテーション専門学校	37
77	2006年9月24日	福岡市立高木小学校	66
78	2006年9月25日	福岡市立田隈小学校	64
79	2006年9月27日	名張市立北中学校	246
80	2006年9月28日	福岡市立金武小学校	55
81	2006年9月28日	春日市立日の出小学校	68
82	2006年9月28日	久留米市立上津小学校	137
83	2006年9月28日	久留米市立東国分小学校	117
84	2006年9月29日	中種子町立中種子中学校	82
85	2006年9月29日	日置市立伊集院北中学校	82
86	2006年10月2日	茨城県立水戸桜ノ牧高等学校	133
87	2006年10月3日	鹿島市立浜北小学校	40
88	2006年10月3日	西之表市立榕城中学校	22
89	2006年10月3日	南九州市立青戸中学校	43
90	2006年10月4日	下関市立長府小学校	27
91	2006年10月4日	杉並学院高等学校	203

92	2006年10月4日	霧島市立舞鶴中学校	80
93	2006年10月4日	神崎市立神崎小学校	10
94	2006年10月4日	久留米市立山川小学校	55
95	2006年10月5日	立花町立北山小学校	29
96	2006年10月5日	太宰府小学校	125
97	2006年10月5日	杉並学院高等学校	198
98	2006年10月5日	筑紫野市立阿志岐小学校	47
99	2006年10月5日	立花町立立花小学校	28
100	2006年10月5日	静岡県立沼津特別支援学校高等部	55
101	2006年10月6日	神崎市立背振小学校	23
102	2006年10月6日	小城市立砥川小学校	24
103	2006年10月11日	福岡市立美和台小学校	170
104	2006年10月12日	愛知県立東郷高等学校	18
105	2006年10月12日	小城市立三里小学校	
106	2006年10月12日	小城市立桜岡小学校	
107	2006年10月12日	唐津市立長松小学校	
108	2006年10月12日	小城市立松小学校	12
109	2006年10月13日	江北町立江北小学校	109
110	2006年10月13日	碧水小学校	63
111	2006年10月13日	日田市立日隈小学校	12
112	2006年10月13日	唐津市立平原小学校	20
113	2006年10月18日	伊賀市立崇広中学校	124
114	2006年10月18日	宗像市立日の里東小学校	62
115	2006年10月18日	郡山女子大学附属高等学校	44
116	2006年10月19日	佐賀市立開成小学校	121
117	2006年10月19日	筑紫野市立二日市小学校	127
118	2006年10月19日	熊本市立出水南小学校	32
119	2006年10月19日	鳥栖市立田代小学校	98
120	2006年10月20日	上峰町立上峰小学校	109
121	2006年10月20日	春日市立春日東小学校	153
122	2006年10月21日	高輪中学校	251
123	2006年10月24日	津久見小学校連合	217
124	2006年10月24日	大山連合小学校	47
125	2006年10月25日	大阪市立貝塚養護学校	20
126	2006年10月25日	熊本市立古町小学校	31
127	2006年10月25日	洗足学園高等学校	4
128	2006年10月25日	神戸海星女子学院高等学校	153
129	2006年10月25日	熊本市立託麻原小学校	11
130	2006年10月25日	福岡県筑紫中央高等学校	4
131	2006年10月25日	日置市立東市来中学校	11
132	2006年10月25日	佐賀市立本庄小学校	8
133	2006年10月26日	伊万里市立立花小学校	82
134	2006年10月26日	筑後市立筑後北小学校	17
135	2006年10月26日	啓明学院中学校	176
136	2006年10月27日	伊万里市立大坪小学校	21
137	2006年10月27日	愛知県立岩津高等学校	40
138	2006年10月29日	大里高校	36
139	2006年10月31日	鹿島市立七浦小学校	37
140	2006年10月31日	久留米市立安武小学校	71
141	2006年10月31日	粕屋中央小学校	131
142	2006年11月1日	福岡市立城原小学校	96
143	2006年11月1日	長門石小学校	91

144	2006年11月1日	和歌山信愛女子短期大学附属中学校	139
145	2006年11月1日	筑紫野市立筑紫小学校	64
146	2006年11月1日	筑後市立古川小学校	23
147	2006年11月1日	佐賀市立兵庫小学校	111
148	2006年11月2日	久留米市立犬塚小学校	19
149	2006年11月2日	二日市東小学校	196
150	2006年11月2日	武雄市立朝日小学校	89
151	2006年11月2日	静岡県西遠女子学園高等学校	
152	2006年11月2日	久留米市立日吉小学校	46
153	2006年11月3日	九州大学	15
154	2006年11月7日	飯塚市立立岩小学校	95
155	2006年11月7日	谷山北中学校	132
156	2006年11月8日	泉ヶ丘小学校	78
157	2006年11月8日	十文字高等学校	174
158	2006年11月9日	上西郷小学校	31
159	2006年11月9日	十文字高等学校	139
160	2006年11月9日	八女市立上妻小学校	23
161	2006年11月10日	日田市立若宮小学校	37
162	2006年11月14日	福岡市立石丸小学校	125
163	2006年11月15日	久留米市立荒木小学校	147
164	2006年11月16日	太宰府市立国分小学校	75
165	2006年11月16日	愛知中学校	60
166	2006年11月16日	八女市立岡山小学校	
167	2006年11月17日	佐賀市立赤松小学校	86
168	2006年11月20日	立花町立光友小学校	54
169	2006年11月23日	伊那北高等学校	85
170	2006年11月29日	静岡県立静岡北養護学校	7
171	2006年11月29日	埼玉県立岩槻商業高等学校	100
172	2006年11月30日	福岡市立美野島小学校	67
173	2006年12月1日	熊本市立月出小学校	147
174	2006年12月1日	熊本市立桜木小学校	116
175	2006年12月3日	千葉県立幕張総合高等学校	43
176	2006年12月6日	静岡県立袋井高等学校	42
177	2006年12月6日	千葉県立幕張総合高等学校	127
178	2006年12月9日	石垣市立石垣中学校	187
179	2006年12月13日	静岡県立富士養護学校	10
180	2006年12月13日	山梨県立甲府城西高等学校	35
181	2006年12月20日	東京農業大学	54
182	2006年12月21日	千葉県立千葉聾学校	6
183	2006年12月21日	明治学院高等学校	40
184	2007年1月18日	東京都立青井高等学校	193
185	2007年1月27日	上西郷小学校	13
186	2007年2月8日	暁星国際小学校	21
187	2007年2月9日	福岡女子短期大学	15
188	2007年2月9日	八千代松陰高等学校	19
189	2007年2月13日	暁星小学校	126
190	2007年2月15日	明秀学園日立高等学校	
191	2007年2月16日	小城市立芦刈小学校	19
192	2007年2月18日	日本工業大学	14
193	2007年2月18日	那覇市立仲井真中学校	199
194	2007年2月18日	糸島市立福吉中学校	28
195	2007年2月21日	東京都立足立養護学校	63

196	2007年2月24日	國學院大学	29
197	2007年2月27日	城星学園小学校	43
198	2007年3月1日	聖学院小学校	90
199	2007年3月4日	富山大学	24
200	2007年3月10日	山梨英和高等学校	94
201	2007年3月10日	南山中学校女子部	18
202	2007年3月14日	慶応義塾中等部	
203	2007年3月16日	同志社国際中学校	116
204	2007年3月17日	人間環境大学岡崎学園高等学校	124
205	2007年3月18日	人間環境大学岡崎学園高等学校	106
206	2007年3月18日	福岡市立弥永小学校	18

4 イベント

平成17年度

開館記念イベント

○平家琵琶の調べ

日 時：11月6日（日） 11：00～12：00 14：30～15：30
場 所：ホール
出 演：荒尾 努（平曲弾き語り奏者）
入 場 料：無料
参加者数：285名



○明清楽の夕べ

日 時：11月6日（日） 17：00～18：00
場 所：奉行所ゾーン 対面所・使者の間
出 演：長崎明清楽保存会
入 場 料：無料（ただし常設展観覧料が必要）
参加者数：70名

正月イベント

○年忘れ 奉行所餅つき

日 時：12月28日（水） 13：00～
場 所：イベント広場
参加者数：80名



○新春 琴演奏会

日 時：2006年1月1日（日） 11：00～／13：00～／15：00～
場 所：イベント広場
出 演：長崎文化協会
参加者数：150名

○新春 書初め

日 時：1月2日（月） 13：00～15：00
場 所：奉行所対面所
協 力：長崎書作家協会
参加者数：200名

○新春 舞初め

日 時：1月2日（月） 11：30～／13：30～／15：30～
場 所：エントランスホール
出 演：長崎大学能楽部
参加者数：314名

○新春 初釜

日 時：1月3日（火） 11：00～16：00
場 所：エントランスホール
料 金：500円
協 力：花滴庵
参加者数：191名

○長崎伝習所 正月遊び

日 時：1月7日（土） 12：00～15：00
場 所：イベント広場
主 催：長崎市総合企画室
参加者数：385名

○新春 初笑い

日 時：1月9日（月） 11：00～／13：00～
場 所：奉行所書院
出 演：長崎大学落語研究会
参加者数：150名

○新春 鏡開き

日 時：1月11日（水） 15：00～
場 所：イベント広場
参加者数：227名

○節分 奉行所豆撒き

日 時：2月3日（金） 16：30～
場 所：奉行所ゾーン
参加者数：210名

○奉行所ひな祭り

期 間：2006年3月1日（水）～4月2日（日）
場 所：奉行所ゾーン玄関、書院
参加者数：20,928名

○平家琵琶の調べ

日 時：3月25日（土） 13：00～13：40／16：30～17：30
場 所：奉行所ゾーン
出 演：荒尾 努（平曲弾き語り奏者）
参加者数：170名



平成18年度

○清峰高校準優勝記念写真展

期 間：4月8日（土）～4月23日（日）
場 所：3F企画展示室通路

○奉行所武者飾り

期 間：4月27日（木）～5月15日（月）
場 所：長崎奉行所ゾーン玄関・書院
参加者数：19,189名

○「国際博物館の日」記念企画 Dancing in the museum

日 時：5月18日（木） 19：30～20：30
場 所：エントランスホール
参加者数：210名

○奉行所七夕まつり

期 間：6月21日（水）～7月9日（日）
場 所：奉行所回廊

○奉行所夜まつり 楽市楽座

日 時：8月26日（土）、27日（日） 16：00～20：00
場 所：イベント広場
参加者数：300名

○奉行所三味線公演

日 時：10月1日（日）
場 所：御白洲

○ふれあいミュージアムコンサート

日 時：10月9日（月） 15：30～16：30
場 所：エントランスホール
出 演：橋中学校ハンドベル部 浜砂由美子（フルート）
馬場幸子・柳井知子（ピアノ）
参加者数：170名



○開館1周年記念イベント 奉行所薪能

日 時：11月3日（金） 開場16：00 開演17：00
場 所：イベント広場
出 演：観世流シテ方森本哲郎、野村万禄ほか
演 目：狂言「鐘の音」 能「安達原」
入 場 料：3,000円（全席自由）
参加者数：403名



○イブニングコンサート サックス&ピアノ

日 時：11月8日（水） 19：00～20：00
場 所：エントランスホール
参加者数：98名

○アフタヌーンコンサート CORO STELLA 長崎を歌う

日 時：11月9日（木） 15：30～16：30
場 所：エントランスホール
出 演：CORO STELLA（合唱）野中愛・浦川あけみ（ピアノ）
前川達雄（指揮）
参加者数：41名

○三味線と民謡の夕べ

日 時：11月11日（土） 16：30～17：15
場 所：奉行所ゾーン
参加者数：73名

○長崎ミュージアムメッセ2006

日 時：11月16日（木）～11月20日（月）
場 所：エントランスホール
主 催：長崎県博物館協会 長崎歴史文化博物館



正月イベント

○餅つき・ふるまい餅

日 時：12月28日（木） 11：00～
場 所：イベント広場

○舞初め

日 時：1月4日（木）
場 所：エントランスホール
出 演：長崎大学能楽部

○弾初め

日 時：1月6日（土） 11：30～／13：00～
場 所：エントランスホール
出 演：諫早市芸術文化連盟

○茶初め（初釜）

日 時：1月8日（月） 13：00～15：00
場 所：エントランスホール イベントの間
協 力：鎮信流
お 茶 券：1枚500円

○鏡開き

日 時：1月14日（日） 13：00
場 所：奉行所階段下

○奉行所節分 豆まき

日 時：2月3日（土） 16：30～
場 所：奉行所ゾーン、奉行所階段下

○奉行所ひな祭

期 間：2007年3月1日（木）～3月25日（日）

場 所：奉行所ゾーン玄関、書院

○皿山人形浄瑠璃

日 時：3月18日（日） 12：30～／16：00～

場 所：ホール、奉行所対面所

主 催：皿山人形浄瑠璃公演実行委員会

入 場 料：無料

5 ボランティア

平成17年度

<ボランティア導入の目的>

- ・ボランティア自身の生涯学習とその成果等を発揮する機会と場を提供する。
- ・博物館の教育機能の充実と利用者サービスの向上を図る。
- ・利用者に親しまれ、地域に開かれた博物館づくりを推進する。

<ボランティア募集・研修>

ボランティア募集時期 5月～6月

ボランティア研修 7月～10月 全11回（説明会含む）

<研修内容>

	日 時	テーマ	講 師
説明会	7月2日(土) 10:00～12:00	1. 博物館の概要 2. ボランティア活動について	野間誠二（統括マネージャー） 藤泉（長崎県政策調整局都市再整備推進課課長） 竹内有理（教育研究グループリーダー）
第1回	7月9日(土) 10:00～12:00	長崎の海外交流の歴史1 （原始・古代～中世）	大石一久（長崎県政策調整局都市再整備推進課主事）
第2回	7月30日(土) 10:00～12:00	長崎の海外交流の歴史2 （近世～近代）	原田博二（長崎市立博物館館長）
第3回	8月6日(土) 10:00～12:00	長崎奉行所と町の組織	本馬貞夫（長崎県立長崎図書館副館長）
第4回	8月20日(土) 10:00～12:00	収蔵品について	越中勇（主任研究員）
第5回	9月3日(土) 10:00～11:30 13:00～14:30 15:00～16:30	長崎奉行所立山役所	田中愼一（長崎県政策調整局都市再整備推進課係長） 大石一久（長崎県政策調整局都市再整備推進課主事） 安高啓明（研究員）
第6回	9月10日(土) 13:30～16:00	博物館におけるコミュニケーション、接客・接遇	安富まり子（JTBビジネスサポート九州専任講師）
第7回	9月17日(土) 10:00～12:00 13:30～15:30	体験コーナーについて	平岡隆二（研究員）
第8回	10月15日(土) 10:00～12:00 13:30～15:30	展示解説	越中勇（主任研究員） 平岡隆二（研究員） 安高啓明（研究員） 松尾晋一（研究員） 矢野香織（研究員）
第9回	10月22日(土) 10:00～12:00	避難訓練・緊急対応	長崎市中央消防署
第10回	10月29日(土) 10:00～12:00	修了式、実地演習、写真撮影	大堀哲（館長） 矢野香織（研究員）

<活動分野・条件>

①展示案内ボランティア

2階常設展示室（歴史文化展示ゾーン、長崎奉行所ゾーン）内で来館者への展示解説（定点）や見学・体験の支援等を行う。活動日は毎日。開館時間の8:30～19:00を3時間半ずつA,B,Cの3つの時間帯に分けて、そのいずれかの時間帯で活動する。活動回数は原則1ヶ月4回以上。

②寸劇ボランティア

長崎奉行所ゾーンお白洲で行う寸劇に参加する。寸劇は当館から市民劇団「劇団ちゃんぽん」に委託しており、「劇団ちゃんぽん」を中心に公演、練習を行う。活動日は土日祝日。1回20分程度の公演を1日6回（10:00、11:00、12:00、14:00、15:00、16:00）。

平成17年度の演目「伊藤小左衛門事件」

③古文書ボランティア

長崎市立博物館の近世文書会を引き継いだもので、当館研究所長を中心に古文書の翻刻作業を行う。活動日は週に2回。活動時間は10:00～15:00。

<ボランティア特典>

①常設展示の無料観覧、②企画展の招待券提供、③講座の受講料割引、④ミュージアムショップ、レストランでの割引、⑤チケットの割引購入

<交通費・保険>

交通費は公共交通機関を使った場合の最短ルートでの実費、ただし往復1,000円を上限として支給（寸劇ボランティアには別途昼食代として活動協力費を支給）。年度毎にボランティア保険に加入。

<任期>

任期は1年。活動開始が開館の2005年11月のため、2006年の10月までの1年。その後の更新は可能。

<平成17年度登録者数>

	登録者数	男女内訳	平均年齢	居住地
展示案内	138名	男65名 女73名	58.7歳	長崎市内 116名 長崎市外 21名
寸劇	31名	男15名 女16名	51.7歳	長崎市内 26名 長崎市外 5名
古文書	17名	男3名 女14名	66.4歳	長崎市内 12名 長崎市外 5名

平成18年度

<ボランティア募集・研修>

ボランティア募集時期 4月～5月(展示案内ボランティアのみ)

ボランティア研修 6月～10月 全11回(説明会含む)

寸劇ボランティアは常時募集、古文書ボランティアの募集はなし。

<研修内容>

	日 時	テーマ	講師
説明会	6月4日(日) 10:00～11:00	1. 博物館の概要 2. ボランティア活動について	大堀哲(館長)
第1回	6月11日(日) 10:00～11:00	奉行所展示について	原田博二(当館研究所長)
第2回	6月25日(日) 10:00～11:00	奉行所復元部分について1	原田博二(当館研究所長)
第3回	7月9日(日) 10:00～11:00	奉行所復元部分について2	原田博二(当館研究所長)
第4回	7月16日(日) 10:00～11:00	歴史文化展示について1	原田博二(当館研究所長)
第5回	8月20日(日) 10:00～11:00	歴史文化展示について2	原田博二(当館研究所長)
第6回	8月26日(土) 10:00～11:00	博物館ボランティアについて	竹内有理(教育研究グループリーダー)
第7回	9月10日(日) 10:00～11:00	歴史文化展示について3	原田博二(当館研究所長)
第8回	9月24日(日) 10:00～11:00	体験コーナー1	平岡隆二(研究員) 出口亮太(研究員)
第9回	10月8日(日) 10:00～11:00	体験コーナー2	平岡隆二(研究員) 出口亮太(研究員)
第10回	10月15日(日) 10:00～11:00	実地研修、修了式	大堀哲(館長) 野間誠二(統括マネージャー) 矢野香織(研究員)

<平成18年度登録者数>

	登録者数	男女内訳	平均年齢	居住地
展示案内	114名	男54名 女60名	60.3歳	長崎市内 97名 長崎市外 17名
寸劇	41名	男20名 女21名	48.8歳	長崎市内 33名 長崎市外 8名
古文書	17名	男3名 女14名	67.4歳	長崎市内 12名 長崎市外 5名

展示案内ボランティア内訳114名（ガイド34名、外国語17名、業務支援29名）

<活動内容>

①展示案内ボランティア

2階常設展示室（歴史文化展示ゾーン、長崎奉行所ゾーン）内で来館者への展示解説（定点）や誘導等。

展示室内通しての案内希望や外国人来館者への対応、展示案内以外の博物館業務の補助にまで活動内容を広げるため、展示案内ボランティアの中にガイドグループ、外国語グループ（英語・中国語）、業務支援グループの3つのグループを設けた。

1. ガイドグループ

事前申込の団体及び定時に常設展示室内通しての展示案内（ガイドボランティア登録の条件は活動期間1年以上）。

展示案内ボランティアに対し、ガイドボランティア養成のため全5回の研修を開催。全ての研修を受講し、最終的にガイド登録を希望した方がガイドボランティアとして活動。2007年2月から事前申込の団体案内と10:30、14:30に常設展示室定時案内を開始。

2. 外国語グループ

外国人来館者への展示案内、誘導等。外国語ボランティアは展示案内ボランティアの中で外国語を話すことができる方、外国語での案内に興味のある方等を募集し、英語グループと中国語グループを設けた。

外国語グループへの研修はなし。グループ毎に外国語音声ガイドの文章を利用して展示案内のためのグループ会（学習会）を開催。英語グループは、3Dシアターで上映している「長崎奉行の1年」の要約、寸劇の要約、歴史文化展示ゾーン町屋の年中行事にあわせた季節展示の英語解説も作成。

3. 業務支援グループ

発送作業、ボランティア通信作成、新聞の切抜き、図書整理、イベントの補助等。

グループ毎に定期的にグループ会を開き、それぞれ学習会、意見交換、全員での作業の場としている。

②寸劇ボランティア

土日祝日に奉行所お白洲で行う寸劇に出演・準備作業等。寸劇内容は犯科帳に記載された事件に基づいており、半年に1回の割合で別の事件の寸劇に変更。

平成18年度の演目「漂流民マクドナルド事件」、「鬼を泣かせた娘」

③古文書ボランティア

当館研究所長を中心に長崎奉行所関係史料等の翻刻作業。

<研修>

(1) ガイドボランティア養成研修 (全5回)

	日 時	テーマ	講 師
第1回	11月6日(月) 17:00~19:00	長崎歴史文化博物館の理念・運営方針について	大堀哲 (館長)
第2回	11月22日(水) 17:00~19:00	長崎奉行所ゾーンについて	安高啓明 (研究員)
第3回	12月4日(月) 17:00~19:00	歴史文化展示ゾーンについて	原田博二 (当館研究所長)
第4回	12月11日(月) 17:00~19:00	美術・工芸 (収蔵品) について	越中勇 (主任研究員)
第5回	12月18日(月) 17:00~19:00	マナー研修、実地研修、修了式	大堀哲 (館長) 繁村敏巳 (広報・営業グループ)

(2) スキルアップ研修

スキルアップ研修 (計3回) 講師：原田博二 (当館研究所長)

時間：17:00~19:00

	テーマ
2月9日(金)、10日(土)	黄檗文化と長崎
3月8日(木)	出島

(3) 他博物館等視察・交流

- 11月 北海道開拓の村ボランティアとの見学・交流
- 2月 かごしま水族館ボランティアとの見学・交流
- 3月 壱岐郷土館でのボランティア協議会にボランティア2名参加
- 3月 筑紫野ボランティアバンクのボランティアとの見学・交流

1 収蔵資料・資料貸出

収蔵資料

収集に関する県の基本方針

- (1) 海外交流史に関する資料
 - (2) 近世長崎の美術資料、工芸資料
 - (3) 長崎奉行所に関する資料
 - (4) 長崎文化に関する資料
- (「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」より)

収集に関する市の基本方針

- (1) 長崎における海外交流史に関する資料
 - (2) 長崎奉行所に関する資料
 - (3) 長崎の美術工芸資料
 - (4) その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料
- (「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」より)

収蔵資料点数

旧市立博物館、旧県立美術博物館、県立長崎図書館の郷土資料、約48,000点が長崎歴史文化博物館に移管された。

旧県立美術博物館所蔵	約2,000点 (美術工芸1,830点 歴史178点)
旧長崎市立博物館所蔵	約16,000点 (歴史10,300点 近代美術4,500点 近現代1,200点)
県立長崎図書館所蔵	約30,000点 (文書・図書)

指定文化財

○国指定重要文化財

安政二年「日蘭条約書」
紙本著色泰西王侯図屏風 六曲一双屏風 1612～1614年頃
長崎奉行所関係資料 1,242点

○県指定文化財

刀・対州住長幸
刀・肥前国忠吉
青方文書
永島キク刀自絵像

○国認定旧重要美術品

川原慶賀筆 紙本著色瀉血手術図 江戸後期
紙本著色南蛮人来朝図屏風 六曲一双屏風 慶長年間
川原慶賀筆 唐蘭館絵巻 文政期頃



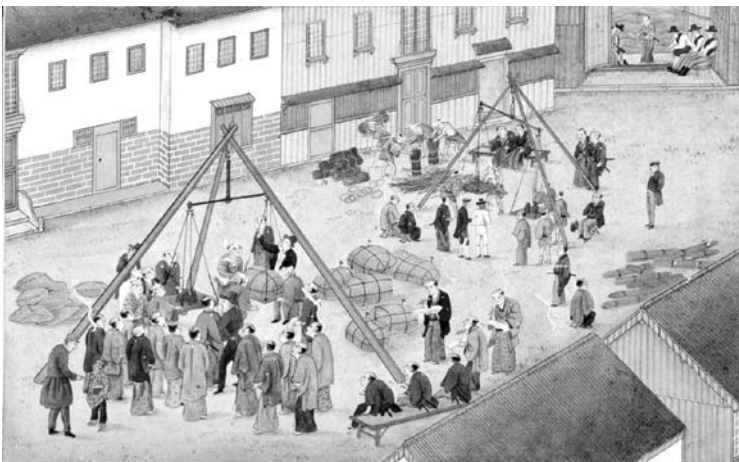
川原慶賀筆 紙本著色瀉血手術図 江戸後期



紙本著色泰西王侯図屏風 六曲一双屏風 1612~1614年頃



紙本著色南蛮人来朝図屏風 六曲一双屏風 慶長年間



川原慶賀筆 唐蘭館絵巻 文政期頃

資料貸出・画像貸出

○資料貸出件数

平成17年度

貸出先 佐賀県立佐賀城本丸歴史館
シーボルト記念館

平成18年度

貸出先	愛媛県美術館	11点
	佐賀県立博物館	2点
	長崎県美術館	6点

○画像貸出件数

平成17年度 135件

平成18年度 328件

2 資料修復

平成17年度

■美術資料

資料名	資料番号	所蔵	修復内容
唐官婦三人図	A2ハ0030	県	軸装、しみ抜き
有明海魚介図巻	Fイ0038	県	軸装、しみ抜き
桃園	A1イ0110	県	軸装、しみ抜き
松鶴図	A1イ0148	県	軸装、しみ抜き
鳥図	A1ロ62	県	軸装、しみ抜き
長崎惣町絵図市街番地区	福田3-32	県	軸装、しみ抜き
露西亜船渡来ニ付港外警備図	3-206-2	県	軸装、しみ抜き
本木仁太良永並同夫人之図	18-80-3	県	軸装、しみ抜き
刀剣	刀剣1~10	市	研磨
刀	Dイ1, 10, 11, 16, 18, 19, 20, 23	県	研磨

■文書資料

資料名	資料番号	丁数	備考
明治二十二年中外事課決議簿内外人契約	14-516-1	160	虫喰い部分は虫損直し、表紙破損、裏表紙は半分欠落。
長崎県公文書郵送簿 明治九年五月	14-3673	20	襖の下張りであったと思われる。紙片が付いている。ヤケ変色劣化
県庁布達 明治八年三月四日	14-739-2-2	272	湿害によるカビの発生、表紙劣化、全体にわたり虫喰い。
地方課事務簿県有財産之部 明治41~42年	14-768-2	324	湿害によるカビの発生、表紙劣化幅広の図面等が折り込んである
庶務課調査係事務簿地方官会議書類附帯京書類	14-844	250	湿害によるカビの発生、劣化が著しくフケて綿状になっている。
筆記達綴地方課 明治二十年中	14-769-2	121	湿害による劣化特に後ろの方が劣化が顕著
旅費概算渡控簿 長崎県会計課 昭和七年度	14-799-2	62	酸性紙による酸化のため折れ、変色、劣化。脱酸後裏打ち。
壱岐に於ける宝きょう印塔について 山口麻太郎	13-552	8	酸性紙による酸化のため折れ、変色、劣化。脱酸後裏打ち。
地方課事務簿県有財産 明治40年至41年	14-767-1	280	大きさがまちまちの絵図類が折り込んであり、湿害による劣化
南松浦郡玉之浦村行政訴訟書類 明治41年	14-475-1	227	大きさがまちまちの絵図類が折り込んであり、湿害による劣化
明治二十六年中庁中達内務部第一課	14-780-2	110	水濡れによるカビの発生。劣化、虫喰い。
明治二十五年中庁中達 第一課	14-781-2	98	水濡れによる湿害。カビの発生、フケている。虫喰い。
異宗一件書類	11-23-1	2	部分的な表紙の修理。
探索書	11-19-1	1	表紙の糊離れの部分修理。
乍恐口上書 渡辺文庫		1	襖の下張りであったと思われる。紙片が付いている。ヤケ変色劣化
長崎奉行所判決記録犯科帳目録刊本		20	酸性紙による酸化のため折れ、変色、劣化。脱酸後裏打ち。
中西家旧蔵資料 幻住庵俳諧有也無也関		37	長崎大水害被災資料。汚損、腐損、虫損の為板状になっていた。
中西家旧蔵資料 戊申文稿		39	長崎大水害被災資料。汚損、腐損、虫損の為板状になっていた。
対馬宗家文庫 正徳年信使五所路宴之次第		94	虫喰いが著しく文字にかかっていたので裏打ちをした。
天明三年 日記	13-634	381	水濡れによる湿害。カビの発生、フケている。虫喰い。

平成18年度

■美術資料

資料名	資料番号	所蔵	修復内容
江稼圃「水墨山水図」	A I ロ67	県	軸装（明朝表具ママ）裂新調
デフィレニューフェ「石橋助左衛門御絵像」	-	県	額装（明朝表具→額装）
戸川安清「書幅」	書（日本）18	市	軸首は再利用。緒の座は取替え。太巻き芯・木箱新調。
中川修理太夫「書簡」	書（日本）735	市	表装は無地裂。筋割り（風袋を線で表わす）。軸首は再利用。太巻き芯・木箱新調。
荒木千洲「群鯉図」	絵（長崎）432	市	表装は標準寸法に変更。軸首は牙軸に新調。太巻き芯・木箱を新調。
刀	Dイ1, 10, 11, 16, 18, 19, 20, 23	県	研磨
以南蛮鉄越前国住課包則 刀	刀剣2	市	研磨

■文書資料

資料名	所蔵者	資料番号	丁数	備考
薬品略能ボードウィン先生口授筆記	長崎県	中西家旧蔵資料	228	大きさがまちまちで4冊一緒に綴じてあり、表紙厚紙を加えた。

列布羅治法	長崎県	中西家旧蔵資料	16	水害被災資料。汚損
元禄庚午 臟腑経路詳解附録	長崎県	中西家旧蔵資料		水害被災資料、汚損、虫損甚大。
丸山町大火ニ付到来進物控	長崎県	中西家旧蔵資料	10	水害被災資料、湿害のためフケている。汚損。
精荷役立合ならびに唐人ろう米方兼四人…	長崎県	中西家旧蔵資料	83	表紙なし、汚れた丁は洗って裏打ち。表紙の作成。
御種人參唐方江相渡候儀者初発天明五己年為手本・	長崎県	中西家旧蔵資料		糊浮きの為、継紙が離れている。178cm裏打ち処置。
家傳屠蘇散	長崎県	中西家旧蔵資料		糊浮きの為、継紙が離れている。虫喰い
利休百会	長崎県	中西家旧蔵資料	29	虫喰いが甚大
シンモンス後家お春文 渡辺文庫	長崎県	渡辺13-62	8	表紙の虫喰いとカビの発生。
旗亭藤屋文書 渡辺文庫	長崎県	渡辺18-80-2	40	綴糸が切れている。部分修理
年行司覚書 福田文庫	長崎県	福田14-107	43	水濡れによる汚れとシミ。インデックスの破損。
長崎県警察史 上巻	長崎県	14-1918-1		10cm以上の厚さの刊本。コピーによる表紙のはずれ。見返し の破損
先賢略伝 草稿 古賀十二郎記	長崎県	13-4390	4	酸性紙の原稿用紙にペンで書かれている。水に濡れ、汚れ と、劣化。
南蛮外科加須波留方 一	長崎市	490-25-1	47	虫喰いが甚大。裏打ち処置。表紙の色ヤケ。
南蛮外科加須波留方 二	長崎市	490-25-2	52	虫喰いが甚大。表紙のヤケ。
南蛮外科加須波留方 三	長崎市	409-25-3	39	虫喰いが甚大。裏打ち処置。表紙の色ヤケ。
南蛮外科加須波留方 四	長崎市	490-25-4	54	虫喰いが甚大。裏打ち処置。表紙の色ヤケ。
蘭療法	長崎市	490-5	150	虫喰い箇所は部分修理。喰裂紙で繕う。表紙の汚れ。
和蘭外科要方 天保二年	長崎市	490-3	75	虫喰いがひどい丁は裏打ち。あとは虫喰い穴の繕い。
諸油取様之書 宝暦十三年	長崎市	490-30	19	虫喰い穴が大きく、中心の折り目が切れている。
環海異聞 序例附言	長崎市	290-23-1	46	虫喰いがひどくカビが発生して紙質が弱っている。
環海異聞 卷之八	長崎市	290-23-9	33	表紙の芯紙にカビが発生。湿気による劣化と虫喰い。
環海異聞 卷之九	長崎市	290-23-10	36	虫喰いがひどく、カビが発生して紙質が弱っている。
環海異聞 卷之十	長崎市	290-23-11	31	表紙、本紙ともにカビによる劣化と虫喰い。
環海異聞 卷之十四	長崎市	290-23-15	33	虫喰いがひどく、カビが発生して紙質が弱っている
大和本草 一	長崎市	400-7-1	106	虫喰いがひどく、カビが発生して紙質が弱っている。
大和本草 二	長崎市	400-7-2	72	虫喰いがひどく、表紙が特にカビが発生している
大和本草 三	長崎市	400-7-3	81	虫喰いがひどく、水損のため、劣化している。汚れしみがひどい
大和本草 四	長崎市	400-7-4	78	虫喰いがひどく、カビが発生して紙質が弱っている
大和本草 五	長崎市	400-7-5	76	虫喰いがひどく、表紙がカビのため劣化
大和本草 六	長崎市	400-7-6	79	虫喰いがひどく、表紙がカビのため劣化裏打ち処置
大和本草 七	長崎市	400-7-7	99	虫喰いがひどく、紙質が劣化。表紙のカビと劣化
大和本草 八	長崎市	400-7-8	62	虫喰いがひどく、紙質が劣化
大和本草 付録一・二	長崎市	400-7-9	46	虫喰いがひどい丁は裏打ち。あとは虫喰い穴の繕い。
大和本草 諸品図三	長崎市	400-7-10	87	虫喰いがひどい丁は裏打ち。あとは虫喰い穴の繕い。
黄葉十二峰	長崎市	181-16	11	一度裏打ちしてあるが再虫喰い。表紙の芯紙にカビの発生
天経或門註解序巻 全	長崎市	440-5-1	68	表紙のみ裏打ち。虫喰い穴を繕う
天経或門註解図巻 上	長崎市	440-5-2	40	表紙のみ裏打ち。本紙の虫喰い穴は喰裂き紙にて繕う。
天経或門註解図巻 下	長崎市	440-5-3	45	表紙の劣化。本紙の虫喰い穴は喰裂き紙にて繕う。
曆象新書 上編 下	長崎市	440-53-2	26	表紙の劣化。本紙の虫喰い穴は喰裂き紙にて繕う。
曆象新書 中編 上	長崎市	440-53-3	56	表紙は裏打ち。本紙の虫喰い穴は喰裂き紙にて繕う。
曆象新書中編附録 全	長崎市	440-53-5	32	表紙は裏打ち。本紙の虫喰い穴は喰裂き紙にて繕う。
曆象新書 下編 上・下	長崎市	440-53-6	48	表紙は裏打ち。本紙の虫喰い穴は喰裂き紙にて繕う。
曆象新書図巻 全	長崎市	440-53-7	11	表紙は裏打ち。本紙の虫喰い穴は喰裂き紙にて繕う。
玄真新書	長崎市	420-2	31	表紙の芯紙に墨書の情報あり。解体後裏打ち保存。本紙は虫 喰いの繕い。
遠鏡町見手引草 巻上・巻下	長崎市	420-3	46	表紙の芯紙に墨書の情報あり。解体後裏打ち保存。本紙は虫喰い。
遠鏡町見手引草 附録之上・附録之下	長崎市	420-3	36	表紙の芯紙に墨書の情報あり。解体後裏打ち保存。本紙は虫喰い
交食細測記 一	長崎市	440-1-2	76	表紙の芯紙に墨書の情報あり。解体後裏打ち保存。本紙は虫喰い。
地勢細測記 全	長崎市	410-7	82	表紙の芯紙に墨書の情報あり。解体後裏打ち保存。本紙は虫喰い。
天元せん管	長崎市	410-10	12	表紙の汚れ、虫喰い、本紙も虫損が多いので裏打ち処置。
銃子径量便覧 巻中・巻下	長崎市	420-1-2	37	表紙の芯紙に墨書の情報あり。 本紙は喰い裂き紙にて穴の繕い。
授時曆図解 春	長崎市	440-10-1	36	表紙の汚れ、虫喰い、本紙も虫損が多いので裏打ち処置。
授時曆図解 秋	長崎市	440-10-3	38	表紙の汚れ、虫喰い。本紙は虫喰い穴を似合いの和紙で繕い をした。
授時曆図解 冬	長崎市	440-10-4	21	表紙の汚れ、虫喰い、本紙も虫損が多いので裏打ち処置。
授時曆図解 附録	長崎市	440-10-5	30	表紙の汚れ、虫喰い、本紙も虫損が多いので裏打ち処置。
天文図解 一	長崎市	440-23-1	39	鼠の尿による劣化、フケている。虫喰い穴は似合いの紙での繕い。
天文図解 二	長崎市	440-23-2	31	鼠の尿による劣化、フケている。虫喰い穴は似合いの紙での繕い。
天文図解 三	長崎市	440-23-3	37	鼠がかじり、破損。尿による劣化、フケている。虫喰い穴の繕い。
天文図解 四	長崎市	440-23-4	64	鼠がかじり、破損。尿による劣化、フケている。虫喰い穴の繕い。

天文図解 五	長崎市	440-23-5	47	鼠がカジリ、破損。尿による劣化、フケている。虫喰い穴の繕い。
出島大小役人中御役料中	長崎市	310-88	7	虫喰いがあり、劣化部分があるので裏打ち処置をした。
長崎雑録	長崎市	210-41	43	横折れ帳の紙を利用してある。虫喰いと紙の劣化。
社寺方事務輯録 仏説盲僧之部	長崎市	160-9	80	全丁にわたり、虫喰い甚大。裏打ち処置。
社寺方事務輯録 相撲他	長崎市	160-14	90	全丁にわたり、虫喰い甚大。裏打ち処置。
社寺方事務輯録 「太平寺旧記」	長崎市	160-14	133	全丁にわたり、虫喰い甚大。裏打ち処置。
峰文庫表紙芯紙	長崎市		30	裏打ち
興福寺山号寺号庵号諸伽藍并代々住持唐僧来朝年数	長崎市	181-96	26	全丁にわたり、虫喰い甚大。裏打ち処置。
古刀銘盡 鍛冶系図	長崎市	750-1-1	90	表紙の汚損、虫喰い。本紙も虫喰い、折り目の切れの為裏打ち処置
一紙物一括10点	長崎市		10	裏打ち。
社寺方事務輯録 普化宗太平寺松寿軒旧記	長崎市	160-10	90	表紙破損。虫喰い甚大。裏打ち処置
古刀銘盡	長崎市	750-1-5	36	表紙の汚損、虫喰い。本紙も虫喰い、折り目の切れの為裏打ち処置
古刀銘盡	長崎市	750-1-6	44	表紙の汚損、虫喰い。本紙も虫喰い、折り目の切れの為裏打ち処置
古今銘盡大全 三	長崎市	750-5-3	37	表紙の汚損、虫喰い。本紙も虫喰い、紙質劣化の為裏打ち処置
古今銘盡大全 四	長崎市	750-5-4	50	表紙の汚損、虫喰い。本紙も虫喰い、紙質劣化の為裏打ち処置
古今銘盡大全 五	長崎市	750-5-5	37	表紙の汚損、虫喰い。本紙も虫喰い、紙質劣化の為裏打ち処置
古今銘盡大全 七	長崎市	750-5-7	46	表紙の汚損、虫喰い。本紙も虫喰い、紙質劣化の為裏打ち処置
歌謡同意 峰文庫	長崎市	910-29	4	虫喰いの為裏打ち処置
長崎実記年代録	長崎市	210-3-1	98	虫喰いの為裏打ち処置
大壇越御尊靈年譜	長崎市	182-9	12	表紙本紙共に虫喰い甚大。裏打ち処置
犯科帳	長崎市	320-8	35	酸性紙の表紙をはずし、表紙は同一紙にする。裏打ち処置
犯科帳	長崎市	320-9	5	酸性紙の表紙をはずし、表紙は同一紙にする。裏打ち処置
長崎歳時記	長崎市	380-7	74	酸性紙の表紙をはずし、黒谷和紙で表紙作成。裏打ち処置
会津和人参代銀書	長崎市	660-53	16	虫喰いの為裏打ち処置
唐話 全	長崎市	830-8	48	酸性紙の表紙をはずし、黒谷和紙で表紙作成。裏打ち処置
伊王島村郷土誌	長崎市	211-5	94	表紙の汚損、虫喰い。ガリ版印刷の為字が消えかけている為裏打ち処置
長崎各町控 聖堂文庫	長崎市	210-27	87	表紙の汚損、虫喰い。本紙も虫喰い、紙質劣化の為裏打ち処置
詩稿 聖堂文庫	長崎市	930-18	12	酸性紙の表紙をはずし、黒谷和紙で表紙作成。裏打ち後二冊合冊
詩稿 聖堂文庫	長崎市	930-19	22	酸性紙の表紙をはずし、黒谷和紙で表紙作成。裏打ち後二冊合冊
日本詩選 巻之一 聖堂文庫	長崎市	930-21-1	25	酸性紙の表紙をはずし、黒谷和紙で表紙作成。裏打ち処置
古事記通文解	長崎市	220-5-1	47	表紙と本紙共に虫喰いと劣化。表紙の芯紙にはカビの発生。裏打ち処置
古事記通文解	長崎市	220-5-2	47	表紙と本紙共に虫喰いと劣化。表紙の芯紙にはカビの発生。裏打ち処置
歴代 三田村文庫	長崎市	210-5	93	シミがついて変色劣化している。劣化部分のみ裏打ち処置
松前表ヨリ送來候破船異国人一件文通	長崎市	310-82-1	106	一度裏打ちしてあるが再虫喰い甚大。剥がして再修理。
御書付写 長崎異変御手当帳	長崎市	310-2	12	酸性紙の表紙をはずし、同一紙にする。カビの為劣化ひどい。裏打ち処置
異船方諸色并賄方手覚	長崎市	310-3	25	酸性紙の表紙をはずし、同一紙にする。カビの為劣化ひどい。裏打ち処置



6

調査研究事業

1 調査研究

1. 調査研究

文化庁の平成18年度芸術拠点形成事業として以下の調査研究事業を実施した。

事業名：ビジュアル版「川原慶賀の見た江戸時代の日本」

□事業内容

長崎歴史文化博物館とライデン国立民族学博物館が共同して、日本とオランダに残る江戸後期の長崎の絵師、川原慶賀の全作品の調査・データベース作成を行い、江戸時代のビジュアル百科事典を制作する。

請負金額： 13,710,105円

□調査および写真撮影

調査および撮影期間

オランダ 2007年1月17日～2月14日

国内 2006年10月10日～2007年3月14日

長崎県内 2007年2月10日～3月14日

資料所蔵機関

(オランダ)

ライデン国立民族学博物館	1,497点
ライデン国立自然史博物館	1,137点
ライデン大学植物標本館	5点
アムステルダム演劇博物館	2点
アムステルダム市立公文書館	5点
ロッテルダム海事博物館	4点
ロッテルダム ファン・ストルク地図博物館	1点

(国内)

一関博物館 (岩手県)	2点
黒船館 (新潟県)	7点
平野政吉美術館 (秋田県)	4点
東京藝術大学大学美術館 (東京)	1点
東京大学総合図書館 (東京)	1点
神戸市立博物館 (兵庫県)	8点
長崎歴史文化博物館	132点
シーボルト記念館	2点
観音禅寺	5点



ハウステンボス美術館 1点
長崎大学附属図書館経済学部分館 1点
合計2,815点

調査・撮影立会者

野間誠二（当館統括マネージャー）
原田博二（当館研究所長）
越中勇（当館主任研究員）
平岡隆二（当館研究員）
海江田義広（長崎県文化振興課主任学芸員）
本馬貞夫（長崎県文化振興課）
石尾和貴（長崎県文化振興課）
松下久子（長崎県文化振興課学芸員）
徳永宏（長崎県文化振興課学芸員）

□関連事業

特別陳列「川原慶賀展」

会期：2007年3月6日～19日

場所：常設展示室（美術展示室）

シンポジウム「シーボルトの絵師 川原慶賀」

日時：2007年3月11日（日）

場所：県立長崎図書館講堂

2 出版事業

平成18年度

『研究紀要』創刊号

「長崎製鉄所の洋風工場建築について－フェイエノールト社図面等からみた建築概要－」

村田明久（長崎総合科学大学教授）

「中西啓旧蔵『長崎諸役人寺社山伏』の作成年と阿蘭陀通詞の項の復元」

原田博二（当館研究所長）

「幕府対外政策における『唐船』打ち払いの意義」

松尾晋一（当館研究員）

「『乾坤弁説』諸写本の研究」

平岡隆二（当館研究員）

「近世長崎における身柄拘束機関の構造と機能」

安隆啓明（当館研究員）

（史料紹介）「昌平坂学問所献納金に関する松浦清（静山）の自筆書簡」

岩崎義則（九州大学助教授）



『長崎奉行所関係史料』

天保6年（1835）から天保9年（1838）の間に長崎を訪れた目付、戸川播磨守、石河数馬、徳山五兵衛や、巡見使に対する長崎地役人の対応が記された文書5点を翻刻した。

天保六未年

御目付戸川播磨守様御下向ニ付一件書留

天保七申年七月九日より同十二月迄

御目付石河数馬様御下向ニ付一件

天保八酉年

御目付石河数馬様徳山五兵衛様御下向ニ付一件

天保八酉年正月

御目付石河数馬様徳山五兵衛様御下向ニ付一件

天保九戌年五月

巡見御上使御下向一件書留一

巡見御上使御下向一件書留二



<編集・執筆協力者>

犬尾郁子 入江洋子 小川富士子 瀬戸口真理 田中玲子 高崎功 野田信子 原田泰治 松尾幸子
酒匂テル子 井手勝摩 古賀照子

<解説協力者>

原田博二（解説指導） 長崎近世文書会

3 館外活動

平成17年度・18年度

原田博二（当館研究所長）

○委員

- ・ミュージアム・ネットワーク21プロジェクト（国立民族学博物館）
- ・長崎市文化財審議会
- ・大分県立歴史博物館資料調査収集委員会
- ・長崎県文化財保護審議会
- ・鍋島邸資料整理委員会
- ・長崎県地域限定通訳案内士テキスト監修者
- ・出島復元第Ⅱ期事業展示小委員会
- ・国立歴史民俗博物館第3室リニューアル委員会

○講師

- ・長崎大学非常勤講師「長崎蘭学」（長崎大学留学生センター）
- ・長崎純心大学非常勤講師「博物館資料論」「古文書学」「博物館実習」「博物館情報論」
- ・長崎税関記念日行事（長崎税関）
- ・大分県博物館協議会総会・研究協議会

竹内有理（当館教育・研究グループリーダー）

○学会発表

- ・「長崎歴史文化博物館の概要」文化経済学会 2005年度長崎大会2005年12月4日
- ・「指定管理者制度の中のミュージアム・ドキュメンテーション」アートドキュメンテーション学会第17回年次大会 2006年6月3日 九州国立博物館

○研究会報告

- ・「今後の博物館活動と博物館学の方向性」神奈川大学21世紀COEプログラム公開研究会「学芸員の専門性をめぐって」2007年3月26日 神奈川大学

○執筆

- ・「博物館における学習とその評価をめぐって」『歴史教育』歴史教育者協議 2005年
- ・「展示の理解の評価に関する検討」『国立歴史民俗博物館研究報告』第130集 2006年（共著）

○講師

- ・放送大学客員准教授「博物館経営情報論」担当

越中勇（当館研究グループ主任研究員）

○委員

- ・長崎市歴史民俗資料館運営委員

松尾晋一（当館研究グループ研究員）

○講師

- ・長崎大学非常勤講師「長崎蘭学」（長崎大学留学生センター）
- ・県立長崎シーボルト大学非常勤講師「日本文化史」

○研究会報告

- ・『日本関係海外史料オランダ商館長日記』合評会（東京大学史料編纂所）

平岡隆二（当館研究グループ研究員）

○執筆

- ・"Jesuit Cosmological Textbook in 'the Christian Century' Japan: De sphaera of Pedro Gomez (Part I)", SCIAMVS, vol. 6, 2005.
- ・長崎文献社編『長崎歴史文化観光検定公式テキストブック』（長崎商工会議所、2006年）。※第15章「長崎遊学とゆかりの人物編」の概論執筆、問題、解答作成。
- ・東京大学附属図書館所蔵資料展示委員会編『知の職人たち－南葵文庫に見る江戸のモノづくり－展示資料目録』（東京大学附属図書館、2006年）。※「新制天地二球用法」、「紅毛天地二図贅説」の項目執筆。

○研究協力

- ・鹿島学術振興財団「近世初期長崎に関するオランダ語書翰（1615-1639）の翻刻・翻訳・注釈－その公開と活用のために－」（東京大学史料編纂所）研究会参加。

安高啓明（当館研究グループ研究員）

○講師

- ・長崎大学非常勤講師「長崎蘭学」（長崎大学留学生センター）

○委員

- ・鍋島邸資料整理委員会

○講師

- ・香焼公民館主催「第2回香焼食文化まつり」記念講演 「長崎とおもしろ異国食文化」
- ・長崎国際文化協会総会「長崎奉行所について」

○研修参加

- ・平成18年度歴史民俗資料館等専門職員研修会（文化庁）

下田幹子（当館教育グループ研究員）

○研究協力

- ・科学研究費補助金基盤研究「17－18世紀アジア諸地域の港町における異文化交流の諸相の比較研究」（東京大学東洋文化研究所）研究会参加

7

研修等

1 博物館実習

◇実習期間 7月31日(月)～8月11日(金) 12日間

◇実習内容(前期)

	内 容
1日目	・オリエンテーション ・施設見学(バックヤード) ・展示室見学(常設・企画) ・報告会
2日目	・フロアスタッフについて ・フロア体験 ・報告会
3日目	・フロア体験 ・教育普及・ボランティア ・報告会
4日目	・教育普及 ・企画展の作り方
5日目	・広報営業
6日目	・アンケート調査 ・教育普及(企画展) ・アンケート調査
7日目	・資料管理(資料の取扱い・資料撮影)
8日目	・資料管理(文書の保存修復)
9日目	・資料管理(文書の修復・収蔵品データベース)
10日目	・資料管理(収蔵品データベース・図書整理) ・教育普及
11日目	・自己研修 ・課題発表会

◇実習生

一瀬 勇士 長崎国際大学人間社会学部国際観光学科4年
木下 朋美 活水女子大学文学部現代日本文化学科4年
藤本 絵梨華 活水女子大学文学部現代日本文化学科4年
山口 紀子 活水女子大学文学部現代日本文化学科4年
大塚 美奈子 活水女子大学文学部人間関係学科4年
梶山 涼子 活水女子大学文学部人間関係学科4年

◇実習期間 8月21日(月)～9月1日(金) 12日間

◇実習内容(後期)

	内 容
1日目	・オリエンテーション ・施設見学(バックヤード) ・展示室見学(常設・企画) ・報告会
2日目	・展示替え作業 ・収蔵庫整理・清掃
3日目	・教育普及
4日目	・フロアスタッフ ・教育普及
5日目	・教育普及 ・アンケート調査
6日目	・アンケート調査 ・イベント
7日目	・資料管理(資料の取り扱い・資料の整理)
8日目	・資料管理(文書の保存修復)
9日目	・企画展の作り方 ・ギャラリートーク ・資料管理(収蔵品データベース)
10日目	データベース入力 資料整理 アンケート入力・集計 発送作業
11日目	・自己研修 ・課題発表会

◇実習生

古豊 裕次郎 帝京大学文学部史学科4年
高塚 菜央子 東京女子大学文学部史学科4年
宇土 智恵 広島大学文学部人文学科4年
小西 秀典 立命館大学文学部史学科日本史学専攻4年
山田 由紀 立命館大学文学部科目履修生
久松 さおり 宮崎大学教育文化学部4年
楯先 雄二 南九州大学環境造園学部地域環境学科4年
浅野 るみ 西南学院大学文学部英文学科4年

2 研修の実施

○古文書修復技術講習会

古文書の修復の方法や取り扱い方について当館修復担当研究員が県内の資料館・図書館等の職員を対象に研修を実施した。

平成17年度

講師：富川敦子（当館研究員）

日付：2月25日（土）～27日（月）

参加者数：14名

受講者：

内田洋子 諫早市立諫早図書館
大出麻奈
金丸明彦 長崎大学附属図書館経済学部分館
川淵賢治 長崎大学附属図書館経済学部分館
北島頼子 大村市立史料館
古賀津代子 松平文庫
佐々田学 長崎市教育委員会文化財課
小賦一美 県立長崎図書館
田中愛子 唐津市北波多教育委員会支所
内藤かおり 新上五島町鯨賓館ミュージアム
鋪田みどり 長崎県立対馬歴史民俗資料館
宮田修二
山下弥生 とぎつカナリーホール／時津町民俗資料館 時津町教育振興公社

行武理加

平成18年度

講師：富川敦子（当館研究員）

日付：7月22日（土）～23日（日）初心者対象
10月15日（日）～16日（月）経験者対象

参加者数：初心者対象 10名
経験者対象 7名

受講者：

<初心者対象>

光富博 諫早史談会・展示案内ボランティア
近藤慶子 県立長崎図書館
久保タヨ子 佐世保古文書解読研究会
中田敏子 佐世保古文書解読研究会
手島イツ 佐世保古文書解読研究会
豊島幸子 佐世保古文書解読研究会
松野雅子 長崎県立点字図書館
林千佳子 波佐見町図書館
盛山隆行 大村市立史料館
小林美保 諫早市立たらみ図書館

<経験者対象>

内田洋子 諫早図書館
古賀津代子 松平文庫
北島頼子 大村市立史料館
松田めぐみ
田中愛子 唐津市教育委員会
本山純子
山下弥生 時津町民俗資料館

1 新聞掲載実績

平成17年度		
掲載日	新聞紙名	見出し
2005年2月25日	日本経済新聞	公共施設の運営 民間委託広がる／長崎県の博物館 乃村工芸社に
2005年3月12日	朝日新聞	指定管理者制度で民間が運営に参画へ／公共施設は再生するか
2005年4月6日	朝日新聞	指定管理者制度と美術館／公共価値考え理念再確認を
2005年5月11日	朝日新聞	都の文化施設／運営主体 企業に門戸／6館、09年度から
2005年5月28日	日本経済新聞	公設民営 導入進む／美術館・博物館に効率と活力
2005年6月5日	西日本新聞	本と人／「千々石ミゲルの墓石発見」を書いた大石一久さん／天正遣欧使節に新たな光
2005年6月8日	長崎新聞	石だたみ／県立長崎図書館は、江戸時代に天領長崎を統治した長崎奉行所の業務マニュアルだった「分類雑載」を発刊した。
2005年6月10日	長崎新聞	「案内役」をしませんか／今秋開館の長崎歴史文化博物館／ボランティア募集
2005年6月17日	朝日新聞	長崎歴史文化博物館 解説・案内担当スタッフ募る
2005年6月17日	読売新聞	とれんどin美術／改革促す民間委託／公立美術館「指定管理者制度」導入
2005年6月21日	西日本新聞	今秋開館の長崎歴史文化博物館／市民ボランティア募集
2005年6月28日	長崎新聞	新長崎物語 県都創生への課題／県美術館 滑り出し順調／鍵握る2つの施設
2005年7月1日	長崎新聞	長崎歴史文化博物館／初代館長に大堀氏（常磐大前学長）／名誉館長 市川氏（脚本家）が就任予定
2005年7月3日	西日本新聞	市民ボランティア説明会／希望者140人が参加
2005年7月3日	長崎新聞	とことん編集局長崎編／文化、歴史「体験した」／小学生記者 息吹に触れ感動
2005年7月3日	長崎新聞	05とことん編集局長崎編／県都の魅力再発見／小学生記者12人が取材
2005年7月6日	長崎新聞	聞きたい言いたい／利用者満足の視点で／長崎歴史文化博物館長に決まった 大堀哲さん（68）
2005年7月6日	長崎新聞	長崎歴史文化博物館／11月3日に開館
2005年7月6日	西日本新聞	館長に大堀・常磐大教授／歴史文化博物館11月3日に開館／奉行所の一部再現
2005年7月6日	日本経済新聞	長崎の海外交流 長い歴史「体感」／奉行所跡に博物館／県と市11月開館
2005年7月7日	朝日新聞	「長崎学の拠点目指す」歴史文化博物館事業内容を発表
2005年7月7日	読売新聞	長崎歴史文化博物館／文化の日11月3日開館／名誉館長 市川森一さん
2005年7月22日	毎日新聞	どこへ行く公立美術館・博物館／導入進む指定管理者制度／「民間参入で効率化」の衝撃
2005年7月29日	日本経済新聞	歴史が息づく長崎県の観光と産業
2005年8月12日	長崎新聞	立体映像「長崎奉行の一年」／風間杜夫さん迎え 撮影
2005年8月17日	西日本新聞	風間杜夫さん長崎奉行演じる／紹介映像撮影／復元施設で放映へ
2005年8月31日	西日本新聞	ボランティア寸劇役者募る／復元された奉行所で演じる
2005年9月1日	朝日新聞	被爆遺構の立山防空壕／整備状況を視察／被災資料協
2005年9月8日	長崎新聞	寸劇ボランティア募集／「裁き」を再現しよう
2005年9月16日	長崎新聞	わが街ウォッチング／近くオープンする「長崎歴史文化博物館」裏に旧県立美術博物館の外壁レリーフ。
2005年10月1日	長崎新聞	奉行所の概要知って！／寸劇演者に事前説明会
2005年10月5日	長崎新聞	わが街ウォッチング／長崎くんちの人数揃
2005年10月5日	長崎新聞	本番前に「モッテコーイ」／長崎くんち「人数揃
2005年10月10日	日本経済新聞	ミュージアム「民」参入の行方／長崎の「実験」／学芸員は契約社員
2005年10月10日	長崎新聞	近世の海外交流史テーマに／来月3日オープン
2005年10月13日	西日本新聞	九州国立博物館 一般公開まであと3日／長崎歴博も連携を熱望／来月開館 重なるテーマ／「高め合う企画を」
2005年10月14日	読売新聞	奉行所には「立体劇場」／展示室など報道陣公開
2005年10月14日	西日本新聞	長崎歴博を事前公開／常設展示室と復元奉行所／歴史や文化の拠点に
2005年10月14日	長崎新聞	内部公開

2005年10月14日	長崎新聞	常設展示室など公開／観光の新拠点に期待
2005年10月14日	日本経済新聞	南蛮船・唐人屋敷 IT探訪
2005年10月21日	長崎新聞	長崎ロータリー／車いす6台贈る
2005年10月21日	西日本新聞	日中交流の“女神”県に寄贈／航海守護神の媽祖像
2005年10月26日	西日本新聞	ライデン博と県が協定／特別展を共同企画
2005年10月28日	西日本新聞	北京故宮博物院の副院長ら／長崎歴博を視察
2005年10月28日	長崎新聞	北京故宮博物院／副院長ら視察
2005年10月28日	朝日新聞	「長崎学」集約 五感で楽しむ工夫満載／海外交流の軌跡伝える 奉行所復元「展示物」に
2005年10月31日	読売新聞	長崎奉行所 往時の姿で復元
2005年11月1日	朝日新聞	県とオランダの博物館が交流協定／所蔵品や研究成果で協力
2005年11月1日	長崎新聞	県とオランダ・ライデン国立民族学博物館／友好交流協定に調印
2005年11月1日	読売新聞	長崎と世界交流広がる／資料や研究の相互利用へ
2005年11月1日	西日本新聞	いざ、長崎遊学へ
2005年11月2日	長崎新聞	水や空／長崎奉行、遠山左衛門尉景晋
2005年11月 日	長崎新聞	「長崎歴史文化博物館」施設を公開／交流資料など展示
2005年11月2日	日本経済新聞	長崎の海外交流史 紹介／観光の目玉、続々誕生
2005年11月2日	西日本新聞	海外交流史の魅力発信
2005年11月2日	読売新聞	幕府の威光担う／貿易品の検分「対面所」／「犯科帳」展示／立体映像劇場
2005年11月2日	読売新聞	「長崎学」拠点に／海外交流テーマに展示
2005年11月3日	長崎新聞	立山防空壕／きょうから一般公開／原爆投下後に被害状況打電
2005年11月4日	長崎新聞	新名所に高まる期待／入場者の声／西太后とラストエンペラー展
2005年11月4日	西日本新聞	長崎に新たな知の拠点／歴史文化博物館オープン
2005年11月4日	長崎新聞	諏訪の森に大万華鏡／歴史ドラマを体感／日本有数の海外交流史「空想の世界、現実に」
2005年11月4日	朝日新聞	開館初日 上々なり／「お裁き」寸劇も好評／長崎歴史文化博物館、4500人来館
2005年11月4日	読売新聞	長崎奉行“お裁き”見事／寸劇好評、大きな拍手
2005年11月4日	読売新聞	「長崎学」の新拠点に／歴史文化博物館がオープン
2005年11月4日	日本経済新聞	長崎歴史文化博物館が開館／近世の海外交流 IT駆使し展示
2005年11月4日	日本経済新聞	長崎奉行所、現代にマッチ／長崎歴史文化博物館に江戸時代の建築を復元／黒川紀章
2005年11月4日	長崎新聞	“悠久の時”共有／長崎歴史文化博物館が開館
2005年11月5日	長崎新聞	博物館の在り方論議／オープニングウィーク始まる
2005年11月6日	西日本新聞	入館者1万人を突破／初の週末にぎわう／誇れる新名所へ注文も
2005年11月6日	長崎新聞	異国情緒漂う実用品に人気／長崎歴史文化博物館ミュージアムショップ
2005年11月8日	西日本新聞	「文化サロンをつくりたい」初代の夢に近づいた／長崎市の老舗洋食レストラン 歴博に移転オープン
2005年11月9日	長崎新聞	声／豪華さ優しさ博物館に感嘆
2005年11月9日	長崎新聞	しまの子ども文化芸術体感事業／長崎歴文博など訪問／五島、壱岐の小、中学生 展示品などを見学、学習
2005年11月9日	長崎新聞	20日、協会跡巡り／長崎歴史文化博物館を拠点に参加者を募集／観光活性化研究会
2005年11月14日	長崎新聞	声／配慮足りない博物館の設備
2005年11月22日	読売新聞	文化／県、市とリスク分担／調査研究、中長期的な蓄積必要／公設民営の博物館 長崎市に開館
2005年11月24日	朝日新聞	指定管理者制を導入／県有36施設／来年4月／県負担3億円軽減へ
2005年11月25日	長崎新聞	声／博物館の交通便利性考えて
2005年11月26日	長崎新聞	舞の海さん長崎探訪／来月2月の旅番組撮影
2005年11月28日	長崎新聞	講演／講演会「日蘭交流の諸相」
2005年11月29日	長崎新聞	声／世界に誇れる長崎の博物館
2005年12月1日	朝日新聞	長崎歴史文化博物館記念講演会～日蘭交流の諸相
2005年12月3日	長崎新聞	声／分かりやすい館内の表示を
2005年12月3日	西日本新聞	感動MUSEUM／日蘭交流の華やかさ語る／「長崎大万華鏡」
2005年12月6日	長崎新聞	諏訪の森先陣ミュージアム〈1〉／二者択一の議論から／夢実現／市川さんの「本県の財産」
2005年12月7日	長崎新聞	諏訪の森先陣ミュージアム〈2〉／全国初の連携奏功／県市一体／課題克服し短期間で完成
2005年12月7日	長崎新聞	お答え／「らんらん」バスの博物館運行について／長崎市交通企画課長
2005年12月8日	読売新聞	「立山防空壕」に4800人／公開から一ヵ月余／関心の高さ予想以上／原爆投下後の第一報打電

2005年12月8日	長崎新聞	諏訪の森先陣ミュージアム〈3〉／民間の手法生かし／指定管理者制度／“トリプルウィン”目指す
2005年12月8日	長崎新聞	伝統工芸の“技術”教えます／「長崎伝習所」卒業生が無償指導／ステンドグラスなど
2005年12月9日	長崎新聞	諏訪の森先陣ミュージアム〈4〉／楽しみながら学ぶ／体験型展示／“タイムスリップ”に歓声
2005年12月9日	長崎新聞	「美」「歴博」結ぶパス検討／経済労働
2005年12月10日	長崎新聞	諏訪の森先陣ミュージアム〈5〉／奉行所で寸劇披露／ボランティア／市民ら一体でもり立て
2005年12月10日	長崎新聞	みんなのひろば／命の尊さ描く日本人の一生
2005年12月10日	朝日新聞	考古学／貴重な縄文資料次々／「対外交流の要」の存在感
2005年12月10日	日本経済新聞	文化／島原の乱は宗教戦争／農民一揆の定説見直し／現代の危機が歴史観を修正
2005年12月11日	長崎新聞	諏訪の森先陣ミュージアム〈6〉／世界でオンリーワン／創造／大堀館長「多彩な事業展開」
2005年12月13日	西日本新聞	予定より早く10万人突破／お白洲での寸劇好評
2005年12月13日	読売新聞	入館10万人突破／長崎歴史文化博物館
2005年12月13日	長崎新聞	入場者10万人突破／三ヶ島さん親子に記念品
2005年12月13日	長崎新聞	日蘭交流を解説／長崎歴史文化博物館で講演会
2005年12月15日	長崎新聞	西太后と溥儀ゆかりの文物140件／来月21日から北京故宫博物院展
2005年12月16日	長崎新聞	草丈／博物館の主役は利用者
2005年12月19日	日本経済新聞	回顧2005美術／聖域なき改革に揺れる
2005年12月19日	長崎新聞	観光客増加へ寸劇で奮闘中
2005年12月20日	長崎新聞	中国国際旅行社が本県を視察／中国最大大手の旅行会社
2005年12月21日	読売新聞	広告インパクトあり／江戸時代のような画面新鮮
2005年12月21日	長崎新聞	みんなのひろば／博物館見学の小学生に感動
2005年12月23日	長崎新聞	理解深まるか 被爆地⇔軍商都市／独自性生かし合う道を／長崎歴史文化博物館・海上自衛隊佐世保史料館
2005年12月24日	長崎新聞	進跡05長崎〈10〉／費用対効果の検証必要／新しい顔／県美術館・長崎歴史文化博物館・女神大橋
2005年12月25日	長崎新聞	文化／貴重な資料この機会に／聖母像・石橋助左衛門御絵像
2005年12月25日	西日本新聞	南蛮渡来の風 体感／長崎歴史文化博物館 開館2ヶ月
2005年12月26日	朝日新聞	文化・芸能記者が見た05年／文化財・美術／九博の意気込み立派／「また行きたい」を期待
2005年12月27日	読売新聞	川原慶賀の“里帰り”作品／江戸末期 日本人の一生 詳細に
2005年12月27日	長崎新聞	オランダから根付“里帰り”／シーボルトら収集／精巧な技、西洋人を魅了
2005年12月28日	長崎新聞	長崎歴史文化博物館の魅力と楽しみ方／講師 長崎歴史文化博物館館長大堀哲氏／11月例会から
2005年12月29日	西日本新聞	ながさき05年末回顧／地域に根差し楽しめる展示に／誇れる財産共有を／大堀哲さん（68）
2005年12月29日	長崎新聞	ニュースと写真で振り返る 県内この一年／長崎の新名所 続々と誕生
2005年12月30日	長崎新聞	最古の「ポッペン」出土 長崎奉行所跡／陵墓参考地に科学のメス／葛城氏の政治センターも
2006年1月4日	長崎新聞	石だたみ／長崎歴史文化博物館で三日、エントランスホール一角に茶席を設けた新春の初釜会があった。
2006年1月8日	長崎新聞	わが街ウォッチング／江戸風の大門松を再現＝長崎歴史文化博物館
2006年1月8日	長崎新聞	サンデー博物館1／原城跡出土物／島原の乱 定説見直しの可能性も
2006年1月11日	朝日新聞	ひと彩々／時代劇の義理人情に熱き思い／長崎奉行芝居組の座長
2006年1月11日	長崎新聞	みんなのひろば／キリシタンの史料充実して
2006年1月12日	長崎新聞	石だたみ／長崎市立山一丁目の長崎歴史文化博物館一階の「長崎学相談コーナー」。
2006年1月13日	長崎新聞	「本木蘭文」解説に着手／「長崎蘭学」系統的に検証／成果を企画展示／学術・観光振興にも一役
2006年1月13日	長崎新聞	長崎文学今から旬／県立図書館郷土課が新装／歴史資料の大半が博物館に引越し／地元作家ら紹介に力
2006年1月14日	長崎新聞	ゆかりの人物西太后〈上〉／清朝末期の宮廷芸術と文化 北京故宫博物院展
2006年1月14日	長崎新聞	文化／近世長崎研究に熱気／出島発掘で成果／対外交流史見直す動き
2006年1月15日	長崎新聞	サンデー博物館2／交趾国鏡（こうちこくかがみ）／ワカトメの嫁入り道具
2006年1月15日	長崎新聞	ゆかりの人物西太后〈下〉／清朝末期の宮廷芸術と文化 北京故宫博物院展
2006年1月16日	長崎新聞	ゆかりの人物溥儀〈上〉／清朝末期の宮廷芸術と文化 北京故宫博物院展
2006年1月16日	長崎新聞	「本木蘭文」解説へ
2006年1月16日	長崎新聞	難題発生！／「お奉行、名裁き」の「はずが…／寸劇団員が不足“一件落着”へ5人募集
2006年1月19日	長崎新聞	搬入・展示作業が着々／21日から北京故宫博物院展／長崎歴博
2006年1月19日	西日本新聞	長崎歴史文化博物館オープン記念「長崎犯科帳抄」を上演／22日に長崎市民演劇祭／ボランティア12人白洲の寸劇と掛け持ち出演

2006年1月20日	長崎新聞	情報ワイド/Gallery/北京故宮博物院展～清朝末期の宮廷芸術と文化
2006年1月21日	長崎新聞	清朝末期の宮廷芸術と文化 北京故宮博物院展/西太后、溥儀ゆかりの国宝など140件/今日開幕
2006年1月22日	長崎新聞	北京故宮博物院展が開幕/清朝末期の宮廷芸術と文化再現
2006年1月22日	長崎新聞	「歴史、人間が見える」華やかな幕開け/来場者、熱心に鑑賞/「成功を祈ります」謝副院長がエール
2006年1月22日	長崎新聞	水や空/北京故宮博物院展～清朝末期の宮廷芸術と文化
2006年1月23日	長崎新聞	迫力ある演技披露 長崎市民演劇祭
2006年1月24日	長崎新聞	雪青色緞繡団寿藤蘿紋単襪/夏に着用したふが
2006年1月25日	長崎新聞	珍真珠/健康に執着、真珠の粉を服用
2006年1月26日	長崎新聞	明黄色納紗雲龍紋単小朝袍/3歳皇帝溥儀がまとう
2006年1月26日	西日本新聞	清朝末期の宮廷衣装など展示/西太后の執務室も復元
2006年1月27日	長崎新聞	長崎歴博でイベント あす市川森一さんトーク/来月3日 奉行所舞台上に豆まき
2006年1月27日	西日本新聞	歴史博物館などで消防訓練/「文化財防火デー」ちなみ
2006年1月28日	長崎新聞	学習満文様本/皇帝必修の満州語学ぶ
2006年1月29日	長崎新聞	サンデー博物館3/日本の中の中国～唐人屋敷模型/施設の全体像をわかりやすく
2006年1月30日	長崎新聞	みんなのひろば/清朝の歴史を日本の教訓に
2006年1月30日	長崎新聞	光の祭典 華やかに開幕/2006長崎ランタンフェスティバル
2006年1月30日	長崎新聞	漂う「中国ムード」/長崎歴史文化博物館 観光客でにぎわう
2006年1月31日	長崎新聞	文化/西太后と溥儀にみる清朝末期(上)/国土館大教授 石橋崇雄/「近代」中国を象徴
2006年2月1日	長崎新聞	文化/西太后と溥儀にみる清朝末期(中)/国土館大教授 石橋崇雄/摂政政治で王朝延命
2006年2月2日	長崎新聞	文化/西太后と溥儀にみる清朝末期(下)/国土館大教授 石橋崇雄/変革の時代の象徴
2006年2月4日	長崎新聞	入場者1万人突破/東彼杵の粒崎夫妻に記念品
2006年2月4日	長崎新聞	武士の古式ゆかしく 長崎歴史文化博物館で「豆撒き」/大堀館長 奉行各部屋回り
2006年2月5日	長崎新聞	先着40人に記念品/故宮博物院展 入場者1万人達成で/隣国の文化を肌で
2006年2月5日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宮博物院を見て/隣国の文化を肌で
2006年2月5日	長崎新聞	サンデー博物館4/唐人屋敷門鑑/木製の出入り許可証
2006年2月6日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宮博物院を見て/刺しゅうも勉強に
2006年2月7日	長崎新聞	2006長崎燈會/中国情緒を満喫/ツアー客1000人が来崎
2006年2月7日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宮博物院を見て/ゆかりの品に重み
2006年2月8日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宮博物院を見て/服や冠とかきれい
2006年2月9日	長崎新聞	自慢のひな人形募集 桃の節句にちなみ/奉行所ゾーンで展示 長崎歴史文化博物館
2006年2月9日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宮博物院を見て/生活がうかがえる
2006年2月10日	長崎新聞	入館者20万人を突破/故宮博物院展など効果/福岡の林さん夫婦に記念品
2006年2月10日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宮博物院を見て/服の花や色も興味
2006年2月10日	朝日新聞	入館20万人達成/長崎歴史文化博物館
2006年2月11日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宮博物院を見て/本物見て感激した
2006年2月12日	長崎新聞	サンデー博物館5/媽祖/日中交流の歴史見守る
2006年2月12日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宮博物院を見て/休日利用し勉強に
2006年2月14日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宮博物院を見て/人間的背景学べる
2006年2月14日	長崎新聞	ふるさと総合/長崎歴博が遠隔授業/壱岐高に、実物資料使い
2006年2月14日	長崎新聞	本物そっくり「鯨の潮吹き」完成、除幕式/長崎伝習所「オブジェ塾」力作
2006年2月15日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宮博物院を見て/実物に歴史感じる
2006年2月15日	長崎新聞	入場者2万人突破/多々良さん親子に記念品
2006年2月16日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宮博物院を見て/数奇な運命を思う
2006年2月16日	読売新聞	長崎歴史文化講座「キリシタンの宇宙論」
2006年2月16日	西日本新聞	奉行所ひな祭り ひな人形募集
2006年2月17日	西日本新聞	歴博と回線結び授業/壱岐高校/映像で展示品写し解説
2006年2月17日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宮博物院を見て/想像を膨らませた
2006年2月18日	長崎新聞	声/博物館に望む2日間入場券
2006年2月18日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宮博物院を見て/時代状況を再確認
2006年2月18日	長崎新聞	「美容に気を使った西太后」/展示品や清朝末期の時代背景エピソード交え解説/9匹の龍を探す催しも

2006年2月19日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宫博物院を見て／芸術面でも勉強に
2006年2月19日	長崎新聞	サンデー博物館6／江稼圃筆「墨蘭の図」(ほくらんのず)／一筆ごとに宿る精神性
2006年2月20日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宫博物院を見て／生活感あり身近に
2006年2月21日	長崎新聞	あの人この人／「北京故宫博物院展」の担当研究員 平岡隆二さん
2006年2月21日	長崎新聞	寄稿 本馬貞夫／長崎奉行遠山景晋日記／仕事ぶり、職務明白に／裁判の実態解明する基礎資料
2006年2月22日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宫博物院を見て／工芸品の細工精巧
2006年2月22日	長崎新聞	「長崎の歌」の伝承に尽力を
2006年2月22日	長崎新聞	古文書解読の講習会／25日、長崎歴史文化博物館
2006年2月23日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宫博物院を見て／歴史の勉強になる
2006年2月23日	長崎新聞	石だたみ／長崎歴史文化博物館が三月一日～四月二日開く「奉行所ひな祭り」で展示される県民応募のひな人形が決まった
2006年2月24日	長崎新聞	北京故宫博物院展／清朝末期の文物一堂に
2006年2月24日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宫博物院を見て／生活の変遷学んだ
2006年2月24日	長崎新聞	水や空／清朝最後の皇帝溥儀を描いた映画「ラストエンペラー」が公開されたのは1987年。
2006年2月24日	長崎新聞	長崎日本ポルトガル協会／史跡見学会など計画／総会で新年度事業決める
2006年2月25日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宫博物院を見て／人間ドラマに興味
2006年2月26日	長崎新聞	サンデー博物館7／訳詞長短話／東京語会話の教科書
2006年2月26日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宫博物院を見て／日本とは異なる趣
2006年2月27日	長崎新聞	日曜日にぎわう／会期あと1週間
2006年2月27日	長崎新聞	「歴史的人物に親近感」／入場3万人あすにも突破へ／北京故宫博物院展
2006年2月27日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宫博物院を見て／溥儀の趣味驚いた
2006年2月28日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宫博物院を見て／テキストにも興味
2006年2月28日	長崎新聞	うず潮／鉄川進／続・これが長崎のベストテン
2006年2月28日	長崎新聞	06県予算をみる4／まちづくり／合併、文化振興に重点
2006年2月28日	朝日新聞	九州・山口発 Weチャレンジ／「お白州」で裁きを受けてみた／武具密輸輸出で「獄門」／「役者顔」喜び消えた厳刑
2006年3月1日	長崎新聞	入場者3万人を突破／岩本さんに記念品／いよいよ5日まで
2006年3月1日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宫博物院を見て／よりリアルに想像
2006年3月2日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宫博物院を見て／実物見て感慨深い
2006年3月2日	長崎新聞	溥儀の遺品に感慨深い思い／無職 志垣和郎(ハ一)
2006年3月2日	長崎新聞	奉行所ひな祭り始まる／色とりどり人形飾り
2006年3月2日	西日本新聞	三浦環の生涯を紹介／「蝶々夫人」のプリマドンナ／大江戸玉すだれ実演も
2006年3月3日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宫博物院を見て／衣服や装飾華やか
2006年3月3日	長崎新聞	人間国宝・北村昭齋さん／青貝細工など見学
2006年3月3日	長崎新聞	長崎れきふん経済セミナー／中国市場活用を
2006年3月4日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宫博物院を見て／刺しゅうが細やか
2006年3月4日	長崎新聞	県立図書館の役割、運営／検討懇談会設置へ
2006年3月4日	長崎新聞	冊子「旅する長崎学」／来月発行申し合わせ／ながさき歴史発見・発信プロジェクト
2006年3月5日	長崎新聞	歴史実感!!北京故宫博物院を見て／人間味感じられた
2006年3月5日	長崎新聞	サンデー博物館8／信牌／唐船への通商許可証
2006年3月6日	長崎新聞	好評博し閉幕／入場者は3万8000人に
2006年3月9日	長崎新聞	長崎さるく博／魅力実感準備OK／JR九州社員120人／開幕控え現場研修
2006年3月13日	長崎新聞	明日ヘナガサキ2006／体験継承へ遺構巡り／県被爆二世の会／県防空本部跡訪れる
2006年3月14日	長崎新聞	新美術館・博物館／県と共同で建設検討／【佐世保】
2006年3月16日	朝日新聞	都市再開発 銅御殿は守れるか／お金には換えられない
2006年3月18日	朝日新聞	重文に長崎奉行所資料／文化審議会答申
2006年3月18日	読売新聞	長崎奉行所資料1242点／国重文指定へ
2006年3月18日	長崎新聞	長崎奉行所資料 国重文に／1242点／犯科帳など高い価値
2006年3月18日	西日本新聞	国重文答申に長崎奉行所資料／23日から特別展実施
2006年3月18日	朝日新聞	長崎奉行所資料、重文へ／「犯科帳」法制史料で貴重
2006年3月19日	西日本新聞	循環バス「らんらん」／美術館、博物館にも停留所／さるく博に合わせルートを変更
2006年3月19日	読売新聞	「3画人」作品も／長崎歴史文化博物館で南画展

2006年3月19日	長崎新聞	九州南画の世界展／伝統の作品一堂に／「長崎三画人」の作品も
2006年3月21日	長崎新聞	歴博の中国媽祖像 友好関係の象徴に／寄贈者ら知事を表敬
2006年3月24日	長崎新聞	収蔵資料が国重文指定／記念特別展始まる／犯科帳など奉行所関係40点
2006年3月28日	長崎新聞	親子で「南画」挑戦／長崎歴史文化博物館／発祥の地で親しむ
2006年3月30日	読売新聞	九州南画ずらり／前、後期で紹介

平成18年度

2006年4月2日	長崎新聞	サンデー博物館11／長崎港警備絵図／船はオランダ軍艦か
2006年4月3日	長崎新聞	入館者30万人を突破／展示などの工夫が評価
2006年4月3日	西日本新聞	来館者30万人を突破／長崎市・高谷さん家族に花束
2006年4月7日	長崎新聞	巨大な鉄翁祖門の書展示／幕末・精霊船の帆
2006年4月13日	朝日新聞	清峰の快進撃 写真で再び
2006年4月9日	毎日新聞	清峰の快進撃 感動もう一度／準優勝記念長崎市で写真展
2006年4月15日	長崎新聞	うまっ！／レストラン「銀嶺」／西洋料理の伝統と味
2006年4月15日	長崎新聞	「長崎奉行所芝居組」／股旅、任侠など多彩に／「出前公演」も開始
2006年4月20日	長崎新聞	ナガサキフリースタイル／歴史文化博物館「奉行所芝居組」／「お裁き」一日密着／犯科帳もとに熱演
2006年4月23日	長崎新聞	サンデー博物館14／本木種字一式／昌造ら作製のツゲ活字
2006年4月24日	長崎新聞	石だたみ／江戸時代の絵師、川原慶賀が描いた長崎の年中行事を現代の子どもたちに体験してもらおうと、
2006年4月25日	読売新聞	日露交流の歴史／ロマノフ王朝と近代日本展
2006年4月26日	長崎新聞	「ロマノフ展」あす開幕／芸術でたどる日露交流
2006年4月27日	読売新聞	日露交流促進に期待／ロシア大使／長崎市役所訪問
2006年4月28日	読売新聞	日本初公開の品も／ロマノフ展開幕／6つの時代で紹介
2006年4月28日	読売新聞	ロマノフ王朝展開幕
2006年4月30日	読売新聞	ロマノフ王朝と近代日本展から①／ルボーク／庶民に流通した木版画
2006年5月1日	読売新聞	ロマノフ王朝と近代日本展から②／挿絵／ロシア人の対日観に注目
2006年5月1日	長崎新聞	長崎式こいのぼり登場／支柱に笹の旗ざお掛けて／江戸時代の様式再現
2006年5月4日	読売新聞	小中学生あす無料
2006年5月7日	長崎新聞	日露交流の歴史／写真などで紹介
2006年5月7日	読売新聞	日露の歴史振り返る／学芸員が講演
2006年5月7日	読売新聞	ロマノフ王朝と近代日本展から③／使節団／サムライの容姿が新鮮に
2006年5月7日	長崎新聞	サンデー博物館16／崎陽雑報／わが国最初の地方新聞
2006年5月17日	長崎新聞	長崎で全国博物館大会／半世紀ぶり、11月に
2006年5月11日	読売新聞	ロマノフ王朝と近代日本展から④／ニコライ皇太子／皇族の生活垣間見る
2006年5月14日	読売新聞	ロマノフ王朝と近代日本展から⑤／ポスター／日本の文化に熱い視線
2006年5月20日	長崎新聞	「歴博」熱気ムンムン／若者ライブに“開放”／国際博物館の日／関心持ち文化発信を
2006年5月17日	長崎新聞	DJ、ダンスなど若者向けライブ
2006年5月19日	長崎新聞	石だたみ／長崎歴史文化博物館が十八日、カップルを対象に常設展と企画展を無料で観覧できる「カップルフリーDAY」を初めて設けた
2006年5月21日	長崎新聞	サンデー博物館18／長崎医学伝習所の講義録／安永家の歴史的資料
2006年5月24日	西日本新聞	江戸時代の平戸くっきり／伊能大図の複製寄贈／忠敬の子孫、洋さんら／松浦史料博物館
2006年5月26日	長崎新聞	伊能大図模写本／歴博にもレプリカ寄贈／子孫 洋さん「200年前の長崎見て」
2006年5月28日	読売新聞	露留学生エドワルドさん講演／日露友好時代だった
2006年5月28日	長崎新聞	サンデー博物館19／日蘭条約書／近代外交の始まり伝える
2006年6月1日	西日本新聞	泣いたが勝ちだヨ子泣き相撲／19日からは写真展も
2006年6月3日	読売新聞	「ロマノフ展」あす閉幕
2006年6月11日	長崎新聞	平戸の至宝とキリシタン文化展始まる／狂獅子図屏風など120点／海外との交流の歴史語る展示品
2006年6月14日	長崎新聞	平戸の至宝とキリシタン文化展①／生月島のオラシヨ／忠実に祈りを受け継ぐ
2006年6月15日	西日本新聞	平戸の至宝とキリシタン展／松浦家所有／狂獅子図屏風も
2006年6月17日	読売新聞	平戸の至宝120点 歴史語る
2006年6月18日	長崎新聞	サンデー博物館21／福濟寺模型／伽藍配置を忠実に再現
2006年6月21日	長崎新聞	生月の信者が公演／時を超え響く唄オラシヨ

2006年6月21日	長崎新聞	平戸の至宝とキリシタン文化展②／唐船之図／実務的用途もって描く
2006年6月26日	読売新聞	脳の神秘探る／長崎で特別企画展
2006年6月28日	朝日新聞	「平戸文化」を紹介
2006年6月25日	長崎新聞	サンデー博物館22／染付龍細工瓢形瓶／国際舞台で華々しい活躍
2006年6月28日	長崎新聞	平戸の至宝とキリシタン文化展③／平戸オランダ商館／石造倉庫の復元目指す
2006年7月2日	長崎新聞	サンデー博物館23／末次船絵馬／貴重な朱印船考証資料
2006年7月2日	長崎新聞	平戸オランダ商館石造倉庫／復元向けフォーラム／特徴、課題など意見交換
2006年7月5日	長崎新聞	平戸の至宝とキリシタン文化展④／渡来仏／中国との交渉物語る
2006年7月7日	読売新聞	「脳」企画展16日シンポ／養老孟司さんが特別講演
2006年7月15日	長崎新聞	夏休み親子見学会の参加者募集／「お金と脳の不思議を探検隊！」脳年齢測定なども
2006年7月16日	読売新聞	脳の不思議な世界 案内
2006年7月16日	読売新聞	脳／神秘にぞくぞく
2006年7月17日	西日本新聞	養老孟司さんが講演／「“読み書きそろばん”誇りに」
2006年7月17日	読売新聞	養老孟司さん講演に1300人
2006年7月23日	長崎新聞	河童図屏風展で芥川の活動紹介
2006年7月23日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／小値賀の学校を訪ねて
2006年7月23日	読売新聞	脳展／研究員の解説始まる
2006年7月23日	長崎新聞	サンデー博物館25／シーボルトの医療器具／再来日の際 娘に与える
2006年7月25日	長崎新聞	全国博物館大会記念講演／英理事長を招請／実行委初会合で予定報告
2006年7月27日	読売新聞	脳って何だ？①／進化／環境により発達に違い
2006年7月28日	読売新聞	脳って何だ？②／機能／情報補い錯覚起こす
2006年7月29日	読売新聞	脳って何だ？③／ロボット／自ら考える「学習」機能
2006年7月31日	読売新聞	脳って何だ？④／病気／電気パルスで改善も
2006年7月30日	読売新聞	「脳」展／計算大会予選スタート／ゲーム機目指し脳フル回転
2006年8月1日	読売新聞	脳って何だ？⑤／長崎医学／西洋との出会いで光
2006年7月31日	読売新聞	脳の不思議を体感／長崎で大型企画展
2006年8月6日	読売新聞	脳 親子で鍛えよう／企画展で教室開催
2006年8月6日	長崎新聞	サンデー博物館26／和蘭辞書和解／当時では最良の蘭日辞典
2006年8月13日	長崎新聞	サンデー博物館27／高島秋帆徳丸原演習図／幕府を驚かせた西洋砲術
2006年8月17日	読売新聞	入館者50万人突破／岐阜の毛利さん一家に記念品
2006年8月17日	長崎新聞	キリシタン殉教など解説／県刊行の歴史ガイドブック／25日に第3号発売
2006年8月19日	読売新聞	「脳」展入場者が1万人突破／神奈川の新原さん夫妻に記念品
2006年8月20日	長崎新聞	サンデー博物館28／司馬江漢工夫 阿蘭陀茶臼／コーヒーミルを自ら製作
2006年8月23日	朝日新聞	くんちの資料モッテコ～イ
2006年8月27日	長崎新聞	サンデー博物館29／ライデン民博日本コレクション／異国に眠る江戸時代の技
2006年8月29日	長崎新聞	奉行所夜 楽市楽座／踊りやバンド演奏披露
2006年8月29日	長崎新聞	中小企業の優良製品 県の機関で優先使用
2006年8月30日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／サービスの奥義
2006年9月2日	読売新聞	クイズで脳活性化／「脳」展あすまで／フェスティバル 4イベント参加者次々
2006年9月8日	長崎新聞	きらめく女性たち／長崎歴史文化博物館教育・研究グループリーダー／竹内有理さん(37)／県民自慢の施設に
2006年9月4日	長崎新聞	歴史博物館の証明工夫して／無職／井手誠二(七〇)
2006年9月27日	長崎新聞	「くんち展」に寄せて 上／神輿／120年余ぶり里帰り
2006年9月24日	長崎新聞	サンデー博物館33／万屋町鯨の潮吹き船頭衣装／金糸銀糸 豪華な長崎刺繍
2006年9月30日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／「家族愛」について
2006年10月8日	長崎新聞	サンデー博物館35／本大工町の傘鉾／1人で持てる限界まで進化
2006年10月12日	長崎新聞	くんち写真展始まる
2006年10月15日	長崎新聞	サンデー博物館36／諏訪祭礼図屏風／短い垂と簡素な飾の傘鉾
2006年10月16日	読売新聞	龍踊「モッテコ～イ」／諏訪小の5、6年生30人が披露
2006年10月22日	長崎新聞	「ローマを夢みた美少年」／天正遣欧使節などに焦点／世界初公開の肖像画も
2006年10月22日	長崎新聞	サンデー博物館37／オルテリウス太平洋図／「世界の舞台」と題され出版
2006年11月2日	西日本新聞	長崎歴史文化博物館あす開館1周年／予想の1.7倍 66万人入館／新たに館内ガイド養成も

2006年11月1日	長崎新聞	「奉行所 薪能」趣深く
2006年11月3日	長崎新聞	指定管理者制度1年「歴文博」の挑戦 上／入館者／斬新で多彩、好調維持／民間ノウハウ生かす
2006年11月4日	長崎新聞	諏訪の森に幽玄の舞／開館1周年記念し能公演
2006年11月6日	朝日新聞	ながさき随想／長崎と「くんち」／大堀哲
2006年11月7日	長崎新聞	指定管理者制度1年「歴文博」の挑戦 中／連携／縛らず放さずの距離感／大きな方針は設置者
2006年11月10日	長崎新聞	指定管理者制度1年「歴文博」の挑戦 下／公共性／長崎文化の継承使命／研究員の育成が課題
2006年11月11日	読売新聞	天正遣欧使節と天草四郎展／専門家が講演
2006年11月8日	長崎新聞	黒川紀章氏があす特別講演
2006年11月11日	長崎新聞	「共生」テーマに／黒川紀章さん講演／奉行所建築の苦労話披露
2006年11月12日	長崎新聞	サンデー博物館40 完／メダイ「荊冠のキリスト」／かくれキリシタンの聖具
2006年11月18日	長崎新聞	博物館報改正を／決議採択し全国大会閉会
2006年11月23日	長崎新聞	大村で初、花十字の瓦出土／潜伏キリシタンの「聖具」か
2006年11月23日	西日本新聞	「三城城」跡から聖具／キリシタンの歴史を刻む／大村市 花十字紋瓦を加工
2006年11月23日	朝日新聞	花十字紋瓦、大村で出土／江戸禁教令以前作製の品と推定／潜伏信徒の聖具
2006年11月25日	日本経済新聞	今秋、開館一周を迎えた「長崎歴史文化博物館」
2006年11月26日	長崎新聞	ローマを夢みた美少年 4／殉教と鎖国／稲富裕和／中浦ジュリアンの最期
2006年12月1日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／晩秋の市民茶会
2006年12月3日	長崎新聞	ローマを夢みた美少年 5／南蛮美術について／植松有希／風俗映す金屏風
2006年12月8日	長崎新聞	AEDを長崎歴史文化博物館に寄贈／長崎ロータリークラブ
2006年12月6日	長崎新聞	インタビュー／大堀哲さん／内外評価で運営改善／制度の抜本改正も必要
2006年12月16日	長崎新聞	国際長崎ク／歴博にいす30脚贈呈／不足解消でイベント支援
2006年12月17日	長崎新聞	吉村作治の早大エジプト発掘40年展／「セヌウのマスク」にため息／2ヶ月で10万人…人気ぶり伝わる
2006年12月20日	長崎新聞	早大エジプト発掘40年展／展示作業が本格化／「セヌウのマスク」慎重に
2006年12月20日	長崎新聞	よみがえる太古のエジプト①／セヌウのマスク／鮮やかな青で彩色
2006年12月22日	長崎新聞	エジプト展きょう開幕／吉村教授トークショーも／貴重な発掘品250点
2006年12月21日	長崎新聞	よみがえる太古のエジプト②／王と王妃の指輪／ツタンカーメン遺物
2006年12月22日	長崎新聞	よみがえる太古のエジプト③／ライオン女神像／足元の子どもはクフ王
2006年12月23日	長崎新聞	長崎歴文博でエジプト展開幕／目を奪う古代装飾品／吉村客員教授「子どもに夢を」
2006年12月23日	長崎新聞	吉村作治の早大エジプト発掘40年展／数千年を超え発掘品一堂に
2006年12月23日	長崎新聞	よみがえる太古のエジプト④／バシェドゥのステラ／死悼む儀式の様子描く
2006年12月25日	西日本新聞	ミニ門松や一銭バタ作り／子どもたちが挑戦
2006年12月26日	長崎新聞	全展示品、日本人が発掘／展覧会の見どころ／吉村作治
2006年12月29日	長崎新聞	吉村作治／まさに大エジプト凶鑑
2007年1月3日	長崎新聞	石だたみ／長崎歴史文化博物館で開催中の「吉村作治の早大エジプト発掘四十年展」のスタッフが、元日から三日間、近くで“お年玉”を配布中
2007年1月3日	西日本新聞	児童が書き初め
2007年1月3日	読売新聞	長崎歴史文化博物館で2日、子どもたちが書き初めに挑戦した
2007年1月3日	長崎新聞	「元日」など書き初め／真剣な目で子どもたち
2007年1月4日	朝日新聞	寒中動あり／「面！」大声で初げいこ
2007年1月4日	長崎新聞	指定管理者／文化発信のキーマン対談／好調の波に乗って
2007年1月7日	朝日新聞	琴とフルート／新春彩る音色
2007年1月7日	長崎新聞	響く琴の音 正月気分満喫／愛好家ら弾き初め
2007年1月11日	西日本新聞	「早大エジプト発掘40年展」マスクや棺など250点展示
2007年1月14日	長崎新聞	入場者2万人突破／長崎の平井樂ちゃんに記念品
2007年1月26日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／エジプトへの夢
2007年1月28日	長崎新聞	入場者3万人を突破／高比良君（長崎市）に記念品／歴史の本好きで興味津々
2007年2月1日	長崎新聞	吉村作治早稲田大教授 子どものためのトークショー／夢を持って突き進もう
2007年2月4日	長崎新聞	節分／エジプト展成功祈願？／早大客員教授 吉村さんも
2007年2月6日	北海道新聞	「青い目の人形」80年ぶり一堂に／親善願ひ、米国から全国に贈与
2007年2月1日	朝日新聞	歴史文化博物館「館内ツアー」／「経験・知識」じわり／シニアガイド活躍
2007年2月14日	長崎新聞	わが町ウォッチング／6万人突破した「吉村作治の早大エジプト発掘40年展」。

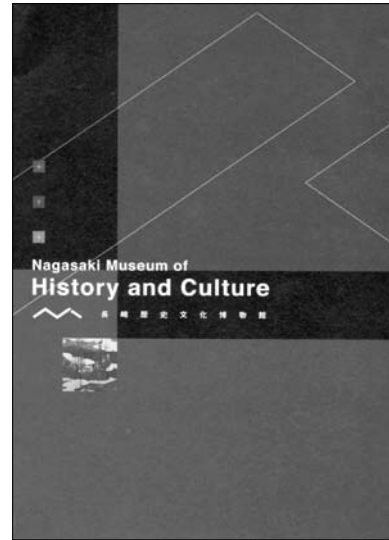
2007年2月15日	長崎新聞	エジプト展閉幕／入館者 企画展最多の6万4100人
2007年2月17日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／新春・音楽への誘い
2007年2月25日	西日本新聞	中国演劇の魅力を紹介
2007年2月25日	長崎新聞	「京劇」展始まる／日本初公開の衣装など100点／魅力に迫る
2007年2月25日	読売新聞	さらびやか 京劇展
2007年3月1日	朝日新聞	ランタンフェスに合わせ京劇展／女優たちの衣装や楽器など100点
2007年3月3日	長崎新聞	来月7日から「青い目の人形展」／「平和の大使」165体が同窓会／「長崎瓊子」も対面へ
2007年3月4日	朝日新聞	市民持ち寄ったひな人形ずらり
2007年3月4日	読売新聞	折りひなあそび／切り張りに夢中
2007年3月11日	長崎新聞	長崎歴史博で社会科授業／青雲高1年生／「歴史身近に感じられた」
2007年3月13日	長崎新聞	長崎でシンポ「データベース化を」／シーボルト絵師川原慶賀の実像に迫る
2007年3月15日	長崎新聞	長崎に集う80年のきずな「青い目の人形」展1／千厩小のベティ（岩手）／とっさに隠して守った
2007年3月17日	長崎新聞	辛亥革命支援に謝意／孫文の書確認
2007年3月17日	長崎新聞	長崎ゆかり 孫文の書
2007年3月20日	朝日新聞	孫文の書「引賢救失」背景は／長崎ゆかり 福島で発見
2007年3月17日	西日本新聞	孫文 長崎訪問時の書／辛亥革命支援に感謝
2007年3月20日	長崎新聞	長崎に集う80年のきずな「青い目の人形」展2／戦争の傷跡残す生き証人（鳥取）／学校でずたずたに
2007年3月18日	長崎新聞	「青い目の人形」到着／来月7日に展示会開幕／全国から第1陣136体
2007年3月21日	長崎新聞	長崎に集う80年のきずな「青い目の人形」展3／メリーちゃん（兵庫）／新聞に包み戸棚の奥へ
2007年3月22日	読売新聞	孫文の書“里帰り”／長崎の新聞社に贈呈
2007年3月22日	長崎新聞	長崎に集う80年のきずな「青い目の人形」展4／ジュリー（福島県会津若松市）／ルーツ探しエッセーに
2007年3月24日	長崎新聞	うず潮／大堀哲／80年ぶりの再会
2007年3月28日	長崎新聞	長崎に集う80年のきずな「青い目の人形」展／寄稿／松本汎人さん／フィリピンに渡った親善人形

2 広報印刷物

・リーフレット



・常設展示ガイド



・長崎れきぶんNEWS

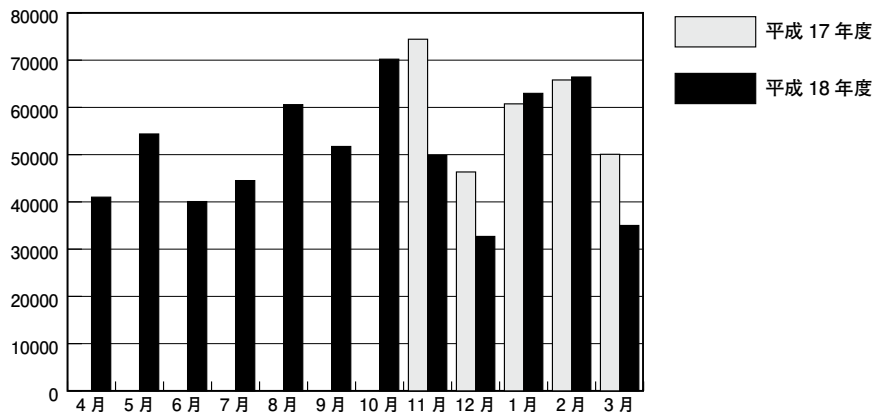


1 来館者統計

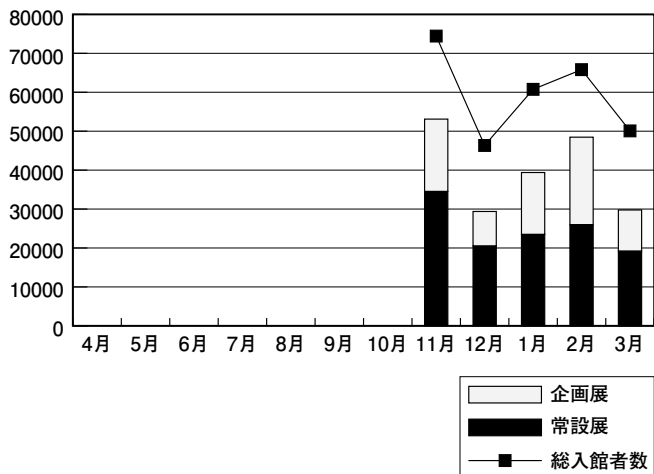
■入館者数

	平成17年度			平成18年度		
	総入館者数	常設展	企画展	総入館者数	常設展	企画展
4月				41,005	16,670	3,969
5月				54,378	26,359	5,186
6月				40,074	15,890	4,033
7月				44,515	17,171	5,104
8月				60,584	22,873	13,960
9月				51,734	20,538	8,269
10月				70,210	31,182	10,591
11月	74,431	34,515	18,589	49,809	21,583	5,679
12月	46,335	20,495	8,884	32,692	9,355	6,471
1月	60,750	23,481	15,904	62,975	12,642	31,575
2月	65,807	25,976	22,489	66,435	15,201	29,686
3月	50,076	19,174	10,590	35,013	11,403	3,235
合計	297,399	123,641	76,456	609,424	220,867	127,758

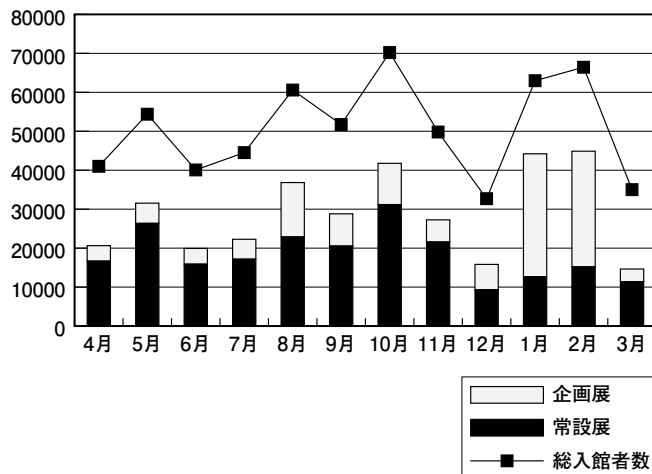
平成17・18年度総入館者数



入館者内訳 (平成17年度)



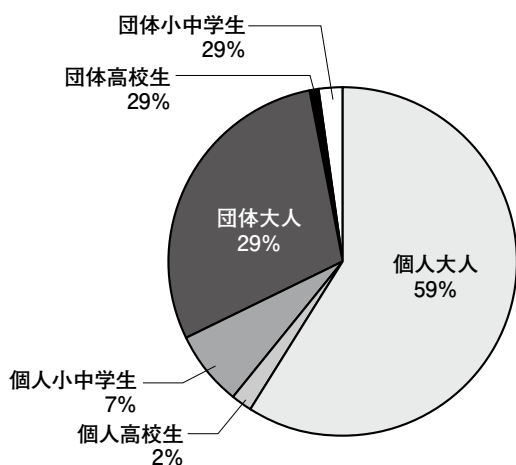
入館者内訳 (平成18年度)



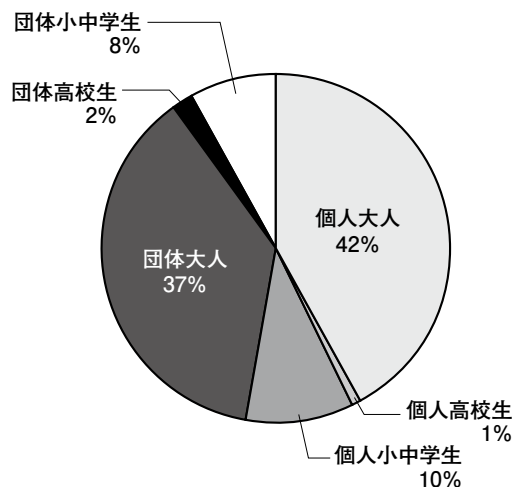
■常設展入館者内訳

		平成17年度		平成18年度	
個人	大人	73,662	60%	92,848	42%
	高校生	2,188	2%	2,459	1%
	小中学生	8,561	7%	22,045	10%
団体	大人	35,698	29%	81,384	37%
	高校生	724	1%	4,776	2%
	小中学生	2,808	2%	17,355	8%

常設展入館者内訳（平成17年度）



常設展入館者内訳（平成18年度）



2 主な来訪者

平成17年度

- 8月4日 サントリー美術館
- 9月27日 京都国立博物館
- 9月28日 東京国立博物館
- 10月9日 トヨタ自動車 張副会長
- 10月9日 アサヒビール 福地会長
- 10月10日 公明党愛知県議員団
- 10月11日 オランダ総領事・商務官
- 10月14日 沖縄県立博物館名嘉政修館長
- 10月22日 カナダ トロント大学
- 10月23日 防衛庁長官官房長
- 10月24日 内閣府
- 10月25日 九州知事会
- 10月27日 北京故宫博物院
- 10月28日 沖縄県教育庁文化施設建設室
- 11月3日 オランダ国立民族学博物館 エンゲルスマン館長

- 11月5日 武居福岡県副知事
- 11月8日 中国大使
- 11月9日 埼玉県川の博物館
- 11月9日 佐賀県博物館協会
- 11月9日 神戸市立博物館
- 11月11日 江戸東京たてもの園
- 11月12日 全日本博物館学会
- 11月14日 京都国立博物館
- 11月15日 参議院行政監視委員会調査室
- 11月16日 愛知県美術館
- 11月17日 山口県議会
- 11月18日 横浜美術館
- 11月19日 サントリー美術館
- 11月21日 イスラエル大使夫人
- 11月21日 文化庁文化財部美術学芸課
- 11月22日 国土交通省国土計画局

- 11月23日 日本赤十字社
11月23日 沖縄県平和祈念資料館川満館長
11月23日 新潟県立歴史博物館
11月25日 愛媛県教育委員会
11月26日 長崎県地方史研究会
11月28日 佐賀県立佐賀城本丸歴史館
12月1日 大阪市議会公明党議員団
12月2日 米セントポール市長
12月2日 静岡県立美術館
12月2日 国立歴史民俗博物館
12月4日 東京都生活文化局文化振興部
12月6日 兵庫県立考古博物館開設準備室
12月6日 兵庫県立歴史博物館
12月7日 富士市議会
12月8日 国立西洋美術館
12月8日 北京市山西省教育関係者訪日団
12月11日 沖縄県教育庁文化施設建設室
12月14日 北海道議会総務委員会
12月15日 福岡県教育庁・九州歴史資料館副館長
12月15日 九州歴史資料館副館長
12月16日 三重県地域振興部熊野古道センター整備室
12月17日 富山県立山カルデラ砂防博物館
12月17日 シンガポール市教育関係者
12月19日 滋賀県立琵琶湖博物館
12月25日 大阪歴史博物館
12月25日 日本科学未来館
1月5日 佐賀県立佐賀城本丸歴史館
1月10日 香川県立歴史博物館
1月12日 福岡県青少年科学館
1月13日 日本銀行金融研究所貨幣博物館
1月16日 北九州市経済文化局門司港レトロ室
1月17日 埼玉県戸田市議会
1月18日 津山市議会
1月19日 国土館大学
1月19日 故宮博物院保管部宮廷組
1月21日 韓国博物館協会
1月22日 大原美術館 高階館長
1月23日 鎌倉市議会
1月23日 東京都港区教育委員会
1月24日 兵庫陶芸美術館
1月24日 九州国立博物館
1月24日 熊本市現代美術館
1月24日 新潟市歴史博物館
1月24日 タイ国立バンコク博物館
1月25日 愛媛県議会
1月25日 浜松市議会
1月25日 大阪府議会
1月25日 北海道開拓の村
1月26日 兵庫陶芸美術館
1月27日 北九州市教育委員会
1月28日 山梨県総務部
1月28日 山梨県博物館
1月28日 福岡市博多区役所総務部
1月28日 甲斐市役所都市建設部
2月2日 広島県議会
2月2日 静岡県議会・生活文化部
2月3日 大分県宇佐市内町
2月3日 国土交通省 官房参事官
2月7日 インドネシア地域振興グループ
2月8日 斎宮歴史博物館・三重大学渡辺教授
2月9日 国土交通省
2月9日 小樽市博物館 土屋館長
2月9日 佐賀県議会
2月10日 加藤タキ氏
2月14日 国土館大学副学長
2月15日 兵庫県公明党議員団
2月15日 阪神淡路大震災記念協会
2月20日 日田市教育庁
2月22日 京都橋大学文化政策学部
2月22日 広島県三原市議会
2月22日 東京都歴史文化財団
2月23日 石川県土木部営繕課
2月23日 一支国博物館整備推進協議会
2月23日 東京消防博物館館長
3月3日 島根県教育庁古代文化センター・ミュージアムいちばた
3月8日 千葉県立大利根博物館
3月9日 国立民族学博物館
3月9日 国立国際美術館
3月9日 福岡アジア美術館
3月9日 神奈川県立歴史博物館
3月9日 大阪歴史博物館 伊藤学芸課長
3月15日 文化庁文化財部
3月15日 三重県知事・斎宮歴史博物館館長
3月16日 滋賀県立安土城考古博物館
3月17日 埼玉県生涯学習文化財課
3月18日 薩摩川内市教育委員会
3月23日 文化庁文化財部美術学芸課
3月24日 沖縄県教育庁文化施設建設室
3月24日 沖縄県総務部
3月27日 九州国立博物館
3月29日 ライデン国立民族学博物館エンゲルスマン館長
3月30日 兵庫県立人と自然の博物館
3月31日 奈良県立万葉文化館
3月31日 九州国立博物館振興財団
3月31日 サントリー美術館
- 平成18年度**
- 4月2日 長崎市招待外国大使
4月3日 フランスヴォスロール村村長
4月4日 豊橋市議会
4月8日 中国江蘇省女性団体交流団
4月10日 雲仙災害記念館
4月13日 上海市外事弁公室OB訪問団
4月27日 川島織物文化館 森館長
4月27日 ロシア大使 ロシユコフ氏
4月27日 ロシア国立図書館館長 ザイツェフ氏
4月28日 愛媛県教育委員会
5月11日 秋田市議会

5月11日	壱岐市議会	10月28日	東京国立博物館
5月12日	日本博物館協会	10月30日	文部科学省 遠藤副大臣
5月17日	福岡県議会	10月31日	南アフリカ共和国駐日全権大使
5月28日	大関白鵬	11月2日	駐日オランダ大使
6月2日	埼玉県議会	11月9日	設計家 黒川紀章氏
6月6日	文化庁長官河合氏	11月16日	たばこと塩の博物館
6月15日	上海市人民代表大会常務委員会	11月16日	福島県立博物館
6月23日	内閣官房都市再生本部事務局	11月16日	兵庫県立人と自然の博物館
6月29日	国土交通省 総合政策局長・住宅局長	11月16日	埼玉県立歴史と民俗の博物館
7月5日	板橋区立美術館 安村館長	11月16日	平山郁夫美術館 平山館長
7月10日	そごう美術館	11月16日	トヨタ産業技術記念館
7月10日	駐日フランス大使	11月16日	兵庫県考古博物館開設準備室
7月16日	東京大学 養老孟司名誉教授	11月16日	江戸東京博物館
7月19日	参議院総務委員会調査室	11月16日	青森県立三沢航空科学館
7月28日	京都大学総合博物館 中坊館長・山中教授	11月17日	日本科学技術振興財団
8月3日	いわさきちひろ記念事業団・安曇野ちひろ美術館	11月17日	富山県立近代美術館
8月4日	日韓朝鮮通信使議員連盟	11月17日	野口英世記念会
8月7日	衆議院行革特別委員会 伊吹委員長	11月17日	駐日クロアチア共和国大使
8月9日	京都国立博物館	11月17日	盛岡市議会
8月9日	駐日オーストラリア大使	11月18日	大阪歴史博物館 副館長
8月10日	久留米市文化観光部	11月18日	東京都歴史文化財団
8月10日	韓日議員連盟	12月5日	千里文化財団
8月14日	大阪歴史博物館	12月15日	日本政策投資銀行 小村総裁
8月15日	大阪人権博物館 秋定館長	12月16日	中国駐長崎総領事
8月18日	住友史料館	12月18日	京都大学附属図書館
8月19日	奈良県企画部	12月21日	サイバー大学 吉村作治学長
9月1日	佐賀県議会	1月4日	大阪くらしの今昔館 谷館長
9月5日	大阪市教育委員会	1月27日	なにわの海の時空館 磯村副館長
9月5日	上海市文物管理委員会・上海博物館	1月31日	中国福建省訪日団
9月5日	奈良国立博物館	2月1日	いわき市議会
9月13日	国立歴史民俗博物館	2月3日	サイバー大学 吉村作治学長
9月14日	九州経済フォーラム福岡長崎交流懇談会	2月7日	国立科学博物館 佐々木館長
9月14日	栗林自然科学写真研究所	2月9日	北九州市総務市民局経営企画室
9月14日	九州国立博物館振興財団	2月9日	九州博物館協議会
9月17日	江戸東京博物館	2月16日	堺市博物館
9月20日	船の科学館	2月18日	五島観光歴史資料館
9月28日	名護屋城博物館	2月26日	島根県立美術館
10月5日	セントポール市姉妹都市委員会	3月9日	名古屋市博物館
10月6日	自民党前幹事長武部氏	3月10日	京都国立博物館
10月7日	九州銀行頭取会	3月13日	国土交通省航空局
10月7日	アサヒビール福地会長	3月14日	独立行政法人国立博物館
10月7日	駐日ベトナム大使	3月15日	沖縄県立博物館
10月7日	岩崎京子氏（絵本作家） 松谷みよ子氏（児童文学作家）	3月17日	韓国釜山文人協会
10月9日	駐日ポルトガル大使	3月21日	大阪府立狭山池博物館
10月13日	小値賀町議会	3月22日	アサヒビール 福地会長
10月16日	佐賀県立宇宙科学館	3月23日	船の科学館
10月16日	千葉県議会文教委員会	3月24日	中国全国人民代表大会常務委員会
10月18日	岡山県議会	3月30日	スウェーデン王国カール16世グスタフ国王
10月20日	カトリック長崎大司教区		
10月24日	北海道上川郡剣淵町教育委員会		
10月25日	長崎大学附属図書館 岡林館長		
10月25日	国土交通省九州地方整備局		
10月26日	兵庫県議会		

10 収 支

平成17年度

<負担金事業>

単位：千円

項 目	細 目	予算額	実績額	予算差異
収 入 合 計		220,920	220,920	0
	設置者負担金	220,920	220,920	0
支 出 合 計		220,920	229,227	△8,307
	管理運営人件費	94,000	80,229	13,771
運営事業費	長崎学生涯学習支援事業	7,209	11,081	△3,872
	調査研究事業	5,651	7,316	△1,665
	開館準備事業	13,080	14,605	△1,525
光熱水費		39,060	47,074	△8,014
維持管理費	施設設備保守点検業務	25,310	49,574	△3,234
	清掃、警備、樹木管理、修繕業務	21,030		
	受付案内業務	14,530	18,345	△3,815
	発券機、車両リース	1,050	1,004	46
負担金事業収支（指定管理者負担損失金）		0	△8,307	△8,307

<利用料金及びその他自主事業>

項 目	細 目	予算額	実績額	予算差異
収 入 合 計		150,376	144,162	△6,214
観覧料	常設展収入	34,040	92,939	△20,801
	企画展収入	79,700		
その他利用料金	駐車場収入	4,560	6,416	1,856
	施設貸し出し収入	1,587	1,044	△543
ミュージアムショップ収入		19,320	24,702	5,382
飲食施設収入		11,169	19,062	7,893
支 出 合 計		159,253	165,019	5,766
展覧会事業費	常設展示事業費	22,110	5,841	△16,269
	展覧会・企画展事業費	56,720	66,917	10,197
業務経費	広報・マーケティング費	39,000	34,937	△4,063
	駐車場運営費	800	4,056	3,256
	その他利用料金事業	9,872	13,598	3,726
ミュージアムショップ営業支出		19,838	23,710	3,872
飲食施設営業支出		10,913	15,959	5,046
利用料金及びその他自主事業 収支		△8,877	△20,856	△11,979

平成18年度

<負担金事業>

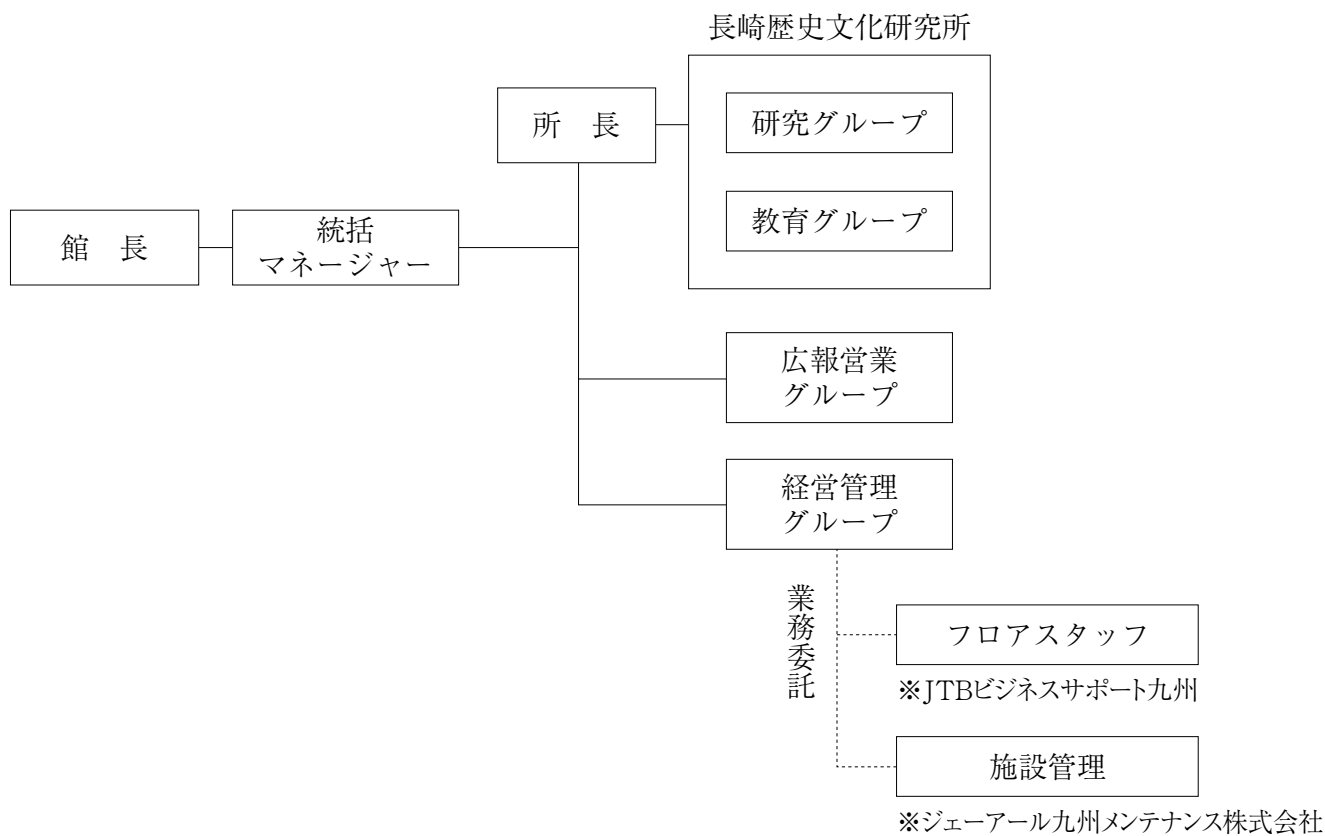
単位：千円

項目	細目	予算額	実績額	予算差異
収入合計		343,492	342,313	△1,179
設置者負担金		341,992	341,992	0
利用者負担金収入		1,500	321	△1,179
支出合計		343,492	349,942	6,450
管理運営人件費		118,294	122,060	3,766
運営事業費	長崎学生涯学習支援事業	14,312	16,265	1,953
	調査研究事業	15,747	14,767	△980
光熱水費		80,400	72,406	△7,994
維持管理費	施設設備保守点検業務	40,477	84,434	4,239
	清掃、警備、樹木管理、修繕業務	39,718		
	受付案内業務	32,000	37,475	5,475
	発券機、車両リース	2,544	2,535	△9
負担金事業収支（指定管理者負担損失金）		0	△7,629	△7,629

<利用料金及びその他自主事業>

項目	細目	予算額	実績額	予算差異
収入合計		220,084	271,963	51,879
観覧料	常設展・企画展収入	119,173	146,483	27,310
	協賛金等収入	5,800	4,269	△1,531
その他利用料金	駐車場収入	14,564	13,917	△647
	施設貸し出し収入	4,467	7,511	3,044
ミュージアムショップ収入		46,470	51,615	5,145
飲食施設収入		29,610	34,057	4,447
文化庁芸術拠点形成事業		0	13,710	13,710
文化ボランティア推進モデル事業		0	401	401
支出合計		220,084	251,875	31,791
展覧会事業費	常設展示事業費	19,500	5,406	△14,094
	展覧会・企画展事業費	68,918	85,035	16,117
業務経費	博物館「運営協議会」運営費	800	48	△752
	広報・マーケティング費	30,500	30,575	75
	駐車場運営費	10,244	8,405	△1,839
	その他利用料金事業	21,070	25,117	4,047
ミュージアムショップ営業支出		42,379	49,866	7,488
飲食施設営業支出		26,673	33,321	6,648
文化庁芸術拠点形成事業		0	13,701	13,701
文化ボランティア推進モデル事業		0	401	401
利用料金及びその他自主事業 収支		0	20,088	20,088

組 織



<職員構成>

館長	1
統括マネージャー	1
長崎歴史文化研究所長	1
教育・研究グループリーダー	1
研究グループ 主任研究員	1
研究員	6
教育グループ 研究員	4
広報営業グループ	3
経営管理グループリーダー	1
チーフ	1
スタッフ	5 (6)

合計 25 (26)

()は平成18年度職員数

平成17年度

名誉館長	市川 森一
館長	大堀 哲
統括マネージャー	野間 誠二
長崎歴史文化研究所長	原田 博二
教育・研究グループリーダー	竹内 有理
研究グループ主任研究員(美術工芸)	越中 勇
研究グループ研究員(科学史)	平岡 隆二
研究グループ研究員(日本近世史)	松尾 晋一
研究グループ研究員(日本近世史)	安高 啓明
研究グループ研究員(日本美術史)	植松 有希
研究グループ研究員(保存修復)	富川 敦子
研究グループ研究員(資料管理)	関 裕典
教育グループ研究員	矢野 香織
教育グループ研究員	久保 憲司
教育グループ研究員	下田 幹子
教育グループ研究員	出口 亮太
広報営業グループリーダー	榎 信雄
広報営業グループチーフ	北原 芳樹
広報営業グループ	山田 登志枝
経営管理グループリーダー	山崎 竜太
経営管理グループ	松尾 純也
経営管理グループ	真崎 俊介
経営管理グループ	田中 由紀子
経営管理グループ	境 陽子
経営管理グループ	中村 仁美
経営管理グループ	川原 瑞穂

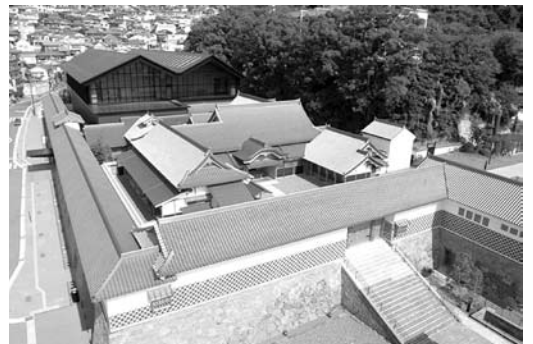
※研究員は長崎歴史文化研究所研究員を兼ねる。

平成18年度

名誉館長	市川 森一
館長	大堀 哲
統括マネージャー	野間 誠二
長崎歴史文化研究所長	原田 博二
教育・研究グループリーダー	竹内 有理
研究グループ主任研究員(美術工芸)	越中 勇
研究グループ研究員(科学史)	平岡 隆二
研究グループ研究員(日本近世史)	松尾 晋一
研究グループ研究員(日本近世史)	安高 啓明
研究グループ研究員(日本美術史)	植松 有希
研究グループ研究員(保存修復)	富川 敦子
研究グループ研究員(資料管理)	関 裕典
教育グループ研究員	矢野 香織
教育グループ研究員	久保 憲司
教育グループ研究員	下田 幹子
教育グループ研究員	出口 亮太
広報営業グループチーフ	繁村 敏巳
広報営業グループチーフ	北原 芳樹
広報営業グループ	山田 登志枝
経営管理グループリーダー	山崎 竜太
経営管理グループ	松尾 純也
経営管理グループ	真崎 俊介
経営管理グループ	田中 由紀子
経営管理グループ	境 陽子
経営管理グループ	中村 仁美
経営管理グループ	中村 清美
経営管理グループ	富永 恵美子

※研究員は長崎歴史文化研究所研究員を兼ねる。

館名	長崎歴史文化博物館 Nagasaki Museum of History and Culture
設置者	長崎県、長崎市
運営者	指定管理者(株)乃村工藝社 (指定期間：平成17年4月1日～平成22年3月31日 5年間)
博物館法分類	相当施設
開館年月日	平成17年11月3日
所在地	〒850-0007 長崎県長崎市立山1丁目1-1 Tel 095-818-8366 Fax 095-818-8407
建築構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造、3階建
建築設計	(株)黒川紀章建築都市設計事務所
建築施工	竹中・親和・古賀特定建設工事共同企業体
展示設計施工	(株)乃村工藝社
敷地面積	14,413㎡
建築面積	5,091㎡
延床面積	13,309㎡ (駐車場2,581㎡を含む)
建築工事	平成15年7月19日～平成17年8月31日
展示工事	平成15年10月3日～平成17年8月31日
総事業費	約80億円 (長崎県：長崎市 = 2 : 1) 県 53億円 市27億円

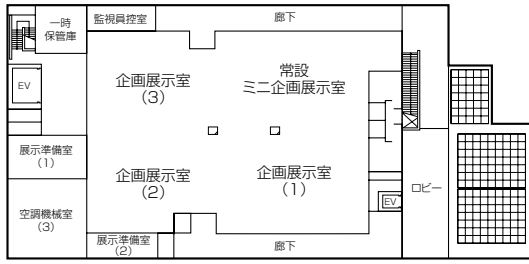


施設面積

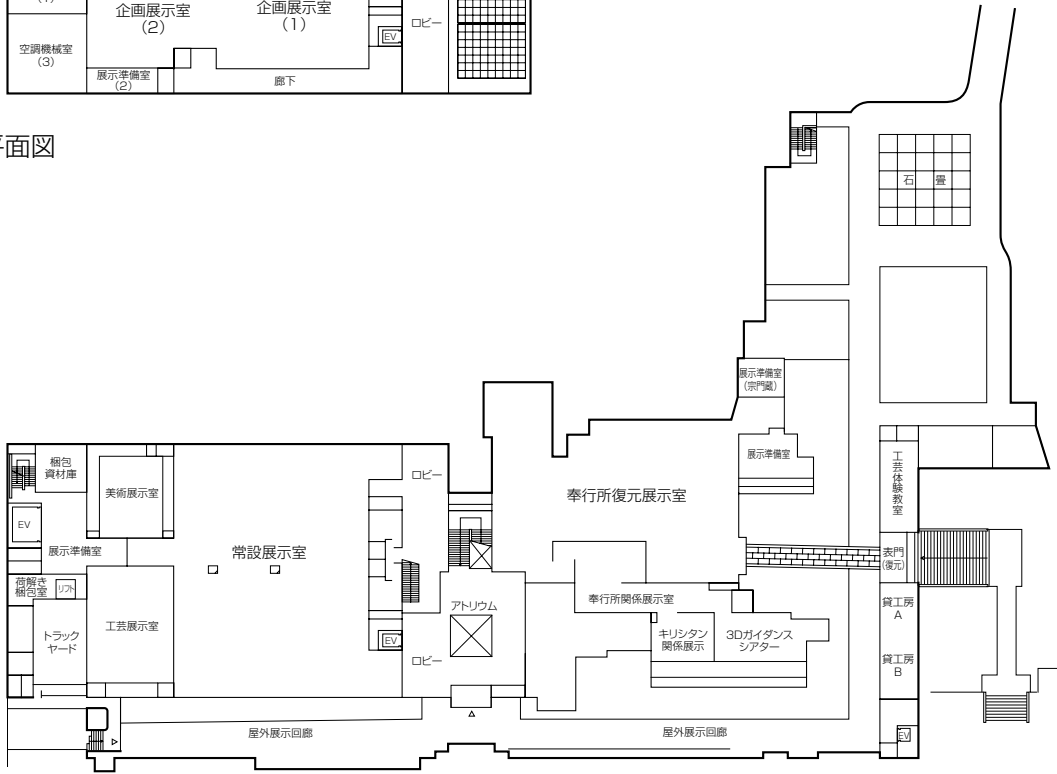
展示関係	常設展示室	1,273.3㎡
	長崎奉行所展示室	380.6㎡
	長崎奉行所立山役所（木造部分）	494.6㎡
	企画展示室	1,030.8㎡
教育普及関係	資料閲覧室／長崎学相談コーナー	140.0㎡
	閉架書庫	114.2㎡
	ホール	178.3㎡
	講座室	66.2㎡
	ボランティア室	47.1㎡
収蔵関係	収蔵庫1	491.0㎡
	収蔵庫2	158.5㎡
	収蔵庫前室	88.4㎡
	文書収蔵庫	312.9㎡
	文書収蔵庫前室	26.0㎡
調査研究関係	学芸資料室・情報処理室	175.9㎡
	研究室・資料整理室	92.4㎡
	外来研究室	37.9㎡

設備の概要

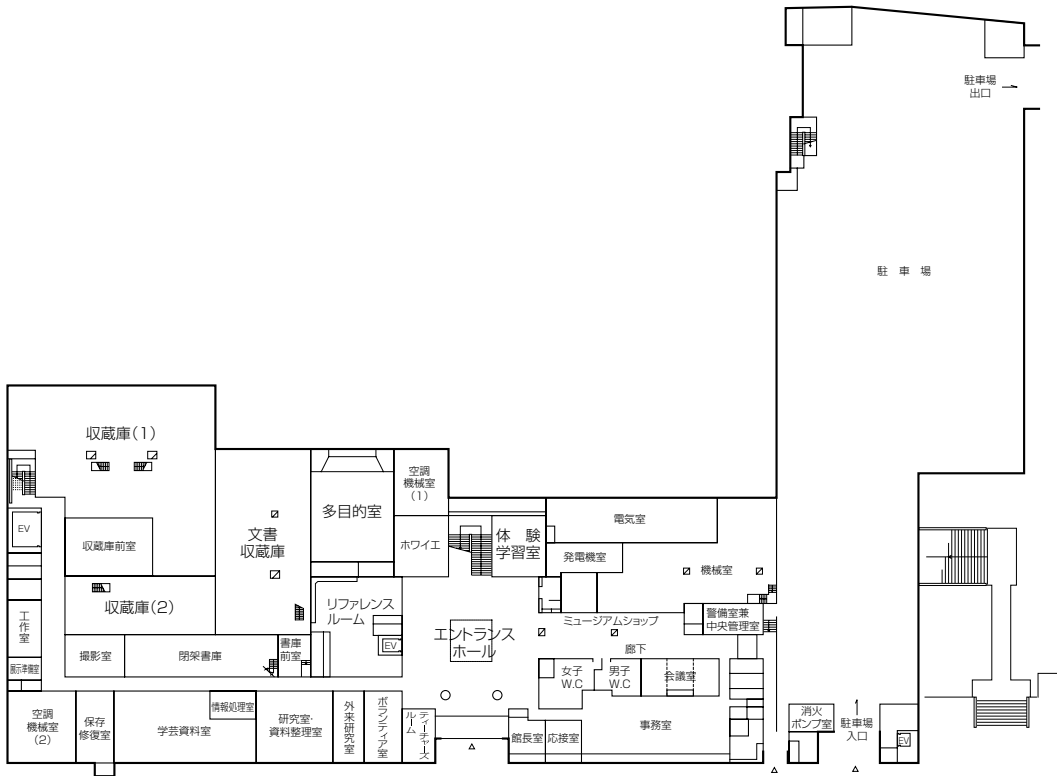
電 気	高圧受電（6600V）トランスで低圧変換後各EPSに配電
給排水	上水、雨水処理2系統加圧直送給水方式、 汚水排水 屋内外合流方式 公共下水道放流
消 火	消火器とハロゲン化合物消火設備
空調設備	熱源 ガス炊吸引冷温水発生機
空調方式	エアハンドリングユニット、定風量単一ダクト方式、中央監視システム



2階平面図



1階平面図



地下1階平面図

13 関連法規

○長崎歴史文化博物館条例

平成16年10月15日
長崎県条例第56号

長崎歴史文化博物館条例をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例

(設置)

第1条 貴重な長崎の歴史及び文化に関する資料(以下「資料」という。)の観覧及び学習の機会を提供することを通じて、情報の交流と文化活動の活性化を図り、もって長崎の学術及び文化の発展並びに地域の振興に寄与するため、長崎県は長崎市と共同して長崎歴史文化博物館(以下「博物館」という。)を長崎市に設置する。

(事業)

第2条 博物館は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 資料の収集、保管、修理、展示及び利用に関する事業
- (2) 資料に係る情報の提供に関する事業
- (3) 資料に係る調査及び研究に関する事業
- (4) 生涯学習に対応した講演会、講座等に関する事業
- (5) 広報、出版等の普及活動に関する事業
- (6) 学校との連携に関する事業
- (7) 他の博物館、美術館等との連携を図る事業
- (8) 前各号に掲げる事業の企画その他この条例の目的を達成するために必要な事業

(博物館の管理)

第3条 博物館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

(指定管理者の業務)

第4条 指定管理者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館の利用の許可に関する業務
- (2) 博物館の利用に係る利用料金に関する業務
- (3) 博物館施設、その附属設備等の維持及び修繕に関する業務
- (4) 第2条各号に掲げる事業に関する業務(同条第1号に掲げる事業にあつては、その決定に係る知事の権限に属するものを除く。)
- (5) 前各号に掲げるもののほか、この条例の目的を達成するために必要な業務

(指定管理者の指定の手続)

第5条 第3条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に次の各号に掲げる書類を添えて、知事に対しその定める時期までに提出しなければならない。

- (1) 博物館の管理運営に関する事業計画書
- (2) 前号に掲げるもののほか、規則で定める書類

(指定管理者の指定の基準)

第6条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号に掲げる基準により指定管理者の候補を選定し、議会の議決を経て指定管理者の指定をするものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、住民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、第4条各号に掲げる業務を行うことにより、博物館の効用を最大限に発揮させるとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図ることができるものであること。
- (3) 指定を受けようとするものが有する物的能力及び人的能力が、事業計画書に沿った博物館の管理運営を安

定して行うことができるものであること。

(4) この条例の目的に照らして、長崎県との連携が十分に図られるものであること。

(5) 県内に事務所を有する法人であること。

(開館日)

第7条 博物館は、指定管理者が定める月に1回の施設の保守点検等のための休館日を除き開館するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

(開館時間)

第8条 博物館の開館時間は、規則で定める。

(利用の許可等)

第9条 博物館を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可を受けようとする者の利用が次の各号のいずれかに該当するときは、当該利用の許可をしてはならない。

(1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。

(2) 集団的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。

(3) 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるとき。

(4) 前各号に掲げるもののほか、博物館の管理運営上支障があると認められるとき。

3 指定管理者は、第1項の許可に、博物館の管理運営上必要な範囲内で条件を附することができる。

4 第1項の許可を受けた者（以下「利用者」という。）は、その権利を第三者に譲渡し、若しくは担保に供し、又は許可を受けた場所の全部若しくは一部を転貸してはならない。

(利用の許可の取消及び利用の中止)

第10条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

(1) その利用が前条第2項各号のいずれかに該当することが明らかになったとき。

(2) 前条第3項の規定による条件に違反したとき。

(3) 前条第4項の規定に違反したとき。

(4) 虚偽その他不正な行為により前条第1項の許可を受けたとき。

(5) 公益上やむを得ない事由が生じたとき。

(利用許可事項の変更)

第11条 利用者が第9条第1項の規定により許可を受けた事項を変更し、又は利用を中止しようとするときは、指定管理者の承認を受けなければならない。

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る利用料金を納めなければならない。

2 指定管理者は、この条例の定めるところにより、利用料金を定めるものとする。

3 指定管理者は、利用料金を定める場合は、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。これを変更しようとする場合も、同様とする。

4 知事は、前項の規定により承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が博物館と規模、形態等において類似の博物館の同種料金と比較して、均衡のとれたものであると認めるときは、承認をするものとする。

5 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用料金の減免)

第13条 指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の還付)

第14条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 第10条第5号の規定に該当することを理由として、同条の規定により利用の許可を取り消され、又はその利用を中止されたとき。
- (2) 利用者の責めに帰することができない理由により、第11条の規定による利用の許可の変更又はその利用の中止に係る承認を受けたとき。

(原状回復)

第15条 利用者は、博物館の利用を終了したとき又は第10条各号のいずれかの規定に該当することにより利用の許可を取り消され、若しくは利用を中止させられたときは、速やかに原状に回復しなければならない。

(損害賠償等)

第16条 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第17条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して1年2月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第2条から第6条までの規定及び第17条の規定は公布の日から、第9条から第14条までの規定は公布の日から起算して1年を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成17年規則第69号で附則本文に規定する規則は平成17年11月3日から施行)

(平成17年規則第69号でただし書に規定する規則は平成17年8月5日から施行)

○長崎歴史文化博物館条例施行規則

平成17年8月5日
長崎県規則第68号

長崎歴史博物館条例施行規則をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、長崎歴史文化博物館条例（平成16年長崎県条例第56号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定申請)

第2条 条例第5条に規定する申請書は、長崎歴史文化博物館指定管理者指定申請書(別紙様式第1号)によるものとする。

2 条例第5条第1号に規定する事業計画書は、長崎歴史文化博物館に係る次に掲げる事項を記載するものとする。

- (1) 長崎歴史文化博物館の管理運営方針に関する事項
- (2) 中期計画に関する事項
- (3) 事業項目及びその内容に関する事項
- (4) 収支計画に関する事項
- (5) 組織及び人員に関する事項
- (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

3 条例第5条第2号に規定する規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 役員の名簿及び履歴書
- (3) 団体の概要に関する書類
- (4) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

(開館時間)

第3条 条例第8条に規定する博物館の開館時間は、午前8時30分から午後9時までとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、これを変更することができる。

(その他)

第4条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第3条の規定は平成17年11月3日から施行する。

別紙様式第1号

長崎歴史文化博物館の管理運営に関する基本協定書

長崎県（以下「甲」という。）と長崎歴史文化博物館条例（平成16年10月15日付長崎県条例第56号、以下「条例」という。）第3条の規定に基づき指定管理者として指定する株式会社 乃村工藝社（以下「乙」という。）とは、長崎歴史文化博物館の管理にあたり、次のとおり基本協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、長崎歴史文化博物館において乙が行う指定管理者の業務（以下「指定管理業務」という。）の遂行にあたり、必要な基本的事項を定めることを目的とする。

（管理運営を行う施設等）

第2条 甲は乙に次の施設等（以下「施設等」という。）の管理運営業務を委任する。

- (1) 名称 長崎歴史文化博物館
- (2) 所在地 長崎市立山1丁目1番1号
- (3) 施設等 別添図面の範囲の土地（植栽を含む）、建物、付帯設備及び別に甲が提示する物品台帳記載の物品

（指定期間）

第3条 長崎歴史文化博物館の指定管理期間は、平成17年4月1日から平成22年3月31日までとする。

（事業年度）

第4条 指定管理期間は、各年4月1日から翌年3月31日までを一事業年度として区分する。

（指定管理者の業務範囲）

第5条 条例第4条に基づく、長崎歴史文化博物館にかかる乙の指定管理業務の範囲は、別紙1「指定管理業務の範囲」のとおりとする。

（施設等の利用）

第6条 甲は、指定管理業務を遂行するために必要な施設等を、無償で乙に利用させるものとする。

（法令等の遵守）

第7条 乙は、指定管理業務の遂行にあたっては、次に掲げる法令等を遵守しなければならない。

- (1) 地方自治法
- (2) 長崎歴史文化博物館条例
- (3) 長崎歴史文化博物館条例施行規則
- (4) 労働基準法
- (5) その他、当該指定管理業務の遂行に関連する法令等及び長崎歴史文化博物館に関し議会の議決した事項

（基本的遵守事項）

第8条 乙は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 指定管理業務の遂行にあたっては、善良なる管理者の注意義務をもってあたらなくてはならない。
- (2) 公の施設として、住民の公平かつ平等な利用を確保しなければならない。

（事業計画）

第9条 乙は、甲との協議に基づき、事業年度ごとに事業計画を策定する。

- 2 事業計画の内容については、事業年度ごとに細目協定として締結するものとする。
- 3 乙は事業計画に沿って、指定管理業務を実施するものとする。
- 4 乙が事業計画を変更しようとするときは、事前に甲と協議するものとする。

（利用の許可に関する事項）

第10条 乙は、条例第9条及び第10条並びに第11条の規定に基づき、利用許可事務を行うものとする。

(開館日)

第11条 乙は、条例第7条第2項の規定に基づき、月に1回の保守点検等のための休館日以外の日に休館する場合、又は臨時に休館日に開館する場合は知事への承認申請を行わなければならない。

(利用料金・利用料金の減免)

第12条 利用料金とは施設等の観覧料金及び使用料金を指し、乙が収受する。

- 2 乙は、条例第12条第3項の規定に基づき、利用料金について知事への承認申請を行わなければならない。
- 3 乙は、条例第13条の規定に基づき、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(その他事業)

第13条 乙は条例第2条第8項の規定に基づき、ミュージアムショップや飲食施設をはじめとした条例の目的を達成するために必要なその他の事業（以下「その他自主事業」という。）を行うことができる。

- 2 前項の収入については乙が収受する。

(管理に要する経費の負担)

第14条 甲は、乙に対し、乙が行う指定管理業務の遂行に要する事業経費のうち、利用料金及びその他自主事業収入を適用しない経費（以下「負担金」という。）を負担する。

- 2 利用料金及びその他自主事業収入を適用する経費ならびに、負担金の内容区分については、別紙2「事業経費区分表」のとおりとする。

(負担金の支弁方法等)

第15条 負担金は、事業年度ごとに支弁するものとし、細目協定でこれを定める。

- 2 前項に規定するもののほか、指定管理者負担金の額及び支弁方法については、毎事業年度前に、事業計画の内容等を考慮し、甲乙協議のうえ、事業年度ごとに締結する細目協定により定める。

(リスク分担)

第16条 指定管理業務に関する甲と乙のリスク分担については、別紙3「リスク分担表」のとおりとする。

- 2 前項に定める事項以外の不測のリスクが生じた場合は、甲乙協議のうえでリスク分担を決定する。

(個人情報の保護)

第17条 乙は、長崎県個人情報保護条例（平成16年3月23日付長崎県条例第3号）第11条第4項の規定に基づき、指定管理業務を行うため個人情報を取り扱う場合は、別紙4「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

- 2 乙が、指定管理者業務の遂行にあたり、その一部を業務委託する場合には、個人情報取扱特記事項第7の規定に基づき、予め甲の承認を得ること。

(業務報告)

第18条 乙は、毎月終了後10日以内に次に掲げる事項を甲に報告するものとする。

- (1) 月報（入館者数、施設有料利用者数、利用料金及びその他事業の実績、負担金の実績）
- (2) 実施した事業の内容及び実績

(事業報告)

第19条 乙は、毎事業年度終了後、指定期日までに管理業務に係る事業報告書を甲に提出し、その承認を得なければならない。

- 2 前項の事業報告に記載する事項及び提出指定期日は、次のとおりとする。

- (1) 指定管理業務の実施状況:毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (2) 施設の利用状況:毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (3) 利用料金及びその他自主事業の収入、支出の実績:毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (4) 負担金の実績:毎事業年度終了後7日以内

(事故の報告)

第20条 乙は、指定管理業務の遂行等において、事故が発生したときは、これを甲に速やかに報告しなければならない。

(損害賠償)

第21条 乙は、指定管理業務の遂行にあたり、乙の責めに帰すべき事由により、甲又は第三者に損害を与えた場合は、その損害を賠償しなければならない。

(権利の譲渡の禁止)

第22条 乙は、この協定により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは継承させ、又は権利を担保に供することはできない。

2 乙は、その業務の全てを再委託することはできない。ただし、その業務の一部について、甲の承諾を得たうえで、業務委託を行うことができる。

(指定管理者への指示)

第23条 甲は、長崎歴史文化博物館の管理の適正を期するため、乙に対して指定管理業務及び経理の状況に関し報告を求め、実地について調査及び評価を行い、又は必要な指示をすることができる。

(指定管理者の指定の取消し)

第24条 地方自治法第244条の2第11項の規定に基づき、乙が、前条の指示に従わないとき、その他乙による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて指定管理業務の全部又は一部の停止を命ずることができる。

2 乙は、前項の規定により、指定を取り消された場合には、第14条に定める指定管理者負担金を返還しなければならない。また、前項の規定により、期間を定めて管理業務の全部又は一部の停止を命じられた場合は、当該停止期間中の経費相当分について、これを甲へ返還しなければならない。

(指定期間終了に伴う原状回復)

第25条 乙は、指定期間の満了又は指定の取消しにより長崎歴史文化博物館の指定管理業務が終了したときは、速やかに原状に回復のうえ、甲に返還するものとする。

(疑義の決定)

第26条 この協定に関して、疑義が生じたときは、甲乙協議して定めるものとする。

この協定の成立を証明するため、本書2通を作成し、甲乙が記名押印のうえ、各自1通を保有するものとする。

平成17年4月28日

甲 長崎県
長崎県知事 金子 原二郎

乙 株式会社 乃村工藝社
代表取締役社長 乃村 義博

長崎歴史文化博物館の管理運営に関する基本協定書の一部を変更する協定

長崎県（以下「甲」という。）と長崎歴史文化博物館条例（平成16年10月15日付長崎県条例第56号、以下「条例」という。）第3条の規定に基づき指定管理者として指定した株式会社乃村工藝社（以下「乙」という。）とは、長崎歴史文化博物館の管理にあたり、平成17年4月1日付けで締結した基本協定書（以下「原協定書」という。）の一部を次のとおり変更する。

第1条 原協定書第26条を第27条とし、第25条の次に次の一条を加える。

「(情報公開について)

第26条 乙は、指定管理業務の遂行にあたって、作成し、又は取得した文書、

図面及び電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られた記録をいう。）であって、乙の役職員が組織的に用いるものとして、乙が保有しているものについて、乙が別に定める情報開示基準により開示するものとする。

2. 乙は前項の情報開示基準を定めるにあたっては、甲と協議するものとする。」

この協定の成立を証明するため、本書2通を作成し、甲乙が記名押印のうえ、各自1通を保有するものとする。

平成18年4月1日

甲 長崎県
長崎県知事 金子 原二郎

乙 株式会社 乃村工藝社
代表取締役社長 乃村 義博

指定管理業務の範囲

長崎歴史文化博物館にかかる指定管理業務の範囲は下記（1）～（11）のとおりとする。

記

（1）資料の収集・保存・修理・展示及び利用に関する業務

①資料の収集に関する調査

収蔵資料を基に、より特色のある質の高いコレクションの形成を行うため、下記の収集方針に基づき、収集のための調査を行う。

- ・近世長崎の歴史資料
- ・海外交流史に関する資料
- ・近世長崎の美術資料（絵画、書跡等）、工芸資料（陶磁器、漆器、べっ甲、珊瑚、ガラス、刺繍等）
- ・長崎奉行所に関する資料
- ・長崎に関する資料

②資料の保存と修理に関する業務

資料の材質や性質に適した保存環境を整え、定期的な状態調査を実施するとともに、損傷や汚損、カビや害虫など危険因子に対する適切な処置を行う。

③資料の展示に関する業務

展示を行う際の主な業務内容

- ア) 展示計画の企画及び当該企画を実現するための調査業務
- イ) 展示計画を実現するため、他館等からの資料借用に係る交渉業務
- ウ) 展示のための資料運搬（立会、付添い）等の業務
- エ) 展示に係る広報等の集客業務
- オ) 展示に係る図録、報告書等の作成業務
- カ) 展示資料の監視・点検業務
- キ) 展示資料の解説業務

<1> 常設展示

常設展示を博物館の特色や姿勢を表す博物館活動の柱と位置づけ、県民・市民の長崎の歴史と文化に対する関心を高め、観光客に対しても長崎の歴史と文化のアピールを行う。

- ・通史展示（古代から現代までの長崎の歴史を一覧できる）
- ・近世長崎の海外交流史を主題とした歴史文化展示
- ・美術、工芸展示
- ・長崎奉行所関連展示
- ・長崎奉行所情景展示
- ・常設ミニ企画展示（常設展を補完する地域展やテーマ展示など）

<2> 企画展示

常設展示だけでは十分に紹介できない長崎の多彩な歴史と文化について、さまざまな視点で企画する展覧会を開催する。

また、長崎学の研究拠点を目指す立場から、展覧会の開催を通して長崎学に関する情報を世界に発信し、集客範囲を国内のみならず、アジアをはじめとする海外までを対象にした活動を行う。

- ・独自の調査研究に基づく自主企画展
- ・国内外の博物館と連携して所蔵資料を相互利用し企画・巡回する展覧会
- ・他館や新聞社、放送局などとの共同企画による展覧会

④資料の貸出等

他館等への資料の貸出しについて、その使用目的が適当であるか検討し、所有者である県及び市との協議のうえ、貸出しを行う。また、資料の撮影、画像の使用等についても同様の業務を行う。

(2) 長崎の歴史と文化に関する情報の提供に関する業務

長崎学研究の拠点施設となるように、レファレンスルームの適切な管理運営を図り、資料等に関する情報提供サービス、収蔵図書に関する情報、県内の史跡情報等や全国の博物館報等の提供を行う。また、情報の提供にあたっては、情報システムのデータ更新ならびに管理運営作業を行う。

(3) 調査研究業務

- ①博物館の収蔵資料に関する調査研究
- ②資料の保存修理に関する調査研究
- ③展覧会企画に関する調査研究
- ④生涯学習支援に関する調査研究
- ⑤歴史と文化の情報に関する調査研究

(4) 生涯学習に対応した講演会、講座等に関する業務

- ①修学旅行生、観光客等の来館者に対する体験学習、資料の解説を行う。
- ②様々な世代や幅広い層のニーズに対応した、講演会・講座を実施する。
- ③伝統工芸体験工房で、長崎の伝統工芸を伝え、来館者が体験できる工房の運営を行う。
- ④本格的な茶室を持つイベントの間（和室）を、茶会などの利用に貸し出す。
- ⑤県民、市民の参加を図り、ボランティア制度を実施する。

(5) 広報・出版等の普及活動に関する業務

博物館の広報活動や収蔵作品の図録の出版など、長崎の歴史と文化に関する普及活動を行う。

(6) 学校との連携に関する事業

学校教育の一環として博物館を利用してもらうなど、学校との連携を積極的に行い、子どもたちの利用促進を図る。

(7) 他の博物館・美術館等との連携を図る業務

国内外の博物館等と多角的な連携による事業推進を行う。

(8) その他設置目的を達成するため必要となる業務

- ①博物館のマネジメント業務
 - ア) 経営マネジメント業務
 - イ) 庶務・経理業務
 - ウ) 広報マーケティング業務
 - エ) 事業報告書の作成及び提出
- ②ミュージアムショップの管理運営
- ③飲食施設の管理運営

(9) 博物館の利用許可に関する業務、博物館の利用に係る利用料金に関する業務

- ①博物館の利用許可申請の受付、利用許可証の交付及び利用料金の徴収業務
- ②観覧券の発券及び観覧料金の徴収業務

(10) 博物館施設、その付属設備等の維持及び修繕に関する業務

長崎歴史文化博物館の敷地内及び建物全体を維持管理の対象とし、国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」の最新版に準拠し、以下の点に留意して建物の点検、保全を行う。

①建築物一般に関する事項

- ア) 屋根
 - ・漏水がない状態を保つこと。
 - ・瓦屋根の割れや浮き、ずれがないこと。
 - ・ルーフトレン及び樋等が詰まっていないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
 - ・落ち葉やごみが集積していないこと。
- イ) 外壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
- ウ) 建具
 - ・可動部分が円滑に動くこと。
 - ・設計図書に定められた水密製、気密性、耐風圧性が保たれていること。
 - ・ガラスの破損、ひび割れがないこと。
 - ・自動扉は正常に作動すること。
 - ・開閉、施錠装置が正常に作動すること。
 - ・金属部分の錆、腐食がないこと。
- エ) 天井、内壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・結露やカビが生じないこと。
- オ) 床、階段
 - ・汚損やひび割れ、浮き、磨耗等がないこと。
 - ・展示や来館者の通行等に支障をきたさないこと。

②外構に関する事項

- ア) 工作物
 - ・汚損や破損等がないこと。
 - ・門扉や塀等については、防犯対策に考慮し、良好な状態を保つこと。
- イ) 植栽等
 - ・敷地内の緑樹を保護し、周辺環境と調和した景観を保持すること。
 - ・剪定、除草、施肥、散水及び害虫防除等を計画的に行い、植栽を良好な状態に保つこと。

③博物館特有の事項

設計図書（建築設計、展示設計）に定められた所用の性能及び機能を保ち、所蔵資料、展示資料及び来館者に支障をきたさない。

- ア) 収蔵庫
 - ・室内環境について、仕上げ材の調湿性、断熱性、中性性を保持すること。
 - ・収蔵庫扉の耐火性及び気密性を保持すること。
 - ・収蔵棚等の維持管理を適切に行うこと。
- イ) 展示室
 - ・展示造作物、展示機器等を、適切な状態を保つこと。
 - ・展示壁面について、展示替えに伴う修復を行うこと。
 - ・展示壁面について、しみや汚れがないこと。
- ウ) 空調管理
 - ・収蔵庫、展示室内の環境管理を適切に行い、恒温恒湿状態を保つこと。
(展示ケース内も同様とする。)

④清掃に関する事項

施設の環境、衛生を維持し、博物館としての快適な空間を保つため、清掃業務を行う。目に見える埃、汚れがない状態を維持し、衛生的でなければならない。

- ア) 建物内清掃
 - ・毎日実施する日常清掃は、できる限り博物館運営の妨げにならないように行う。
 - ・清掃に使用する洗剤等は、展示資料に影響を及ぼす有害物質を発生しないものを使用すること。
 - ・日常清掃とワックス塗布等の定期清掃を組み合わせ、館内の良好な環境を保つこと。

- イ) 外構清掃
 - ・敷地内のごみ、落ち葉、泥汚れ等を除去し、敷地内の環境を良好に保つとともに、近隣に迷惑を及ぼさないようにすること。
 - ・舗装面等に雑草が繁茂するのを除去すること。
- ウ) ごみの収集
 - ・ごみは、所定の場所に集積し、保管すること。
 - ・分別等は、長崎市の収集方法に従うこと。

⑤警備に関する事項

施設のすべての財産を保全するために、常駐警備及び機械警備による警備業務を実施する。

また、展示室では、展示資料の保全を図るために、監視員を配置する。

⑥保守管理記録の作成

施設の保守管理記録等を作成し保管すること。なお、修理等において設計図面に変更が生じた場合は、変更箇所を反映させておく。

- ・点検記録
- ・補修記録
- ・事故記録
- ・営繕工事完成図書

⑦非常時、緊急時の対応

施設内において破損、火災、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合は、あらかじめ県と協議の上作成したマニュアルに従い、被害防止に必要な措置を取る。

(11) 地域づくりと観光振興に関する業務

県内の博物館の核となり、他の歴史施設、史跡、観光施設などと連携して、これまでにない新しい観光施設として地域の活性化に貢献することを目指し、これを推進する事業展開を行う。

以上

(別紙2)

事業経費区分表

長崎歴史文化博物館における指定管理業務の遂行に要する事業経費の区分を以下のとおりとする。

■負担金の対象となる事業経費

1. 施設維持管理費

(1) 光熱水費

(2) 施設維持管理費

① 施設設備保守点検

② 清掃業務

③ 樹木等庭園管理業務

④ 警備業務

⑤ 受付案内、展示室監視業務

⑥ 施設の修繕費・消耗品費

2. 人件費（その他自主事業に直接係る従業員の人件費を除く）

3. 事業活動費

(1) 調査研究事業費

(2) 長崎学・生涯学習支援事業費

4. その他、県が負担金で支出することが適当と認めた事業費

■利用料金及びその他自主事業収入の適用となる事業経費

1. 事業活動費

(1) 展覧会及び展示事業費

① 常設展示 展示替えに係る経費

② 企画展示に係る経費

③ 目録、図録等の作成費

(2) 業務経費

① 広報、マーケティング費用

② ポスター等印刷費

③ 寸劇、イベント等自主事業費

④ 駐車場運営費

(3) ボランティア経費

(4) ショップ、飲食施設関連費用

① ミュージアムショップ事業費

② 飲食施設事業費

③ その他飲食・物販サービスに係る経費

2. その他

博物館の管理運営に係る業務で、指定管理者が独自に実施する事業費

以上

リスク分担表

リスクの種類	内 容	負担者	
		県	指定管理者
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○
周辺施設・住民及び施設利用者への対応	地域との協調		○
	施設管理、運営業務内容に対する住民及び施設利用者からの訴訟、反対や要望への対応		○
	上記以外	○	
法令の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす法令変更	○	
	上記以外		○
税制度の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす税制変更	○	
事業の変更	県の責めによる理由から、施設管理、運営業務の継続に支障が生じた場合、又は業務内容の変更を余儀なくされた場合の経費及びその後の維持管理経費における当該事情による増加経費負担	○	
	上記以外		○
不可抗力	不可抗力（暴風、豪雨、洪水、地震、落盤、火災、争乱、暴動、その他の県又は指定管理者のいずれの責めにも帰することのできない自然的又は人為的な現象）に伴う、施設、設備、資料の修復による経費の増加及び事業履行不能	○	
施設・設備の損傷	管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外	○	
資料等の損傷	管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
第三者への賠償	管理者としての注意義務を怠ったことにより損害を与えた場合		○
	上記以外	○	
セキュリティ	警備不備による情報漏洩、犯罪発生		○
事業終了時の費用	指定管理者の期間が終了した場合又は期間中途における業務を廃止した場合における事業者の撤収費用		○

(別紙4)

個人情報取扱特記事項

(基本的事項)

第1 乙は、個人情報（個人に関する情報であつて、特定の個人を識別することができるものと認められるもの。以下同じ）の保護の重要性を認識し、指定管理業務を行うに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

(秘密の保持)

第2 乙は、指定管理業務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。
この協定が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(収集の制限)

第3 乙は、指定管理業務を行うために個人情報を収集するときは、業務の目的を達成するために必要な範囲で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

(適正管理)

第4 乙は、指定管理業務に関して知り得た個人情報について、盗難、漏えい、滅失及びき損の防止、乙内部における盗用の防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

(目的外利用及び提供の禁止)

第5 乙は、甲が指示したときを除き、指定管理業務に関して知り得た個人情報を、協定の目的以外の目的に利用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写又は複製の禁止)

第6 乙は、甲が承諾したときを除き、指定管理業務を行うため甲から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

(再委託の禁止)

第7 乙は、甲が承諾したときを除き、この協定による個人情報を取り扱う業務については、自ら行うものとし、第三者に委託してはならない。

(資料等の返還)

第8 乙は、指定管理業務を行うために甲から提供を受け、又は乙自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、この協定の終了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に指示するときはその指示に従うものとする。

(従事者への周知)

第9 乙は、指定管理業務に従事している者に対して、在職中及び退職後においても、当該業務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は当該業務の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知しなければならない。

(調査)

第10 甲は、乙が指定管理業務を行うに当たり、取り扱っている個人情報の状況について、随時調査することができる。

(立ち入り検査)

第11 甲は、必要と判断した場合には、乙が指定管理業務を遂行する事業所内部に立ち入り、その個人情報の管理状況について検査することができる。この場合には、事前に乙に通知するものとするが、甲において緊急を要すると判断した場合には、事前の通知なく立ち入り検査を実施することができるものとする。

(事故報告)

第12 乙は、この協定に違反する事態もしくは事故が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、その指示に従うものとする。

(罰則)

第13 (1) 業務に従事していた者が在職中又は退職後に行った行為に関する刑罰

- ① 指定管理業務に従事している者又は従事していた者（以下「従業員等」という。）が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書であって、個人の氏名、生年月日その他の記述等により当該個人を容易に検索することができるように体系的に構成されたもの（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含む。）を提供したときは、2年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられる。（長崎県個人情報保護条例第63条）
- ② 従業員等が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含み、前述のものを除く。）を提供したときは、1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処せられる。（同条例第64条）
- ③ 従業員等が、その業務に関して知り得た保有個人情報を、自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したときは、1年以下の懲役又は50万円以下の罰則に処せられる。（同条例第65条）

(2) (1) の行為についての受託者に対する刑罰

従業員等がおこなった(1)の①から③までの行為については、乙（同条例第68条第1項の法人又は人をいう。）に対しても、①から③までに掲げられた罰金刑が科せられる。

長崎歴史文化博物館資料の貸し出しに関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の貸し出しに関し、必要な事項を定めるものとする。

(資料の借用願)

第2条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の借用を受けようとする者は、長崎歴史文化博物館資料借用申請書（様式第1号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項による申請書類のほかに、次に挙げる書類を提出しなければならない。

- (1) 施設案内（リーフレット、ガイドブックなど）
- (2) 展示室写真もしくは図面
- (3) ファシリティレポート
- (4) 企画展又は展覧会の概要
- (5) 輸送方法及び輸送計画

(借用の許可)

第3条 館長は、前条の申請があったときは、当該申請者が次の各号の一に該当し、かつ当該貸出が博物館の業務に支障がないものと認められるときは、長崎県と協議し承認を受けた後に、申請の許可をするものとする。

- (1) 博物館法（昭和29年法律第285号）第2条の規定による登録を受け、又は同法第29条の規定により博物館に該当する施設として都道府県の教育委員会の指定を受けたものであるとき
- (2) 資料の貸し出しを受けようとするものが、国又は地方公共団体の設置する博物館、美術館又はこれらに準ずる施設であるとき
- (3) その他館長が特に適当と認めたとき

(貸出許可証の発行)

第4条 館長は、前条の貸し出しの許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料貸出許可証（様式第2号）を発行する。

(貸出の期間)

第5条 資料の貸し出し期間は、輸送日を含めて3ヶ月以内とする。ただし、館長が特別に認めたときは、この限りではない。

(貸出の条件)

第6条 資料の貸し出しの許可を受けたものは、次の各号に掲げる貸し出しの条件を遵守しなければならない。

- (1) 貸し出しを受けた資料は、取り扱いに細心の注意を払うとともに、博物館が指示する条件のもので展示し、または保管すること。
- (2) 資料の借用に関しては、博物館が指定する金額によるドア・ツー・ドアの保険をかけるものとする。
- (3) 貸し出しを受けた資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料を現状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償すること
- (4) 当該資料の輸送及び維持管理に要する経費の一切を負担すること
- (5) 当該資料の写真撮影、模写、模造及び印刷物掲載等については、あらかじめ、館長の承認を受けること
- (6) 当該資料を貸し出しの許可に係る使用目的以外に使用し、又は展示場所及び保管場所を変更しないこと
- (7) 貸し出し期間満了の日までに指定された場所に返還すること
- (8) 資料の返還後、展示の様子が分かる写真及び、展覧会図録を2部以上提出すること。
- (9) 前各号に掲げられるもののほか、館長が指示する事項

(資料の引渡し及び返還)

第7条 資料の引渡し及び返納については原則として博物館で行うものとする。

2 資料の借用の許可を受けたものは、当該資料の引渡しを受ける際、長崎歴史文化博物館資料借用書（様式第3号）を館長に提出しなければならない。

- 3 資料の引渡しをする際には、両者立会いのもと、資料の破損等を確認し、検査調査書を作成するものとする。
- 4 館長は、資料の返還を受けたときは、貸出を受けたものに資料借用書を返却するものとする。
- 5 第2項の引渡し及び返還は、当事者双方において貸与した資料の破損等を、引渡し前に記入した検査調査書と確認したうえで行うものとする。

(貸出料)

第8条 資料の貸出しは、無料とする。

(返還請求)

第9条 館長は、資料の貸出しを受けたものが次の各号の一つに該当したときは、貸出期間にかかわらず貸出した資料の返還を請求することができる。

- (1) 第6条の規定に違反したとき
- (2) 館長が指示した事項に従わないとき

(委任)

第10条 この規定に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成17年11月3日から施行する。

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

(様式第1号) 年 月 日

長崎歴史文化博物館資料借用申請書

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名) 様

申請者 住所

代表者氏名 印

電話

FAX

(担当者氏名)

貴館が収蔵する資料について下記のとおり貸し出しを受けたいので申請いたします。

記

	資料名	資料番号	数量	備 考
借用を希望する資料 ※欄に記入できないときは別添すること。				
借 用 期 間	年 月 日 から 年 月 日迄			
借 用 目 的				

加 蓋			
--------	--	--	--

承認					
供 覧					

(様式第2号) 長崎歴史文化博物館 第 号
年 月 日

長崎歴史文化博物館資料貸出許可証

(申請者) 様

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名)

年 月 日付で申請のあった資料の貸し出しについては、下記の条件より許可いたします。

記

	資料名	資料番号	数量	備 考
許 可 資 料				
期 間	年 月 日 から 年 月 日迄			
借 用 目 的				
引 渡 及 び 返 却 先	長崎歴史文化博物館			
条 件	① 長崎歴史文化博物館資料の貸し出しに関する規程を遵守すること ② 展示の際、「長崎歴史文化博物館」と明示すること ③ 資料の取扱いについては学芸員の指示に従うこと ④			
備 考				

長崎歴史文化博物館資料特別閲覧に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の閲覧および特別閲覧について必要な事項を定めるものとする。

(資料の閲覧)

第2条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の閲覧および特別閲覧を受けようとする者（以下「閲覧者」という）は、原則として閲覧希望日の10日前までに長崎歴史文化博物館資料特別閲覧申請書（様式第1号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

2 館長は、前項による申請内容について必要があると認めるときは、その他の関係書類の提出を求め、又は事情聴取を行うものとする。

3 特別閲覧が必要な資料については別途定めるものとする。

(特別閲覧の許可)

第3条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、特別閲覧を許可する。

- (1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき
- (2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき
- (3) 公序良俗に反すると認められるとき
- (4) 過去において、第8条の規定による損害を与えたもの、又は第9条の規定による特別閲覧の取り消しを受けたものであるとき。
- (5) その他館長が特に不適切であると認めるとき

(特別閲覧許可の発行)

第4条 館長は、第3条の特別閲覧の承認をしたときは、長崎歴史文化博物館資料特別閲覧許可証（様式第2号）（以下「許可証」という）を発行するものとする。

2 特別閲覧を許可しない場合も、その理由を付した文書をもって通知するものとする。

(特別閲覧の時間等)

第5条 特別閲覧のできる時間は原則として午前9時30分から午後6時までとする。

(特別閲覧の条件)

第6条 閲覧者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

- (1) 職員の立会いのもとで閲覧すること
- (2) 閲覧中は職員の指示に従うこと
- (3) 承認を受けていないものを同伴しないこと

(特別閲覧の開始及び終了)

第6条 閲覧者は、特別閲覧当日に発行された許可証を持参しなければならない

(損害賠償)

第7条 閲覧者は、この規程に違反し、又は故意若しくは過失により閲覧を許可された資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料等を原状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償しなければならない。

(特別閲覧の取消)

第8条 館長は、閲覧者がこの規程に違反し、又は不都合な行為があると認めるときは、直ちに閲覧の許可を取り消し、必要な措置を講じることができる。

(委任)

第9条 この規程に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成17年11月3日から施行する。

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

(様式第1号)

年 月 日

長崎歴史文化博物館資料特別閲覧申請書

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名) 様

申請者 住所

所属

氏名

電話

印

長崎歴史文化博物館が収蔵する資料に関して、特別閲覧を希望するので申請いたします。

記

閲覧希望資料			
特別閲覧の目的 (閲覧資料の使用内容や 研究内容など)			
閲覧希望日	第一希望	年 月 日	
	第二希望	年 月 日	
閲覧希望時間 (9:30~18:00の間で記入)	時 分 から 時 分 まで		
備考			

※同伴者がいる場合は、備考欄に記入してください。

協			
理			

承認	館長	統括Mg	研究所長	リーダー	担当

(様式第2号)

長崎歴史博第 号
年 月 日

長崎歴史文化博物館資料特別閲覧許可証

(申請者) 様

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名)

年 月 日付で申請のあった資料の特別閲覧について、下記の条件にて許可
します。

記

閲覧を許可する資料名	
閲覧の目的及び 内	
閲覧承認日	年 月 日
閲覧承認時間	時 分 から 時 分 まで
閲覧場所	長崎歴史文化博物館 ()
閲覧の条件	① 長崎歴史文化博物館資料特別閲覧に関する規程を遵守する こと ② 当館職員の指示に従うこと ③
備考	

※特別閲覧当日は、この用紙を持参してください。

長崎歴史文化博物館資料撮影および画像利用に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）における資料撮影および画像利用に関して、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 ここで定める写真利用等とは、資料写真の利用、撮影、模写・模造（以下「写真利用等」という）をいうものとし、画像とは、博物館に収蔵する資料のポジフィルム、ネガフィルム、デジタルデータなどのフィルム原版（以下「画像」という）をいうものとする。

(資料の撮影および画像利用願)

第3条 博物館が収蔵する資料の写真利用等を希望する者は、資料の写真撮影を希望する場合は長崎歴史文化博物館資料撮影申請書（様式第1号）を、画像の利用を希望する場合は長崎歴史文化博物館画像利用申請書（様式第2号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、許可を受けなければならない。

(資料撮影および画像利用の許可)

第4条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、資料撮影および画像利用を許可する。

- (1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき
- (2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき
- (3) 公序良俗に反する用途に供すると認められるとき
- (4) 寄託資料について、所有者の承諾が得られないとき
- (5) その他館長が特に不適切であると認めたとき

(許可証の発行)

第5条 館長は、前条の利用の許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料撮影許可証（様式第3号）、または長崎歴史文化博物館画像利用許可証（様式第4号）を発行する。

(資料撮影および画像利用の条件)

第6条 資料撮影および画像利用の許可を受けた者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

- (1) 申請時以外の用途には使用しないこと。
- (2) 雑誌、印刷物等に掲載する場合は、「長崎歴史文化博物館蔵」を明記すること。
- (3) 掲載等の場合は、その印刷物及び、掲載誌等を2部以上、博物館に無償で納付すること。
- (4) 当該画像を複製し、第三者に譲渡しないこと。
- (5) 利用目的等が申請時の内容と変更になるときは、速やかに博物館に申し出ること。
- (6) 撮影した画像を再度利用しようとする場合は、必ず博物館に申請すること。
- (7) 当該画像は申請者側で責任を持って保管し、損失等のないように管理すること。
- (8) 当該画像の使用期間を守り、使用後は速やかに博物館まで返却すること。
- (9) 原則として撮影後のデータ及びフィルムはすべて博物館へ納付すること。
- (10) デジタルデータを使用した場合は、使用後必ずデータの削除を行うこと。
- (11) CDやDVD、インターネットなどのデジタルデータでの掲載にあたっては、2次使用が不可能な措置を設定すること。
- (12) その他、館長が指示する事項

(画像の引渡し及び返却)

第7条 利用する画像の引渡し及び返却方法については、申請者の負担により次の各号に掲げる方法をとることとする。

- (1) 直接博物館で引渡し及び返却を行う。
- (2) 簡易書留または宅配便により引渡し及び返却を行う。
- (3) 電子メールによって引渡しを行う。ただし、電子メールの場合は、申請者側で使用後のデータ削除を必ず行うこと。
- (4) その他、適切と思われる方法による。

2 申請者は、利用した画像の返却を行った際に、前条に挙げた印刷物及び掲載誌を館長まで納付しなければならない。ただし、返却期日までに印刷物等が完成していない場合は、完成次第博物館に納付すること。

(写真の使用料および撮影料)

第8条 写真の使用料については別途定めるものとする。

2 使用料の支払については、写真使用期間中に支払うこと。

3 支払い方法については、郵便為替もしくは現金書留による支払いとする。

(損害賠償)

第9条 資料の撮影および画像利用に関して、当該規定を遵守せずに博物館に損害が認められた場合は、申請者はその賠償責任を負うこととする。

(委任)

第10条 この規程に定めるもののほか、必要な事項については、館長が別に定める。

附 則

この規定は、平成17年11月3日から施行する。

この規定は、平成19年4月1日から施行する。

(様式第1号) 年 月 日

長崎歴史文化博物館資料撮影申請書

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名) 様

申請者 住所
所属
代表者氏名 印
電話
Fax
(担当者名)

下記のとおり撮影したいので申請いたします。

記

資料名				
撮影形態	カメラ(デジタル・フィルム) ・ VTR ・ その他 ()			
撮影希望日	年 月 日 時 分 より			
撮影目的				
掲載媒体	<input type="checkbox"/> ポスター・チラシ <input type="checkbox"/> 展示パネル <input type="checkbox"/> 図録 <input type="checkbox"/> 書籍・雑誌(名称) <input type="checkbox"/> その他()			
備考				

承認	館長	統括Mg	研究所長	リーダー	費管担当

(様式第3号) 長崎歴史文化博物館 第 号
年 月 日

長崎歴史文化博物館資料撮影許可証

(申請者) 様

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名)

年 月 日付で申請のあった資料の撮影について、下記の条件にて許可します。

記

資料名	画像名	数量	形態
			カメラ(デジタル・フィルム) VTR・その他()
			カメラ(デジタル・フィルム) VTR・その他()
			カメラ(デジタル・フィルム) VTR・その他()
			カメラ(デジタル・フィルム) VTR・その他()
撮影予定日	年 月 日		時 分 より
撮影目的			
利用の条件	① 使用の際、「長崎歴史文化博物館蔵」と明示すること。 ② 撮影に関しては、当館職員の指示に従うこと。 ③ その他、博物館の指示に従うこと。 ④		
備考			

(様式第2号) 年 月 日

長崎歴史文化博物館画像利用申請書

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名) 様

申請者 住所
所属
代表者氏名 印
電話
Fax
(担当者名)

下記のとおり利用したいので申請いたします。

記

資料名				
利用形態	デジタル ・ ポジフィルム ・ ネガフィルム ・ その他 ()			
受取希望日	年 月 日	返却予定日	年 月 日	
利用目的				
掲載物	<input type="checkbox"/> ポスター・チラシ <input type="checkbox"/> 展示パネル <input type="checkbox"/> 図録 <input type="checkbox"/> 書籍・雑誌(名称) <input type="checkbox"/> その他()			
備考				

承認	館長	統括Mg	研究所長	リーダー	費管担当

(様式第4号) 長崎歴史文化博物館 第 号
年 月 日

長崎歴史文化博物館画像利用許可証

(申請者) 様

長崎歴史文化博物館
館長 (氏名)

年 月 日付で申請のあった画像の利用について、下記の条件にて許可します。

記

資料名	画像名	数量	形態
受渡予定日	年 月 日	返却予定日	年 月 日
利用目的			
引渡し方法			
利用の条件	① 使用の際、「長崎歴史文化博物館蔵」と明示すること。 ② 使用目的の変更があったときは速やかに博物館まで届け出ること。 ③ 使用後は必ずデータの削除を行うこと。 ④		
備考			

平成17・18年度
長崎歴史文化博物館年報

2007年3月発行

編集・発行 長崎歴史文化博物館
〒850-0007 長崎市立山1-1-1
TEL 095-818-8366 FAX 095-818-8407
印刷 株式会社 インテックス